

# 令和4年度 第3回 磐田市地域公共交通会議 次第

令和4年12月27日（火）14時00分～  
磐田市役所西庁舎3階301会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 協 議 事 項

議案第1号 磐田市地域公共交通計画の策定について

議案第2号 単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

議案第3号 磐田市福田地区及び磐田中央地区デマンド型乗合タクシーの自己評価について

議案第4号 磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

## 4 報 告 事 項

報告第1号 磐田市生活バス路線「掛塚磐田駅線」の運行時刻の改定について

報告第2号 磐田市タクシー助成券（台風15号被災用）について

報告第3号 遠州鉄道乗合バス事業の運賃改定について

報告第4号 令和4年度 地域間幹線系統に関する事業評価について

## 5 そ の 他

## 6 閉 会

## 磐田市地域公共交通会議委員名簿

令和4年12月現在

No.	職	区分	所属・職		氏名	備考
1	会長	学識経験者	静岡文化芸術大学	名誉教授	川口 宗敏	
2		市議会の議員	磐田市議会	議長	寺田 幹根	
3		関係行政機関の職員	中部運輸局静岡運輸支局	首席運輸企画専門官	原田 光一郎	
4		関係行政機関の職員	静岡県交通基盤部	地域交通課長	平野 隆広	代理出席者 主事 松林 花奈
5		関係行政機関の職員	磐田警察署	交通課長	中村 嘉之	代理出席者 係長 太田 憲一
6		関係行政機関の職員	静岡県袋井土木事務所	企画検査課長	内海 孝久	欠席
7		関係行政機関の職員	袋井市	理事兼総務部長	鈴木 亨	
8	副会長	市民の代表者	磐田市自治会連合会	副会長	大澤 房男	
9		市民の代表者	磐田市地域包括支援センター	センター長 (城山・向陽)	大岡 美奈子	
10		市民の代表者	磐田商工会議所	専務理事	平谷 均	
11		市民の代表者	磐田市シニアクラブ連合会	副会長	山下 六機	
12		市民の代表者	磐田市民生委員児童委員協議会	副会長	富田 倫代	
13		市民の代表者	公募委員		山下 建二	
14		公共交通事業者	遠州鉄道株式会社	運輸事業部長	諸井 宏司	代理出席者 運輸事業部次長 萩原 高志
15		公共交通事業者	秋葉バスサービス株式会社	代表取締役社長	佐野 弘幸	
16		公共交通事業者	静岡県タクシー協会西部会竜東支部	竜東支部代表	藤田 守康	欠席
17		公共交通事業者	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役	榑原 正之	
18		公共交通事業者	遠州鉄道労働組合	副執行委員長	田中 友親	欠席
19		市の職員	磐田市	副市長	高橋 由利子	

任期: 令和2年5月31日～令和5年5月30日

磐田市地域公共交通計画の策定について

別紙「磐田市地域公共交通計画（案）」により、パブリックコメントを実施するものとする。

# 磐田市地域公共交通計画 (案)

令和5（2023）年3月

磐 田 市



# 目 次

第1章 趣旨と位置づけ .....	1
1 計画策定の趣旨.....	1
2 計画の位置づけ.....	1
3 計画の対象区域.....	2
4 計画の期間.....	2
第2章 現況と課題の整理 .....	3
1 現況調査.....	3
2 ニーズ等調査.....	6
3 上位関連計画（公共交通の位置づけ） .....	10
4 公共交通の課題.....	12
第3章 磐田市地域公共交通計画の基本的な方針と目標 .....	13
1 計画の基本的な方針.....	13
2 計画の目標.....	13
3 事業の体系.....	14
4 基本理念と役割.....	14
5 磐田市が目指す将来の公共交通体系.....	15
6 各公共交通の位置づけ.....	16
第4章 目標を達成するために行う事業及び実施主体 .....	17
1 【目標1 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持】に関する事業.....	17
2 【目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持】に関する事業.....	20
3 【目標3 公共交通の利便性向上と利用促進】に関する事業.....	22
4 事業スケジュール.....	26
第5章 計画の達成状況と評価 .....	27
1 評価指標と数値目標の設定.....	27
2 数値目標設定の考え方.....	28
3 評価の方法.....	31

# 第1章 趣旨と位置づけ

## 1 計画策定の趣旨

本市の公共交通は、JR磐田駅から放射状に運行する路線バスと市内を8地区に分けて運行するデマンド型乗合タクシーなどにより形成されています。路線バスは通勤通学の移動手段、デマンド型乗合タクシーは日中の高齢者等の通院や買物の移動手段として、市民の生活交通を支えています。路線バスの退出や高齢ドライバーの運転免許証返納後の移動手段の確保などの対応が必要となっています。

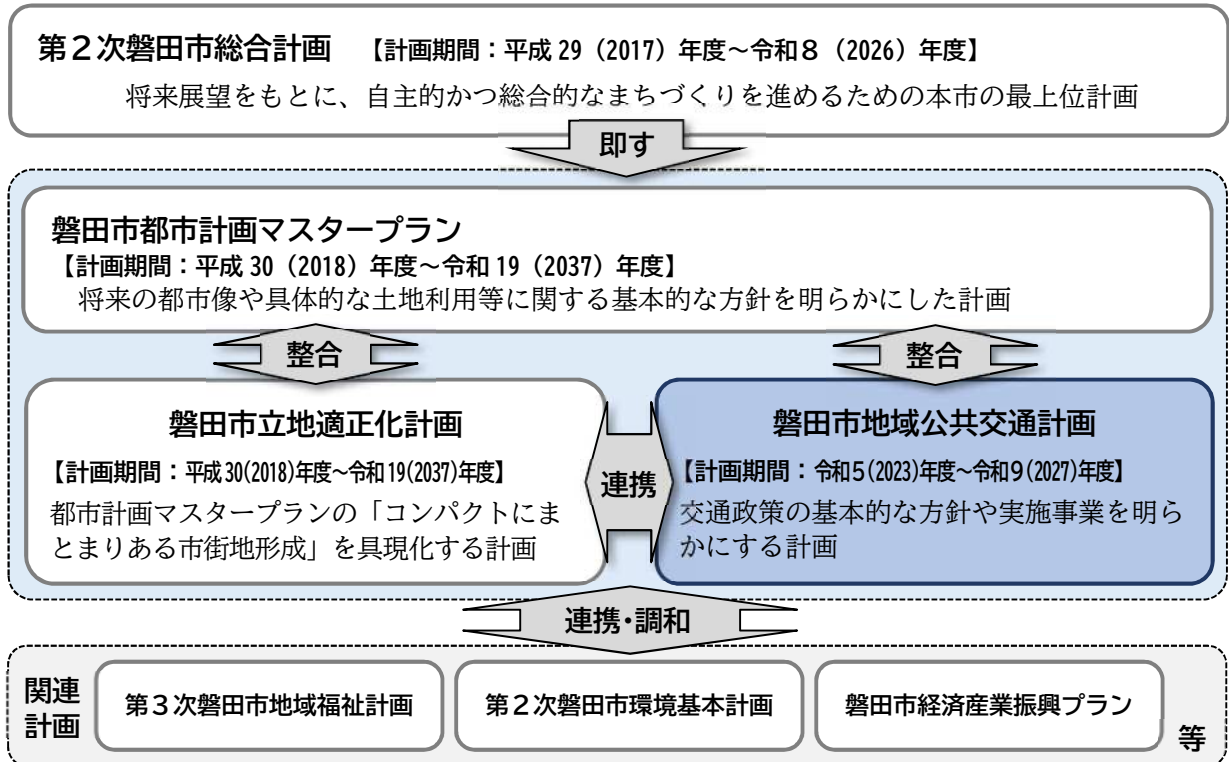
本計画は、市民の移動手段を確保・維持し、公共交通を持続可能なものとしていくため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（以下、「活性化再生法」という。）第5条の規定に基づく「磐田市地域公共交通計画」を策定するものです。

**「地域公共交通計画」に定める事項（活性化再生法第5条第2項）**

1. 基本的な方針（第1号）
2. 計画の区域（第2号）
3. 計画の目標（第3号）
4. 目標達成のために行う事業及び実施主体に関する事項（第4号）
5. 計画の達成状況の評価に関する事項（第5号）
6. 計画の期間（第6号）

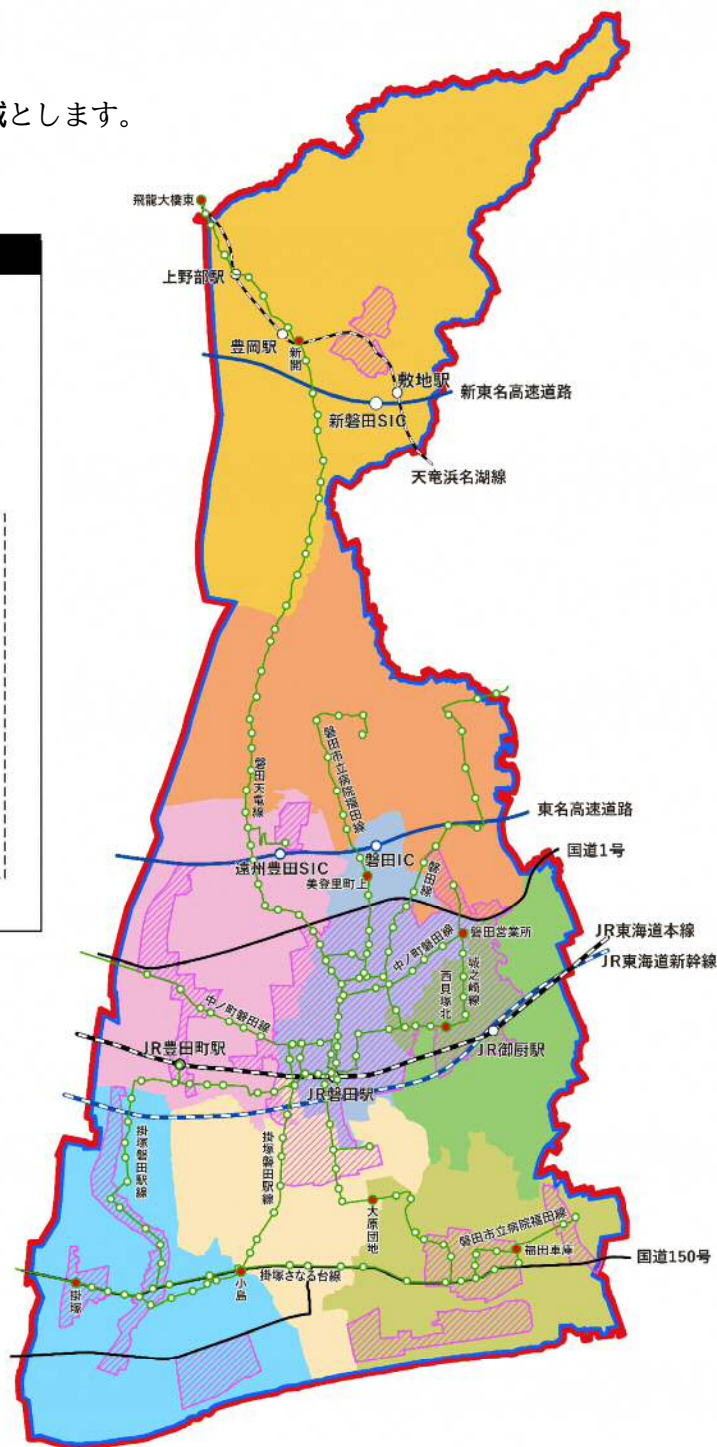
## 2 計画の位置づけ

本計画は、「本市の交通政策の基本計画」として位置づけ、「第2次磐田市総合計画」に即し、「磐田市都市計画マスタープラン」などの関連計画と整合や調和を保ち、「磐田市立地適正化計画」と連携を図ります。



### 3 計画の対象区域

本計画の対象区域は、**磐田市全域**とします。



### 4 計画の期間

本計画の期間は、「第2次磐田市総合計画」、「磐田市都市計画マスタープラン」及び「磐田市立地適正化計画」と整合を図るため、以下のとおりとします。

計画期間

令和5（2023）年度から令和9（2027）年度の5年間



## 第2章 現況と課題の整理

本計画の策定にあたり、調査した各項目から本市の公共交通の現状と課題を整理します。

### 1 現況調査

#### (1) 都市構造

区 分		本市の特性（◆は主な特性）
①	人口	◆人口減少・少子高齢化の進展が続く。 ・2045年の人口は2020年比の約86%となり、生産年齢人口は約80%に減少し、運転免許の高齢者講習の対象となる70歳以上の人口は約110%に増加する。
②	人口分布	◆人口密度や高齢化率が高い地区がバスルートから外れて点在する。 ・人口密度の高い地区は、概ねバスルートの沿線にあるものの、一部地域（池田地区・東部地区など）がバスルートから離れている。 ・高齢化率が高い地区がバスルートから離れて点在している。
③	都市計画	◆鉄道駅と各地域を結ぶ公共交通軸が示されている。 ・市民の日常生活に必要な移動手段となる鉄道駅から拠点を結ぶ基幹的なバス路線の実現を目指している。

#### (2) 公共交通

区 分		本市の特性（◆は主な特性）
①	鉄道	◆コロナ禍以前の利用者数は横ばいである。 ・コロナ禍にあって利用者は減少している。 ・JR磐田駅の利用者の一部がJR御厨駅に移行している。
②	路線バス	◆コロナ禍以前から利用者は減少傾向にある。 ・JR磐田駅を中心に放射状に運行している。 ・JR豊田町駅は1路線乗り入れており、JR御厨駅に乗り入れる路線はない。
③	タクシー	◆コロナ禍にあって利用者は減少傾向である。 ・コロナ禍以前と比較して利用者は50%以上減少している。
④	デマンド型乗合タクシー	◆利用者は増加傾向である。 ・市内を8つの地区に区分して運行している。 ・高齢者の運転免許証返納後の地区内の買い物・通院などの移動手段となっている。
⑤	公費負担	◆公共交通の公費負担は増加している。 ・デマンド型乗合タクシーは、利用増に伴い公費負担が増加している。 ・路線バスの欠損額に対する補助金は増加している。

## (3) 交通手段

区 分		本市の特性（◆は主な特性）
①	交通分担率	<p>◆自家用車移動に依存しており 71%を占める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体は、徒歩 14%、自転車 9%、バス 0.8%、バイク 3%、自家用車 71%となっている。</li> <li>・駅端末交通は、徒歩 27%、自転車 22%、バス 17%、バイク 4%、自家用車 30%となっている。</li> </ul>
②	運転免許	<p>◆運転免許保有者数は横ばい、高齢運転免許保有者数は増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許保有者約 12 万人のうち、高齢運転免許保有者は約 3 万 3 千人で 27%を占める。</li> <li>・令和 2 年中の 65 歳以上の自主返納者は 733 人で、運転免許保有者に対する割合は 2.2%となっている。</li> </ul>
③	通勤・通学	<p>◆市内への通勤・通学が半数を超えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内への通勤 63.5%、通学 54.0%である。</li> </ul> <p>◆通勤・通学の交通手段は、自家用車が 74.4%と突出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道 6.3%と乗合バス 3.1%を合算しても 10%に満たない。</li> </ul>
④	人口流動	<p>(鉄道駅)</p> <p>◆7時から8時、17時から18時頃に利用者が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で利用者数は減少したが居住地に大きな変化はなく時間帯は午後の分散利用がみられる。</li> </ul> <p>◆利用者の居住地は、周辺地区及びバスルート沿いが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 磐田駅は南部地区・東部地区・福田地区、JR 御厨駅は東部地区・福田地区、JR 豊田町駅は竜洋地区の利用が多い。</li> </ul> <p>(市役所・支所)</p> <p>◆開庁時間帯を通じて利用者が多く、来訪者数の推移に大きな変化はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磐田市役所とアミューズ豊田併設の豊田支所は市内全域から利用があり、その他の支所は周辺地域からの利用が多い。</li> </ul> <p>(ららぽーと磐田)</p> <p>◆午前中から 15 時までが利用者が多く、それ以降は減少する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の年代は 10 代から 60 代までまんべんなく、市内全域及び近隣市町など、利用者の居住地は広範囲に広がる。</li> </ul> <p>(磐田市立総合病院)</p> <p>◆午前中をピークに利用が多く、利用者の居住地は広域に広がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の年代は 20 代からまんべんなく、特に福田地区の利用者が多い。</li> </ul>

## (4) 都市施設

区 分		本市の特性（◆は主な特性）
①	医療施設	<p>◆磐田市立総合病院は鉄道駅から離れて立地しているがバスルートがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ねバスルート沿線に立地している。</li> <li>・一部地域（豊田地区など）がバスルートから離れている。</li> </ul>
②	高齢者福祉施設	<p>◆概ねバスルート沿線に立地している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所系施設はバスルートから離れているが送迎がある。</li> </ul>
③	子育て施設	<p>◆市の中央部に多く立地しており、他地域では点在している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て施設は保護者の送迎となっている。</li> </ul>

④	教育施設	◆概ねバスルート沿線に立地している。 ・高等学校・大学はバスルートがある。
⑤	事業所	◆概ねバスルート沿線に立地している。 ・豊岡地区等の北部や竜洋地区ではバスルートから離れた位置に立地がみられる。
⑥	商業施設	◆概ねバスルート沿線に立地している。 ・豊田地区や豊岡地区などではバスルートから離れた位置に立地がみられる。
⑦	金融施設	◆概ねバスルート沿線に立地している。 ・豊田地区や豊岡地区などではバスルートから離れた位置に立地がみられる。
⑧	観光・文化施設	◆各地に点在している。 ・鉄道駅やバスルートから離れている施設が多く、送迎バスを用意する施設もある。
⑨	行政施設	◆概ねバスルート沿線に立地している。 ・豊田支所はバスルートから離れている。 ・交流センターはバスルートから離れている施設が多い。

(5) 路線調査

区 分		本市の特性（◆は主な特性）
①	路線バス	◆交通結節点となる駅やバス停のほか、大型商業施設、磐田市立総合病院、高等学校は、最寄りのバス停の利用が多い。 ・各路線の利用の多い停留所は以下のとおりである。 (磐田市立病院福田線) 磐田駅、磐田市立病院、磐田北小、美登里町上 (中ノ町磐田線) 磐田駅、見付、磐田営業所 (磐田天竜線) 磐田駅、ららぽーと磐田、図書館前 (掛塚さなる台線) 磐田駅、掛塚、竜洋変電所北 (城之崎線) 磐田駅、磐田農業高校東、城之崎 (磐田線) つつじ公園・北高入口、磐田駅前 ・現金での利用は 30%未滿で、概ね IC（定期券含む）での利用となっている。
②	デマンド型乗合タクシー	◆医療機関、商業施設（スーパー）、鉄道駅等の利用が多い。 ・各路線の利用の多い目的地は以下のとおりである。 (竜洋線) 磐田市立総合病院、杉山整形外科医院、J R 磐田駅、遠鉄ストア竜洋店 (福田線) 磐田市立総合病院、マックスバリュ福田店、どい整形外科スポーツクリニック (豊岡線) 磐田市立総合病院、ベイスシア磐田豊岡店、いしざかクリニック (豊田線) 磐田市立総合病院、マックスバリュ豊田店、池田交流センター、J R 豊田町駅 (磐田北部線) 磐田市立総合病院、遠鉄「磐田営業所」バス停、遠鉄ストア見付店 (磐田東部線) 磐田市立総合病院、遠鉄「西貝塚北」バス停、J R 御厨駅、マックスバリュ磐田西貝塚店 (磐田南部線) 磐田市立総合病院、ピアゴ上岡田店、バロー磐田店、J R 磐田駅 (磐田中央線) 磐田市立総合病院、アピタ磐田店、遠鉄ストア見付店 ・利用者の多い時間帯は午前中の自宅発である。 ・午前 10 時台の便は利用者が多く配車の供給限界に近づいている。 ・午後の時間帯の利用者は少ない。

## 2 ニーズ等調査

### (1) 市民意識調査

	区 分	結果・意見など
①	令和2年度 磐田市市民意識調査	<p>◆総合計画の基本施策のうち「公共交通体系と道路網の整備」については以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代別で40代以外において満足度が最も低くなっている。</li> <li>・満足度が低く重要度が高い「重要課題施策」となっている。</li> </ul>
②	<p>令和3年度 磐田市の公共交通に関する調査 (市民アンケート)</p> <p>対象：2,000人 〔18歳以上の市民無作為抽出〕</p> <p>回答：718人 (回答率35.9%)</p>	<p>◆アンケートの主な設問と回答は以下のとおりである。</p> <p>(歩いて移動してもよい距離)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・500m未満(徒歩10分以内)が64.4%である。</li> </ul> <p>(自家用車等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分又は家族が運転して利用できる自家用車があるが87.3%である。</li> </ul> <p>(運転免許返納)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転免許証を返納する予定があるが24.1%である。</li> </ul> <p>(運転免許返納後の交通手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通(37.2%)、徒歩(22.0%)、家族等の送迎(17.7%)が上位である。</li> </ul> <p>(通勤・通学の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車(78.1%)により、土日祝日以外の平日(55.0%)に7時台まで(48.9%)に自宅を出て17時台から19時以降(54.6%)に帰宅する回答が多い。</li> </ul> <p>(通院の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車(84.4%)により、月に1回程度(59.5%)、8時台から11時台まで(67.0%)に自宅を出て10時台から13時台(52.9%)に帰宅する回答が多い。</li> </ul> <p>(買い物の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車(84.0%)により曜日に問わず週1回から3回(74.9%)、10時台から15時台までに買い物をする回答が多い。</li> </ul> <p>(公共交通を利用する理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他に移動手段がない(38.2%)、バス停が近い(34.5%)、目的にあった経路(32.7%)、利用したい時間に運行(21.8%)が上位である。</li> </ul> <p>(公共交通を利用しない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要がない(31.3%)、バス停が遠い(20.5%)、利用したい時間に運行していない(19.1%)、目的にあった経路でない(17.4%)が上位である。</li> </ul> <p>(全体的な満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な満足度は、満足(4.9%)、やや満足(10.0%)、ふつう(52.4%)、やや不満(20.0%)、不満(21.7%)である。</li> </ul> <p>(満足度と重要度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度は便数、ダイヤの順に低く、重要度はバス停の位置、ダイヤ、ルート順に高い。</li> </ul> <p>(存続の在り方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来も運行を維持するためルートや運行内容の変更を行い、利用者増に力を入れるべきと思う回答が47.5%である。</li> </ul> <p>(利用料金の抵抗感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス：500円、デマンドタクシー：1,000円となっている。</li> </ul>

(2) 利用者調査

区分	結果・意見など
<p>①</p> <p>令和3年度 磐田市の公共交通に関する調査 (路線バス利用者)</p> <p>対象：200人 〔磐田駅バス停にて配布〕</p> <p>回答：72人 (回答率36.0%)</p>	<p>◆利用者アンケートの主な設問と回答は以下のとおりである。</p> <p>(利用の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤(38.6%)、通学・習い事(25.7%)、買い物・飲食(21.4%)が上位である。</li> </ul> <p>(利用者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10代(36.1%)、65歳以上(25.0%)が上位である。</li> </ul> <p>(バス停からの移動手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅からバス停まで、バス停から目的地までのいずれも徒歩が70%程度である。</li> </ul> <p>(バス停との距離)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅からバス停まで、バス停から目的地までのいずれも500m未満(徒歩10分以内)が70%以上である。</li> </ul> <p>(利用頻度など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日以上の利用者が50%である。運賃の支払い方法はICカードが52.8%、定期券が19.4%を占める。</li> </ul> <p>(公共交通を利用する理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停が近い(55.6%)、他に手段がない(47.2%)、目的に合った経路(41.7%)が上位である。</li> </ul> <p>(総合評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な評価は、かなり満足(9.9%)、概ね満足(22.5%)、普通(40.8%)、少し不満(15.5%)、かなり不満(11.3%)である。</li> </ul> <p>(満足度と重要度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度は便数、ダイヤの順に低く、重要度は便数、ダイヤの順に高い。</li> </ul>
<p>②</p> <p>令和3年度 磐田市の公共交通に関する調査 (デマンド型乗合タクシー利用登録者)</p> <p>対象：200人 〔利用登録者無作為抽出〕</p> <p>回答：144人 (回答率72.0%)</p>	<p>◆利用登録者アンケートの主な設問と回答は以下のとおりである。</p> <p>(利用の目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関(42.1%)、商業施設(29.6%)、磐田駅周辺(10.8%)が上位である。</li> </ul> <p>(利用者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上(77.8%)、65～74歳(13.9%)が上位である。</li> </ul> <p>(家族構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし(36.9%)、子世代と同居(27.0%)、同世代の夫婦(22.7%)が上位である。</li> </ul> <p>(運転免許)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返納した(44.4%)、持っていない(31.9%)が上位である。</li> </ul> <p>(利用状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な利用者は77.5%で、利用したことがないのは12.7%、利用をやめたのは2.8%である。</li> </ul> <p>(利用したことがない・やめた理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用方法がわかりにくい(31.8%)、目的地が合わない(18.2%)、時間が合わない(13.6%)が上位である。</li> </ul> <p>(全体的な満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な満足度は、満足(26.2%)、やや満足(27.9%)、ふつう(30.3%)、やや不満(10.7%)、不満(4.9%)である。</li> </ul> <p>(満足度と重要度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度は便数、運行時間、目的地の順に低く、重要度は目的地、便数、利用方法の順に高い。</li> </ul>

## (3) 高校生等調査

区分	結果・意見など
① 高校生 対象：1,311人 〔市内高校1年生〕 回答：1,007人 (回答率76.8%)	<p>◆高校へのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学が基本的に多く、公共交通を利用しての通学は少ない。</li> <li>・雨天時は保護者の自家用車による送迎が多くなる。</li> <li>・路線バスは便数が少なく、帰宅時間等に時間的制限を受けるため、移動手段は自転車を選択される。</li> </ul> <p>◆高校生アンケート結果は以下のとおりである。</p> <p>(市内高校への通学者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内(60.5%)、袋井市(16.7%)、浜松市(8.0%)、掛川市(7.2%)が上位である。</li> </ul> <p>(通学方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・晴天時の通学方法は、自転車(60.5%)、鉄道(14.6%)、家族などの送迎(7.2%)、路線バス(5.5%)が上位である。</li> </ul> <p>(駅からの通学方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩(45.6%)、自転車(36.7%)、路線バス(17.7%)が上位である。</li> </ul> <p>(利用する・利用しやすい環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便数の増加(50.9%)、利用料金の値下げ(50.9%)、自宅とバス停までの距離の短縮(37.7%)が上位である。</li> </ul>
② 高齢者	<p>◆地域包括支援センターへのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <p>(外出目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物(週1回)、通院(週複数回)が多い。</li> </ul> <p>(移動手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行きはデマンド型乗合タクシーを利用して、帰りは一般タクシーを利用することが多い。</li> </ul> <p>(課題・要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの時間が不定となりデマンド型乗合タクシーは利用しにくい。</li> <li>・デマンド型乗合タクシーは区域外目的地追加の要望が多い。</li> </ul>
③ 障がい者	<p>◆障がい者支援機関へのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <p>(外出目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般企業への通勤、特別支援学校への通学、施設への通所である。</li> </ul> <p>(移動手段)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤・通学者は公共交通機関(路線バス・JR・デマンド型乗合タクシー等)を利用する。</li> <li>・施設通所は施設や家族の送迎である。</li> </ul> <p>(課題・要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの退出などにより保護者による送迎が負担となっている。</li> <li>・コミュニケーションが苦手な障がい者にとって、デマンド型乗合タクシーは利用しにくい。</li> </ul>
④ 中学校	<p>◆中学校へのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高校は自転車通学圏内である。</li> <li>・公共交通の有無は、進学先選択の要素となる。</li> <li>・路線バスの利用促進には、パーク(サイクル)アンドライド、バス停の環境整備が重要である。</li> </ul>

(4) 交通事業者ニーズ

区 分		結果・意見など
①	路線バス	<p>◆路線バス事業者へのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤通学の利用は朝の集中と夕方の分散がみられる。</li> <li>・路線バス以外の公共交通との役割分担が必要と考える。</li> <li>・バスの運行環境のインフラ改善（バスカット整備、交差点改良など）が求められる。</li> <li>・パーク（サイクル）アンドライドに向けた取り組みが求められる。</li> <li>・運転手の確保が課題である。</li> </ul>
②	タクシー	<p>◆タクシー事業者へのヒアリング結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は主に高齢者の買い物・通院、会社員の出張利用が多い。</li> <li>・夕方から夜間は一般利用が多く、特に週末は酔客の利用が多い。</li> <li>・一般タクシーとデマンド型乗合タクシーを兼用することで、経営資源が活用できている。</li> <li>・タクシー利用の少ない時間帯での新規施策を検討したい。</li> <li>・運転手の高齢化及び確保が課題である。</li> </ul>

### 3 上位関連計画（公共交通の位置づけ）

#### 【第2次磐田市総合計画後期基本計画（目標：令和8（2026）年度）】

分野6 都市基盤・環境

基本施策2 公共交通体系と道路網の整備

2 公共交通の充実を図ります

【主な取組】

- ・地域公共交通計画の策定
- ・民間バス事業者や天竜浜名湖鉄道への支援
- ・駐車場などの適正な維持管理の推進
- ・ボランティア運送などの新たな公共交通体系の研究

※後期基本計画とSDGsとの関係性

SDGsの取り組みは、本市のまちづくりと密接に関連する部分が多く、総合計画の推進はSDGsの達成にもつながるものです。施策「公共交通体系と道路網の整備」は、SDGsの17の目標のうち3つの目標との関連が示されており、169のターゲットの中で、公共交通について掲げられています。



#### ターゲット 11-2

2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

#### 【磐田市都市計画マスタープラン（目標：令和19（2037）年度）】

第2章 全体構想

3-3 道路・交通体系の基本方針

(2)方針 ③公共交通機能の充実

- ・公共交通は、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」型の都市づくりを支える重要な路線として維持
- ・駅アクセス道路や駐輪場の整備による交通結節機能の充実
- ・デマンド型乗合タクシーの確保

#### 【磐田市立地適正化計画（目標：令和19（2037）年度）】

第4章 磐田市における立地適正化計画の基本的な考え方

① まちづくりの方針

方針3 公共交通の充実

高齢化社会における公共交通は、高齢者をはじめとした交通弱者の移動を支える重要な交通手段であり、高齢者の外出機会の創出にもつながっていることから、拠点を結ぶ既存のバス網の維持を図るとともに、デマンド型乗合タクシーの維持・充実を図るため、JR駅周辺



やバス沿線の都市機能の向上による居住の誘導により、公共交通利用者の確保や利用しやすい環境を創出します。

**【磐田市経済産業振興プラン（目標：令和8（2026）年度）】**

将来像 魅力産業創造都市いわた

基本目標 今を革新し、新たな価値を生む

施策1 ものづくり産業のイノベーションを促進

- ・次世代モビリティサービスの展開を目指す

**【第2次磐田市環境基本計画（目標：令和9（2027）年度）】**

5章 基本方針6 地球温暖化対策に取り組みます

施策6-3 脱炭素社会の推進

3 交通に関する脱炭素の推進

- ・公共交通の利用を促進する。
- ・AIや自動運転技術の活用など新たな公共交通の導入を研究する。
- ・都市基盤の整備に徒歩や自転車の利用を促進する視点を取り入れる。

**【第3次磐田市地域福祉計画（目標：令和4（2022）年度）】**

基本目標3 自立した生活が送れる支援体制づくり

3. 安心して住みやすい生活環境の整備

取り組み 移動手段の充実と確保

高齢者や障がい者が安心して外出できる環境整備を進めるため、デマンド型乗合タクシーの運行など日常生活に必要な移動手段の確保に努めます。また、タクシーの利用料金を助成し、医療機関への通院や買い物などの外出を支援します。

【主な事業】

☆デマンド型乗合タクシー ☆高齢者等タクシー利用料助成事業

## 4 公共交通の課題

近年、少子化や新型コロナウイルス感染症対策の影響により公共交通利用者は減少傾向にあり、民間バス事業者はこれによる経営悪化の影響を受けバス路線の退出が続いています。また、高齢者の運転免許保有者数が増加する中で、運転免許証返納者も増加しています。

本市はこれまで民間バス路線を維持するとともに、運転免許返納後の高齢者等の通院や買物などの移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーの運行事業を重点的に取り組んできましたが、利用者の増加に伴い、配車に供給限界がある中で、多様化する移動ニーズへの対応が難しい状況となっています。

また、JR御厨駅や市民文化会館の新設により公共施設の立地などにも変化があり、幹線バス路線等の交通網の見直しが必要となっています。

本市の公共交通を将来につなげ、持続可能な公共交通とするため、現況調査及びニーズ調査の結果から、本市の地域公共交通の課題を以下のように整理しました。

課題1	<p>◆拠点間ネットワークを担う公共交通の維持等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR駅周辺と旧来からの地域住民の生活を支えてきた地域を結ぶ公共交通の維持・充実が求められています。</li> <li>・ JR駅周辺と新たな都市施設や交通結節点を結ぶ公共交通網の見直しが求められています。</li> </ul>
課題2	<p>◆各拠点と地域を結ぶ地域交通の維持等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者や交通弱者の移動手段を確保するデマンド型乗合タクシーの維持と利便性向上が求められています。</li> <li>・ 細分化する移動ニーズや増加する公費負担への対応として、ボランティア運送などの新たな移動手段への支援が求められています。</li> </ul>
課題3	<p>◆公共交通の利便性向上と利用促進等が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通結節機能の充実、インフラの改善、パーク（サイクル）アンドライドの整備など、公共交通の利用環境の向上やわかりやすい情報提供により、利用促進に向けた利便性の向上が求められています。</li> <li>・ 持続可能な公共交通の維持に向け、AIや自動運転技術の活用、MaaS等の新モビリティサービスの導入などの調査・研究が求められています。</li> </ul>

## 第3章 磐田市地域公共交通計画の基本的な方針と目標

### 1 計画の基本的な方針

本計画の基本的な方針を下記のとおり定めます。

#### 【基本的な方針】

#### 暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通

市内各地の拠点を結ぶバス路線を維持するとともに、各拠点とその地域を結ぶ地域交通を維持・充実します。また、公共交通の利用環境の向上と利用促進に取り組むことにより、市民の生活交通の確保と来訪者の交通利便を将来につなげる持続可能な磐田市の公共交通を創出します。

### 2 計画の目標

本計画の基本的な方針に基づき、計画の目標を下記のとおり定めます。

目標1	<b>都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東海道本線や天竜浜名湖線により本市と近隣市を結ぶ広域の移動手段を確保・維持します。</li> <li>・路線バスにより中心都市拠点や都市拠点と地域拠点や集落拠点を結ぶ移動手段を確保・維持します。</li> <li>・拠点と新たな都市施設等を結ぶ移動手段を検討します。</li> </ul>

目標2	<b>拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型乗合タクシーにより拠点とその地域を結ぶ地域内の移動手段を確保・充実します。</li> <li>・ボランティア運送などの新たな移動手段を支援します。</li> <li>・地域の輸送資源（スクールバス、施設送迎車両、企業バス等）活用の調査・研究を進めます。</li> </ul>

目標3	<b>公共交通の利便性向上と利用促進</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス路線やデマンド型乗合タクシーの運行内容の見直しにより利便性の向上を図ります。</li> <li>・バス停等の環境整備により公共交通の利用環境の向上を図ります。</li> <li>・公共交通に関する情報発信や各種利用者への助成等により利用促進を図ります。</li> <li>・AIや自動運転技術の活用、MaaS等の新モビリティサービスの調査・研究を進めます。</li> </ul>

※拠点、中心都市拠点、都市拠点、地域拠点、集落拠点は、資料編 17 頁を参照して下さい。

### 3 事業の体系

本計画の目標を実現するために、実施する事業を下記のとおり整理します。

目 標	事 業
<b>目標1</b> 都市間や拠点間を結ぶ 公共交通の確保・維持	① 鉄道運行の維持・支援 ② バス路線の維持・支援 ③ バス路線退出の代替交通検討 ④ 新規路線の検討
<b>目標2</b> 拠点とその周辺地域を結ぶ 地域交通の確保・維持	① デマンド型乗合タクシーの維持 ② ボランティア運送の支援 ③ 地域輸送資源の活用調査
<b>目標3</b> 公共交通の 利便性向上と利用促進	① 運行内容の見直し ② バス停等の環境整備 ③ 利用方法等の情報発信 ④ 運賃の割引等 ⑤ 先端技術の活用

### 4 基本理念と役割

市民、市民活動団体、事業者、市その他の関係者が連携・協働して、本計画を推進するため、基本理念と役割を下記のとおり整理します。

#### 【基本理念】

- 公共交通は市民生活の基盤であり、地域の発展に欠くことのできないものであることを認識する。
- 少子高齢化の進展、人口減少その他の社会情勢の変化に対応しつつ、公共交通の維持・利便性の向上を図る。
- 環境への負荷低減を図りつつ、交通施策を推進する。
- 徒歩、自転車、タクシー、バス、鉄道その他の交通手段の特性に応じて役割を分担し効率的な連携により交通施策を推進する。

市民・市民活動団体の役割	事業者の役割	市の役割
1 公共交通の積極的な利用に努める。	1 公共交通の維持・利便性の向上に努める。	1 国・県と連携して公共交通施策を策定し事業を実施する。
2 地域の公共交通の利用促進や新たな交通手段の検討に努める。	2 市や国・県が実施する交通施策の協力を努める。	2 情報提供その他の活動を通じて公共交通の理解を深め協力を得よう努める。
3 沿線企業、商店、病院等とのパートナーシップを図る。	3 公共交通のクリーンエネルギー化に努める。	3 社会情勢の変化に対応し新たな交通手段の検討に努める。
4 公共交通の現状把握や理解に努める。	4 公共交通の現状や情報の周知に努める。	4 公共交通の現状を評価し改善に努める。

## 5 磐田市が目指す将来の公共交通体系

本市が目指す将来の公共交通体系のイメージを下図のとおり示します。



## 6 各公共交通の位置づけ

本市の公共交通体系における各公共交通の位置づけを下記のとおり整理します。

<b>鉄 道</b> (JR東海道本線) (天竜浜名湖線)	<b>都市間の移動手段</b> 主に市民の通勤通学等の日常生活に必要な移動手段として維持する。
<b>バス路線</b> (磐田市立病院福田線、中ノ町磐田線、磐田天竜線、城之崎線、掛塚さなる台線、磐田線、掛塚磐田駅線)	<b>拠点間の移動手段</b> 主に市民の通勤通学等の日常生活に必要な移動手段として維持する。
<b>デマンド型乗合タクシー</b> (磐田北部線、磐田東部線、磐田南部線、福田線、竜洋線、豊岡線、豊田線、磐田中央線)	<b>自宅と地域内の拠点等を結ぶ地域内の移動手段</b> <b>バス路線を補完する拠点までの移動手段</b> 主に高齢者の通院や買い物等の日常生活に必要な移動手段として確保する。
<b>ボランティア運送など</b> (ボランティア運送、スクールバス、施設送迎バス)	<b>バス路線やデマンド型乗合タクシーを補完する地域特性に応じた移動手段</b> 地域主体のボランティア運送・スクールバス・施設送迎バス等を活用した地域特性に応じた移動手段を支援・検討する。
<b>一般乗用タクシー</b>	<b>市内全域への移動手段</b> 上記の公共交通では対応できない目的地や時間帯での移動手段として確保する。

上記の公共交通は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成23年国総計第97号）第2条第1項第2号に規定する「地域公共交通確保維持事業」に位置付け、この運行の確保・維持・改善を図ります。

また、上記のバス路線の継続が困難となった場合は、地域旅客運送サービス継続事業（活性化再生法第2条第11号）の実施により、この運行の確保・維持を図ります。

### 【参考】各公共交通の特徴

	輸送量	運賃	運行形態
鉄 道	150人程度/1両	240円 (磐田駅⇄浜松駅)	定時定路 (駅)
バス路線	50人程度/大型	390円 (掛塚⇄磐田駅)	定時定路 (バス停)
デマンド型乗合タクシー	3人程度/1台	400円 (区域内)	定時予約目的地 (自宅⇄指定施設)
一般乗用タクシー	3人程度/1台	600円 (初乗り)	不定時自由運行 (乗降場所制限なし)

↑ 輸送量 ↓ 料金 ↓ 利便性

## 第4章 目標を達成するために行う事業及び実施主体

### 1 【目標1 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持】に関する事業

#### ①鉄道運行の維持・支援 〈継続事業〉

市内外への通勤通学等に必要な移動手段を確保するため、本市と近隣市を結ぶJR東海道本線や天竜浜名湖線の運行を維持・支援します。

**【実施事業】**

- ・鉄道運行事業者との連携を図ります。
- ・天竜浜名湖線は、沿線市町と連携して、天竜浜名湖鉄道経営計画支援事業による鉄道運営を支援します。

**【実施主体】** 鉄道事業者、磐田市

**【実施時期】** 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

#### ②バス路線の維持・支援 〈継続事業〉

市内の通勤通学等に必要な移動手段を確保するため、磐田駅周辺等と市内各地域を結ぶバス路線の運行を維持・支援します。

**【実施事業】**

- ・路線バス事業者との連携を図ります。
- ・運行に欠損が生じる路線バス事業者のバス路線は、国・県と連携して欠損額を補助し、バス路線の運営を支援してバス路線の維持を図ります。
- ・沿線市町と連携して運行する磐田線は、沿線市町と連携した欠損額の補助により、バス路線を維持します。
- ・市自主運行バス路線は、路線バス事業者に運行業務を委託して、バス路線を維持します。

**【実施主体】** 路線バス事業者、磐田市

**【実施時期】** 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度





#### ④新規路線の検討 〈新規事業〉

新たな移動手段を確保するため、本計画に位置付ける検討路線は、地域特性や利用見込等に応じて新規路線を検討します。

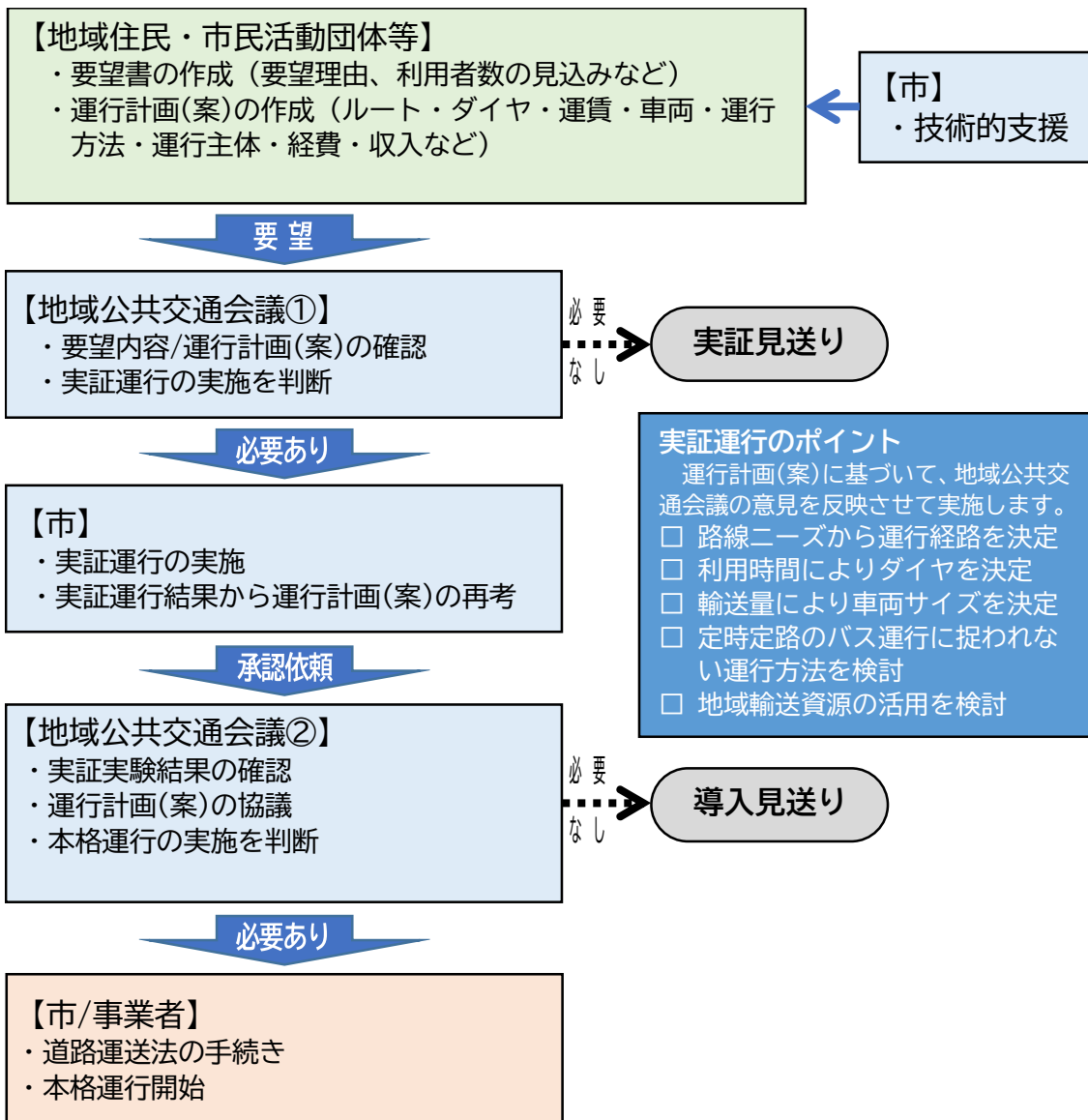
**【実施事業】**

- ・ 磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織します。
- ・ 検討フローを参考に、新規路線の移動手段を検討します。

**【実施主体】** 地域住民、磐田市地域公共交通会議、磐田市、交通事業者

**【実施時期】** 令和6（2024）年度～令和9（2027）年度

**【参考】新規路線検討フロー**



2 【目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持】に関する事業

①デマンド型乗合タクシーの維持 〈継続事業（一部新規事業）〉

高齢者等の日常生活の移動手段を確保するため、自宅と地域内の施設等を結ぶデマンド型乗合タクシーの運行を維持します。

【実施事業】

- ・タクシー事業者との連携を図ります。
- ・タクシー事業者に運行業務を委託して、デマンド型乗合タクシーの運行を維持します。
- ・運行に欠損が生じる路線は、国・県からの欠損補助を受けながら、デマンド型乗合タクシーの運行を維持します。
- ・磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織し、利用者負担額と公費負担額の見直しを行い、デマンド型乗合タクシーの運行を維持します。（新規）
- ・午前に集中する利用の分散を図ることで、配車の供給限界への対応を検討します。（新規）

【実施主体】 磐田市、タクシー事業者、磐田市地域公共交通会議

【実施時期】 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度



デマンド型乗合タクシーの乗合所（JR磐田駅）

【参考】デマンド型乗合タクシーの時間別稼働状況

	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台
車両数(台)	33	36	40	41	40	38	35	31	28
平均稼働数(台)	9	14	19	16	12	7	11	4	6
平均稼働率(%)	27.3	38.9	47.5	39.0	30.0	18.4	31.4	12.9	21.4
最大稼働数(台)	19	27	39	35	25	19	24	15	14
最大稼働率(%)	57.6	75.0	97.5	85.7	62.5	50.0	68.6	48.4	50.0

(令和4年4～8月の平日の状況)

## ② ボランティア運送の支援 〈新規事業〉

路線バスやデマンド型乗合タクシーでは対応しきれない地域の移動ニーズに対応するため、地域住民を主体とした新たな移動手段を支援します。

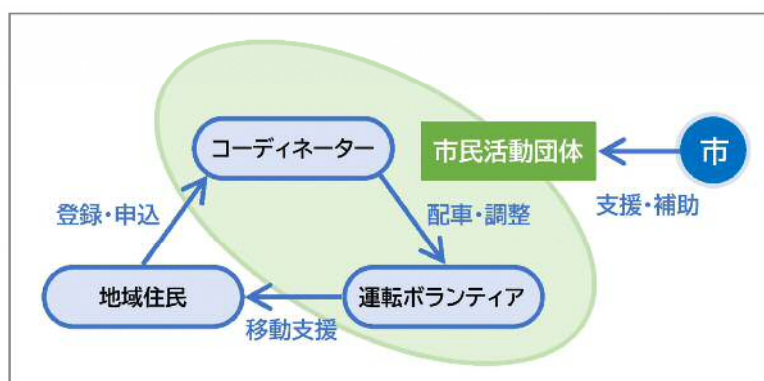
### 【実施事業】

- ・ 市民活動団体との連携を図ります。
- ・ 市民活動団体の新たな移動手段の運行方法の検討を支援します。
- ・ 市民活動団体の新たな移動手段の安全対策を支援します。
- ・ 市民活動団体の新たな移動手段運営の補助方法を検討します。

【実施主体】 市民活動団体、磐田市地域公共交通会議、磐田市、交通事業者

【実施時期】 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

### 【参考】 ボランティア運送のイメージ



## ③ 地域輸送資源の活用調査 〈新規事業〉

本市の公共交通を持続可能なものにするため、地域の輸送資源を調査し、活用の可能性と活用方法の研究を進めます。

### 【実施事業】

- ・ スクールバス、施設送迎バス、企業従業員送迎バスなどの実態を調査します。
- ・ 関係機関との連携を図ります。
- ・ 活用の可能性や活用方法の研究を進めます。

【実施主体】 磐田市、磐田市地域公共交通会議、学校、施設、企業

【実施時期】 令和7（2025）年度～令和9（2027）年度



スクールバス  
(学府バス)



施設送迎バス  
(しおさい竜洋)

### 3 【目標3 公共交通の利便性向上と利用促進】に関する事業

#### ①運行内容の見直し 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通の利便性の向上を図るため、バス路線やデマンド型乗合タクシーの運行内容の見直しを検討します。

##### 【実施事業】

- ・路線バス事業者やタクシー事業者との連携を図ります。
- ・磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織します。（新規）
- ・公共施設等の新設や廃止、市民ニーズの変化等を踏まえながら、ルート、ダイヤ、運賃、利用方法等の見直しを図ります。
- ・定期的な地域公共交通会議での協議を実施します。

【実施主体】 交通事業者、磐田市、磐田市地域公共交通会議

【実施時期】 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

#### ②バス停等の環境整備 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通の利用促進を図るため、バス待ちや乗り換え環境を改善するバス停等の整備を進めます。

##### 【実施事業】

- ・交通事業者との連携を図ります。
- ・路線バス事業者のバス停の屋根、ベンチ、ロケーションシステム、パーク（サイクル）アンドライド等の施設整備費を補助します。
- ・市自主運行路線のバス停の屋根、ベンチ、ロケーションシステム、パーク（サイクル）アンドライド等のバス停の施設整備を検討します。（新規）

【実施主体】 磐田市、交通事業者

【実施時期】 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度



バス停の屋根設置、サイクルアンドライドの実施例  
（遠鉄バス・掛塚バス停）



パークアンドライド、サイクルアンドライドの実施例  
（遠鉄バス・広瀬バス停）



ロケーションシステムの設置例（遠鉄バス・加茂川バス停）

### ③利用方法等の情報発信 〈継続事業（一部新規事業）〉

公共交通に関する理解を深めるため、ルート、ダイヤ、利用方法の情報発信と各種イベントの開催等の取り組みを進めます。

**【実施事業】**

- ・ ホームページやパンフレットにより公共交通に関する情報を発信します。
- ・ 市内の公共交通の路線情報を統合し、目的地や乗り継ぎ等が分かりやすい磐田市バス路線総合マップを作成します。(新規)
- ・ 小学校でのバス利用教室、高齢者サロンでのデマンド型乗合タクシー利用説明、各種イベントの開催等により、地域公共交通に対する理解を深めます。
- ・ 公共交通講演会やシンポジウムなどの開催により、市民の地域公共交通に対する理解を深めます。(新規)

**【実施主体】** 磐田市、交通事業者

**【実施時期】** 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

**【参考事例】 小山町コミュニティバスマップ**

- ・ コミュニティバス・デマンドバスの利用方法、ルート、時刻表などを1冊にまとめた「小山町コミュニティバスマップ」



資料：小山町

### ④運賃の割引等 〈継続事業〉

公共交通が必要な運転免許証返納者等の日常生活の安心と負担軽減を図るため、高齢者や障がい者等の運賃を補助します。

**【実施事業】**

- ・ 運転免許を返納した高齢者のタクシー運賃を割引します。
- ・ 要介護や要支援に該当する方や重度の障がいのある方にタクシー料金の助成券を交付します。
- ・ 運転免許を返納した高齢者や重度の障がいのある方のデマンド型乗合タクシーの運賃を割引します。

**【実施主体】** 磐田市、交通事業者

**【実施時期】** 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

【参考】タクシー運賃割引

運転免許を返納された65歳以上の方は **タクシー運賃が1割引**

**高齢者「運転免許証返納割引」実施**

静岡県タクシー協会加盟社及び個人タクシー協会事業者では、タクシーが「地域の皆様の重要な公共交通機関」の役割として、増加している高齢運転者による自動車事故の防止に向けて、「安全・安心」への社会貢献に寄与するため運転免許証を自ら返納された65歳以上の方に「運転免許証返納割引」を致します。

**割引適用の確認**

タクシー利用時に公安委員会発行の「運転経歴証明書」をお見せ願います。



資料：磐田市パンフレット

【参考】タクシー利用料金助成（高齢者等/障がい者）

・年48枚を限度に、タクシー料金の助成券（1枚600円）を支給します。（1乗車につき2枚まで利用可能）

■対象者：

〈高齢者等〉 要介護、要支援に該当する方または同程度の方（障がい者タクシー利用料金助成対象者を除く）

※所得制限あり

〈障がい者〉 重度の障害のある方（身体障害者手帳1・2・3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1・2級、または特別児童扶養手当1級受給対象者の方）

※自動車税等の減免を受けていないこと

■利用者負担：タクシー料金のうち、助成券2枚利用の場合、1,200円を超える額

【タクシー】高齢者等乗車券（磐田市）			
利用年月日	年	月	日
利用者氏名	見本		
区 間	日	～	至
料 金	600円	返納者	車号
有効期限	令和4年3月31日		

高齢者等乗車券（サンプル）

【参考】磐田市デマンド型乗合タクシー運賃割引

下記の方は、運賃が半額になります。（割引の併用はできません。）

■障害者割引

対象：障害者手帳等の所持者（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳）及びその介助者

■運転免許証自主返納者割引

対象：65歳以上で運転経歴証明書を提示された方

乗車の際に提示するもの



資料：磐田市デマンド（予約）型乗合タクシー パンフレット

【参考】デジタル障害者手帳（ミライロID）への対応

・障がい者が運賃割引等を受ける際に、障害者手帳の提示が必要となる場合があります。障害者手帳の提示がスマートフォンひとつでスムーズに行える「デジタル障害者手帳（ミライロID）」の対応が進んでいます。



資料：「ミライロID」Web ページ

⑤先端技術の活用 〈継続事業（一部新規事業）〉

本市の公共交通を持続可能なものにするため、企業と連携を図りながらAIや自動運転技術の調査・研究を進めます。

【実施事業】

- ・ AIや自動運転技術の活用の調査・研究を進める企業と連携します。
- ・ MaaS等の新モビリティサービス事業の研究を進めます。（新規）
- ・ 路線バスやタクシー等の電子決済の導入について調査・検討を進めます。

【実施主体】 情報通信技術開発企業、自動運転技術開発企業、交通事業者、磐田市

【実施時期】 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

【参考事例】御厨駅北側地区での低速自動運転車両の実証実験

■概要：本市とヤマハ発動機株式会社は「低速自動運転車両の実証実験に関する協定」を締結している。

■実証実験の内容：

- ①自動運転システムの機能評価と課題把握
- ②低速自動運転車の社会実証に向けた走行環境の検討

■実験車両：



【参考】MaaSとは（MaaSのサービスイメージ）

・MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、目的地におけるサービスとも連携し、スマートフォンアプリ等を活用して、検索・予約・決済等を一括で行うサービスのことです。

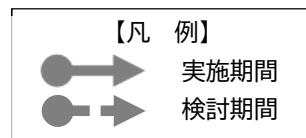


資料：国土交通省 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き【詳細編】（抜粋）

## 4 事業スケジュール

事業のスケジュールは下記のとおりです。

区分	事業名	事業主体	R5 2023 年度	R6 2024 年度	R7 2025 年度	R8 2026 年度	R9 2027 年度
【目標1】 公共交通の確保・維持 に関する事業	① 鉄道運行の維持・支援 〈継続事業〉	鉄道事業者/磐田市	●	→	→	→	→
	② バス路線の維持・支援 〈継続事業〉	路線バス事業者/ 磐田市	●	→	→	→	→
	③ バス路線退出の代替交通検討 〈継続事業〉	磐田市地域公共交通会議/ 磐田市/ 交通事業者/地域住民	●	→	→	→	→
	④ 新規路線の検討 〈新規事業〉	地域住民/磐田市 地域公共交通会議/ 磐田市/ 交通事業者		●	- - -	- - -	- - -
【目標2】 地域交通の確保・維持 に関する事業	① デマンド型乗合タクシーの維持 〈継続事業（一部新規事業）〉	磐田市/タクシー 事業者/磐田市地 域公共交通会議	●	→	→	→	→
	② ボランティア運送の支援 〈新規事業〉	市民活動団体/ 磐田市地域公共交通 会議/ 磐田市/ 交通事業者		●	→	→	→
	③ 地域輸送資源の活用調査 〈新規事業〉	磐田市/磐田市地 域公共交通会議/ 学校/施設/企業			●	- - -	- - -
【目標3】 公共交通の利便性向上 に関する事業	① 運行内容の見直し 〈継続事業（一部新規事業）〉	交通事業者/磐田市/ 磐田市地域公共交通 会議	●	→	→	→	→
	② バス停等の環境整備 〈継続事業（一部新規事業）〉	磐田市/交通事業者	●	→	→	→	→
	③ 利用方法等の情報発信 〈継続事業（一部新規事業）〉	磐田市/交通事業者	●	→	→	→	→
	④ 運賃の割引等 〈継続事業〉	磐田市/交通事業者	●	→	→	→	→
	⑤ 先端技術の活用 〈継続事業（一部新規事業）〉	情報通信技術開発企業/ 自動運転技術開発企業/ 交通事業者/磐田市	●	- - -	- - -	- - -	- - -





## 第5章 計画の達成状況と評価

### 1 評価指標と数値目標の設定

本計画で定めた3つの目標の達成状況を評価するため、目標に対応した評価指標と数値目標を設定します。

【基本方針】暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通	<b>目 標</b>	<b>評価指標/数値目標</b>								
	<b>【目標1】</b> 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持	<p><b>【評価指標1-1】 バス路線の利用者数</b>                  バス路線の運行維持と改善により、利用者の増加を目指します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在値：R3(2021)年度</td> <td>目標値：R9(2027)年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,709 人/日</td> <td style="text-align: center;">2,880 人/日</td> </tr> </table> <p><b>【評価指標1-2】 バス路線の収支率</b>                  利用促進や経費削減等により、収支率の改善を目指します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在値：R3(2021)年度</td> <td>目標値：R9(2027)年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">46.8%</td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> </tr> </table>	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度	2,709 人/日	2,880 人/日	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度	46.8%	50.0%
	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度								
2,709 人/日	2,880 人/日									
現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度									
46.8%	50.0%									
<b>【目標2】</b> 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持	<p><b>【評価指標2-1】 デマンド型乗合タクシーの利用者数</b>                  デマンド型乗合タクシーの運行維持と改善により、利用者数の増加を目指します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在値：R3(2021)年度</td> <td>目標値：R9(2027)年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">126 人/日</td> <td style="text-align: center;">165 人/日</td> </tr> </table> <p><b>【評価指標2-2】 デマンド型乗合タクシーの収支率</b>                  乗合率の向上や運行内容の変更等により、収支率の改善を目指します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在値：R3(2021)年度</td> <td>目標値：R9(2027)年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20.1%</td> <td style="text-align: center;">22.8%</td> </tr> </table>	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度	126 人/日	165 人/日	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度	20.1%	22.8%	
現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度									
126 人/日	165 人/日									
現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度									
20.1%	22.8%									
<b>【目標3】</b> 公共交通の利便性向上と利用促進	<p><b>【評価指標3】 市民の満足度</b>                  利便性向上や利用促進により、市民の公共交通に対する満足度を高めることを目指します。</p> <table border="1"> <tr> <td>現在値：R3(2021)年度</td> <td>目標値：R9(2027)年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14.9%</td> <td style="text-align: center;">19.9%</td> </tr> </table>	現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度	14.9%	19.9%					
現在値：R3(2021)年度	目標値：R9(2027)年度									
14.9%	19.9%									

## 2 数値目標設定の考え方

### 【評価指標1-1】バス路線の利用者数

数値目標は、バス路線の7路線（磐田市立病院福田線、中ノ町磐田線、磐田天竜線、掛塚さなる台線、城之崎線、磐田線、掛塚磐田駅線）における利用者数から設定しました。

現在値は、令和3（2021）年度実績の各路線の1日当たりの平均利用者数 2,709 人（7路線合計）としました。

目標値は、令和元（2019）年度実績 3,837（人/日）の約75%の2,880（人/日）とし、コロナ禍前水準の約75%までの回復を目指すものとしました。

現在値：R3（2021）年度	目標値：R9（2027）年度
2,709 人/日	2,880 人/日

### 【評価指標1-2】バス路線の収支率

数値目標は、バス路線の7路線（磐田市立病院福田線、中ノ町磐田線、磐田天竜線、掛塚さなる台線、城之崎線、磐田線、掛塚磐田駅線）における収支率から設定しました。

現在値は、令和3（2021）年度の経常収入合計を経常費用合計で除した収支率 46.8%としました。

目標値は、利用者数の増加及び運行経費削減の取り組みにより、収支率 50%を目指すものとしました。ただし、路線によって運行状況が異なるため、路線ごとの現在値を参考とします。

現在値：R3（2021）年度	目標値：R9（2027）年度
46.8 %	50.0 %

### 【参考：路線ごとの現在値】

路線名	現在値：（R3（2021）年度）				
	利用者数 （人/年）	利用者数 （人/日）	経常費用 （円/年）	経常収入 （円/年）	収支率 （%）
1 磐田市立病院福田線	192,047	526	85,197,403	37,080,454	43.5
2 中ノ町磐田線	327,357	896	91,951,545	56,181,444	61.1
3 磐田天竜線	304,291	833	169,102,367	76,283,723	45.1
4 掛塚さなる台線	59,756	163	24,425,535	11,844,952	48.5
5 城之崎線	27,924	76	10,109,472	3,145,526	31.1
6 磐田線	31,082	128	16,085,448	7,850,254	48.8
7 掛塚磐田駅線※	25,750	87	27,403,640	6,044,476	22.1
合計	968,207	2,709	424,275,410	198,430,829	46.8

※掛塚磐田駅線は R4（2022）年度の見込み値

### 【評価指標2-1】 デマンド型乗合タクシーの利用者数

数値目標は、デマンド型乗合タクシー8路線の利用者数から設定しました。

現在値は、令和3（2021）年度実績の各路線の1日当たりの平均利用者数126人（8路線合計）としました。

目標値は、計画期間の5年間で継続して前年比1.05を目指し、165（人/日）としました。

現在値：R3（2021）年度	→	目標値：R9（2027）年度
126 人/日		165 人/日

### 【評価指標2-2】 デマンド型乗合タクシーの収支率

数値目標は、デマンド型乗合タクシー8路線の収支率から設定しました。

現在値は、令和3（2021）年度の経常収入合計を経常費用合計で除した収支率20.1%としました。

目標値は、乗合率の向上や運賃の見直しなどにより、収支率22.8%を目指すものとしました。ただし、路線によって運行状況が異なるため、路線ごとの現在値を参考とします。

現在値：R3（2021）年度	→	目標値：R9（2027）年度
20.1 %		22.8 %

### 【参考：路線ごとの現在値】

路線名	現在値：R3（2021）年度				
	利用者数 （人/年）	利用者数 （人/日）	経常費用 （円/年）	経常収入 （円/年）	収支率 （%）
1 磐田北部線	1,012	4	2,716,540	450,100	16.6
2 磐田東部線	5,863	20	10,872,560	2,004,900	18.4
3 磐田南部線	3,853	13	8,200,530	1,619,800	19.8
4 磐田中央線	10,152	35	15,467,220	3,288,600	21.3
5 豊岡線	1,724	6	3,784,250	616,500	16.3
6 福田線	2,597	9	5,925,050	1,147,300	19.4
7 豊田線	7,014	24	11,171,290	2,521,200	22.6
8 竜洋線	4,321	15	9,349,080	1,902,700	20.4
合計	36,536	126	67,486,520	13,551,100	20.1

## 【評価指標3】市民の満足度

数値目標は、計画の策定にあたって実施した市民アンケートにおいて、公共交通の全体的な満足度について、「満足」「やや満足」の占める割合 14.9%に対して、各種利便性向上や利用促進策を進めることにより、年1%の満足度向上を目指し、計画期間5年間の5%を加えた19.9%を目標値として設定しました。

現在値：R3（2021）年度	→	目標値：R9（2027）年度
14.9 %		19.9 %

## 【参考：利用者ごとの満足度の現在値】

利用者区分	現在値：（R3（2021）年度）	
	満足度	説明
路線バス利用者	32.4%	令和3年度 磐田市の公共交通に関する調査（路線バス利用者）において、日常利用している路線バスの満足度について、「満足」「やや満足」と回答があった割合
デマンド型乗合タクシーの利用登録者	54.1%	令和3年度 磐田市の公共交通に関する調査（デマンド型乗合タクシー利用登録者）において、デマンド型乗合タクシーの満足度について、「満足」「やや満足」と回答があった割合

### 3 評価の方法

本計画の評価は、PDCAサイクルの考え方にに基づき、モニタリングシートを用いて、磐田市地域公共交通会議にて実施します。

#### ■ PDCAサイクルの考え方



**Plan :**

磐田市地域公共交通計画を5年ごとに策定します。

**Do :**

計画期間を通じて目標達成に向けた事業を実施します。

**Check :**

磐田市地域公共交通会議において、事業実施状況と路線運行状況をモニタリングシートにより評価します。

**Action :**

評価結果に基づいて、実施事業の検討、路線運行内容の見直しを進めます。

#### <評価スケジュール>

		計画期間					
		R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8 (2026) 年度	R9 (2027) 年度
Plan 施策の計画	計画の策定	→				アンケート調査	次期計画の策定
	R5事業の検討		→	→	→	→	→
Do 施策の実施			→	→	→	→	→
Check 施策の評価			○ R4年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況	○ R5年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況	○ R6年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況	○ R7年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況	○ R8年度の確認 ・事業実施状況 ・路線運行状況  ○ アンケート結果の確認
	Action 施策の改善		→ 事業改善 見直し	→ 事業改善 見直し	→ 事業改善 見直し	→ 事業改善 見直し	→ 事業改善 見直し

## ■モニタリングシート

## 令和 年度 磐田市地域公共交通計画モニタリングシート1【事業実施状況】

事業名	実施状況	令和4年度の実施状況の内容	今後の事業実施の方針
基本方針 暮らしの安心と人が集まる磐田市の未来を創る公共交通			
目標1 都市間や拠点間を結ぶ公共交通の確保・維持			
①	鉄道運行の維持・支援		
②	バス路線の維持・支援		
③	バス路線退出の代替交通検討		
④	新規路線の検討		
目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持			
①	デマンド型乗合タクシーの維持		
②	ボランティア運送の支援		
③	地域輸送資源の活用調査		
目標3 公共交通の利便性向上と利用促進			
①	運行内容の見直し		
②	バス停等の環境整備		
③	利用方法等の情報発信		
④	運賃の割引等		
⑤	先端技術の活用		

## 記載要領

- 1 実施状況は、事業を実施したは◎、実施予定は○、未実施は△を記入する。
- 2 実施状況の内容は、実施した事業の内容、実施予定の内容、未実施の理由等を記入する。
- 3 事業実施の方針は、実施状況を踏まえた今後の事業実施の方針を記入する。

令和 年度 磐田市地域公共交通計画モニタリングシート2【路線運行状況】

路線名	利用者数 (人/年)	利用者数 (人/日)	経常費用 (円/年)	経常収入 (円/年)	収支率 (%)	経常欠損額 (円/年)	公費負担額 (円/年) [国・県] [市]	今後の 路線方針
バス路線 令和 年度								
1	磐田市立病院福 田線							
2	中ノ町磐田線							
3	磐田天竜線							
4	掛塚さなる台線							
5	城之崎線							
6	磐田線							
7	掛塚磐田駅線							
合 計								
デマンド型乗合タクシー 令和 年度								
1	磐田北部線							
2	磐田東部線							
3	磐田南部線							
4	磐田中央線							
5	豊岡線							
6	福田線							
7	豊田線							
8	竜洋線							
合 計								

記載要領

- 1 利用者数は、年間利用者数と年間利用者数を年間運行日数で除した値を記入する。
- 2 経常費用は、年間の運行にかかる経費の合計を記入する。
- 3 経常収入は、年間の運行にかかる収入の合計を記入する。
- 4 収支率は、経常収入を経常費用で除した率を記入する。
- 5 経常欠損額は、経常費用から経常収入を引いた値を記入する。
- 6 公費負担額は、当該路線の国・県・市の補助額等の合計を記入する。
- 7 今後の路線方針は、運行見直し内容等を記入する。

## 磐田市地域公共交通計画 意見シート

No.	意見等	頁	対応等
1	各章の開始を見開きで左ページに統一する。	全体	第2章のページを1ページ増やして調整しました。 当該意見による第2章の内容変更はありません。
2	<p>議案については、詳細にわたり且つ広範囲で将来を見据えて検討されている事は、誠に有り難く敬意を表します。 全国的にも同様問題を抱えている地域は多く、一地域での問題解決は至難の業で有ると考えます。</p> <p>本件議案につきましては貴意に全面的に賛同致します。 公共交通（特にバス事業等）につきましては、現況の自動車社会も成熟状況下に有り、特に高齢者等にあつては家族構成（子供と別居）も有って事故等の状況を考えるに、逆に一層充実強化すべき方向に有るのではないかとさえ思われます。しかし現況を思うに、利用者の大幅な減少に伴う営業収支の極端な悪化下に有り、この解決は見当たらないのが実情と思われま</p>	全体	ご意見のとおり、全国的に同様の課題を抱えていると認識しています。 本市におきましても、地域公共交通計画を策定し、公共交通の課題解決に向けた施策展開に取り組んでいきたいと考えています。
3	<p>観光的な視点から見ると、豊田町駅からアミューズ豊田を経由するコースはありがたいです。この計画の目的が市民の移動手段の維持・確保であるため、観光視点は主ではないと思いますが、渚の交流館への交通手段はいつも聞かれて困るところです。御厨駅から福田への路線を検討する際に、視野に入れていただけるとありがたいです。</p>	全体	本計画は、観光施設や文化施設などへの移動についても視野に入れて計画の策定を進めています。路線検討等の事業実施にあたりましても、観光的な視点を含めて検討していきたいと考えています。
4	<p>議案については異論ありません。 今後の会議について観光課等にも参加してもらった方が幅広い意見を得ることが出来、また議論の内容も増えると思います。</p>	全体	庁内検討会議では、観光担当課を加えて計画策定を進めています。計画策定後の事業実施にあたりましても、観光的な視点を含めて検討していきたいと考えています。
5	<p>下記文言の統一（調整）を図ること。 天竜浜名湖線（←天竜浜名湖鉄道） 磐田市立総合病院（←市立病院など） 便数（←運行本数など） JR磐田駅（←磐田駅など） JR豊田町駅（←豊田町駅など） JR御厨駅（←御厨駅など）</p>	全体	修正、調整しました。



## 磐田市地域公共交通計画 意見シート

No.	意見等	頁	対応等
6	<p>策定中の「第2次磐田市環境基本計画」の修正により、交通計画の10頁目の内容以下の様に修正。</p> <p>【第2次磐田市環境基本計画】 5章 基本方針6 地球温暖化対策に取り組みます 施策6-3 脱炭素社会の推進 3 交通に関する脱炭素の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通の利用を促進する。</li> <li>● AIや自動運転技術の活用など新たな公共交通の導入を研究する。</li> <li>● 都市基盤の整備に徒歩や自転車の利用を促進する視点を取り入れる。</li> </ul> <p>下記は、貴課の計画に重複するため削除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 磐田市地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通政策を推進する。</li> </ul>	11	<p>【第2次磐田市環境基本計画（目標：令和9（2027）年度）】をご指示のとおり修正しました。</p>
7	次期磐田市地域福祉計画はR4年度に策定される予定	11	次期計画が整い次第、修正します。
8	<p>市や自治会、各種団体等を包含した組織を立ち上げ、「by bus」運動の展開を市民総ぐるみで展開する等の活動等は如何でしょうか。</p> <p>市内有力企業等の応援（協力や協賛スポンサー）を得て、時にイベント等も開催し、市民意識の向上強化を図って盛り上がりを図って行く必要があります。市民にも当然に其れなりの負担と覚悟が必要と考えます。</p>	14	<p>4 基本理念と役割をご確認ください。</p> <p>先ずは、「地域の公共交通の利用促進に努める」や「沿線企業、商店、病院等とのパートナーシップを図る」などの理念に基づく啓発に努めていきたいと考えます。</p>
9	<p>第3章 4 基本理念と役割</p> <p>鉄道、バス、デマンド型乗合タクシー、ボランティア運送、一般乗用タクシーの特性について、利用者へ説明するため、第3章のどこかに示すようにしてほしい。</p>	16	<p>【参考】各公共交通の特徴を追記しました。</p> <p>運賃が高くなれば利便性が高く、輸送量が多くなれば利便性が低いことを示しました。</p>
10	最近、一般のタクシーを呼んでもなかなか来ない、駅にタクシーがないという声を聞きます。デマンドタクシーの9時～11時台の稼働率が高いので、この時間帯に何か対策ができるといいと思います。	20	<p>【実施事業】をご確認ください。</p> <p>地域公共交通会議に検討部会を組織して、午前中に集中する利用の分散を図っていきます。</p>

## 磐田市地域公共交通計画 意見シート

No.	意見等	頁	対応等
11	<p>第4章 2【目標2 拠点とその周辺地域を結ぶ地域交通の確保・維持】に関する事業 ②ボランティア運送の支援（新規事業）</p> <p>安全確保のための措置をどの様にするのかが必要になるかと思ひます。運行主体において、運転者の運転技能や知識をどの様に確保するのが十分検討し、輸送の安全確保や利用者の保護に努める必要があります。また、講じている安全の確保に関する措置、任意の自動車損害保険の加入状況や事故の際の責任の所在がどのようなものになるかといった点について、運転主体が利用者に対し、わかりやすく周知することが必要になってくると思ひれます。以上のような安全確保のための措置について磐田市が市民活動団体に要望することができないでしょうか。</p>	21	<p>②ボランティア運送の支援【実施事業】をご確認ください。安全対策の支援について追記しました。</p>
12	<p>公共交通事業者の路線退出や減便を避けるため、市民の意識改革を図り関心の向上強化を図り、利用促進向上を期したいと思ひます。</p>	23	<p>③利用方法との情報発信【実施事業】をご確認ください。講演会やシンポジウムなどの開催により、公共交通に対する市民の理解を深めていきたいと考えています。</p>
13	<p>障がい者タクシー助成制度について計画に示してほしい。</p>	24	<p>【参考】タクシー利用料金助成（高齢者等/障がい者）に追記しました。前回までは高齢者等としていましたが、障がい者についても記載しました。</p>
14	<p>ミライロIDについて計画に示してほしい。</p>	24	<p>【参考】デジタル障害者手帳（ミライロID）への対応を追記しました。今回新たに記載しました。</p>
15	<p>年齢を問わずスマートフォンの所有者が増加しているので、路線バスやタクシー等の料金精算方法について、スマホ決済ができるように検討してほしい。</p>	25	<p>【実施事業】に追記しました。路線バスやタクシー等の電子決済の導入について調査・検討を進めます。</p>
16	<p>デマンド型乗合タクシー利用者数の評価指標の値を変更します。</p>	29	<p>令和3年度実績値と令和4年度見込値を確認し、1.03の各年の伸び率を1.05に見直し、目標値を147人/日から165人/日に修正しました。</p>
17	<p>市民の満足度を指標に設定しているが、利用者の満足度についても参考にすべきと考えます。</p>	30	<p>【参考：利用者ごとの満足度の現在値】を追記しました。実際に公共交通を利用する市民の意見も参考に評価していきます。</p>

単独継続困難申出路線、事業者市町単独補助系統申出路線及び  
市自主運行申出路線について

令和4年9月30日までに静岡県生活交通確保対策協議会に申し出のあった下記の単独継続困難路線（系統）、事業者市町単独補助系統申出路線（系統）及び本市自主運行路線（系統）については、地域住民の日常生活に必要な移動手段であることから、当該路線（系統）を生活交通として維持する必要があると判断する。

記

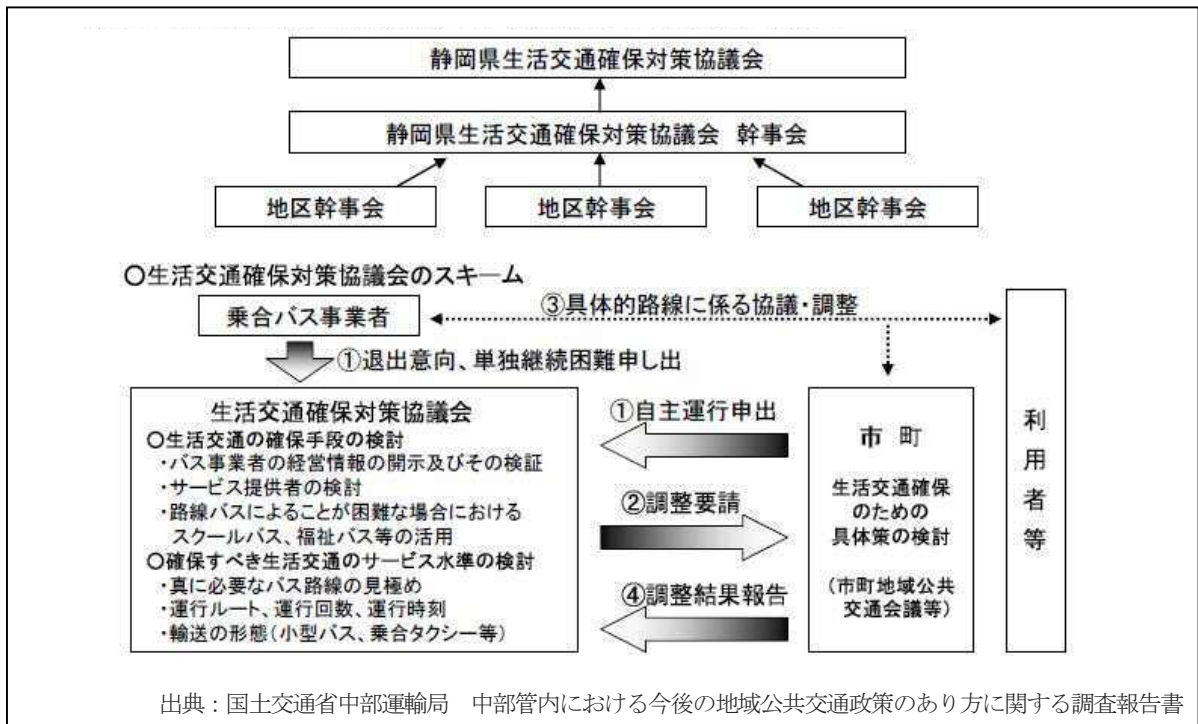
- |   |                 |          |
|---|-----------------|----------|
| 1 | 単独継続困難申出路線      | 4路線7系統   |
| 2 | 事業者市町単独補助系統申出路線 | 4路線10系統  |
| 3 | 市自主運行申出路線       | 10路線13系統 |

単独継続困難申出路線、事業者市町単独補助系統申出路線及び  
市自主運行申出路線について

1 要 旨

単独で運行を継続することが困難な路線、市単独の補助が必要な路線及び市自主運行路線は、事業者及び市から県生活交通確保対策協議会へ補助制度の活用を希望する旨の申し出がされるため、当該路線を日常生活に必要な路線として、公的支援により維持していくことについてご意見を伺うものです。

【静岡県における県協議会と市町協議会との調整要請の仕組み】



【補助制度】

- ・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金 令和5年10月～令和6年9月運行分
- ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 令和5年10月～令和6年9月運行分
- ・市町自主運行バス事業費補助金 令和5年4月～令和6年3月運行分
- ・磐田市生活バス路線維持費補助金国庫補助路線 令和5年10月～令和6年9月運行分
- ・磐田市生活バス路線維持費補助金市補助路線 令和4年10月～令和5年9月運行分
- ・磐田市生活バス路線磐田線運行事業費補助金 令和5年4月～令和6年3月運行分

## 2 対象路線

### [単独継続困難申出路線]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	磐田市立病院福田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磐田市立総合病院から磐田駅を經由し、福田地区を結ぶ路線</li> <li>・磐田市立病院への通院、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線</li> </ul>
2		中ノ町磐田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松駅から磐田駅を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線</li> <li>・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線</li> </ul>
3		磐田天竜線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市山東から磐田市北端部を經由し、磐田駅を結ぶ路線</li> <li>・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線</li> </ul>
4		掛塚さなる台線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松駅から掛塚を經由し、福田地区を結ぶ路線</li> <li>・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線。</li> </ul>

### [事業者市町単独補助系統申出路線]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	城之崎線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磐田駅から磐田東部地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線</li> <li>・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線</li> </ul>
2		中ノ町磐田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松駅や磐田駅から磐田中央地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線</li> <li>・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線</li> </ul>
3		磐田天竜線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磐田駅から磐田中央地区を經由し、ららぽーと磐田を結ぶ路線</li> <li>・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線</li> </ul>
4		磐田市立病院福田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磐田駅から磐田中央地区を經由し、磐田市立総合病院を結ぶ路線</li> <li>・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線。</li> </ul>

[市自主運行申出路線]

	運行主体（事業者）	路線名	路線概要
1	磐田市 (秋葉バスサービス(株))	磐田線	3市町（磐田市、袋井市、森町）の共同により運行。沿線の高校生の通学の足として、磐田駅までをつなぐ必要な路線。
2	磐田市 (遠鉄タクシー(株))	デマンド型乗合 タクシー (竜洋線)	竜洋地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
3		デマンド型乗合 タクシー (福田線)	福田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
4		デマンド型乗合 タクシー (豊岡線)	豊岡地区～磐田市立総合病院～豊田町駅・磐田駅周 辺 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
5		デマンド型乗合 タクシー (磐田北部線)	磐田北部地区～地区外商業施設～磐田駅周辺 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
6		デマンド型乗合 タクシー (磐田東部線)	磐田東部地区～磐田市立総合病院・磐田駅周辺 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
7		デマンド型乗合 タクシー (磐田南部線)	磐田南部地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総 合病院 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
8		デマンド型乗合 タクシー (豊田線)	豊田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
9		デマンド型乗合 タクシー (磐田中央線)	磐田中央地区～磐田市立総合病院 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
10		磐田市 (浜松バス(株))	掛塚磐田駅線

### 3 路線状況

#### (1) 単独継続困難申出路線(遠州鉄道株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	磐田市立 病院福田	磐田市立病院 磐田駅 豊浜郵便局	令和3年度	172,504.5	365	163,629	70,659,567	31,700,209	38,959,358
			令和4年度	136,002.0	365	129,005	54,535,442	24,992,344	29,543,098
			令和5年度	82,841.5	365	78,579	33,062,043	15,223,330	17,838,713
2	磐田市立 病院福田	磐田駅南口 福田車庫 豊浜郵便局	令和3年度	35,491.9	365	28,418	14,537,836	5,380,245	9,157,591
			令和4年度	45,142.7	365	36,145	18,101,771	6,843,217	11,258,554
			令和5年度	46,527.4	365	37,254	18,569,085	7,053,125	11,515,960
3	中ノ町磐田	浜松駅 中ノ町 磐田営業所	令和3年度	224,485.6	365	327,357	91,951,545	56,181,444	35,770,101
			令和4年度	190,102.5	365	277,218	76,229,201	47,576,472	28,652,729
			令和5年度	172,462.5	365	251,494	68,829,784	43,161,754	25,668,030
4	磐田天竜	山東 新開 磐田駅	令和3年度	108,854.6	365	75,118	44,587,932	21,627,290	22,960,642
			令和4年度	104,355.3	365	72,013	41,845,432	20,733,367	21,112,065
			令和5年度	79,426.8	365	54,811	31,699,236	15,780,559	15,918,677
5	磐田天竜	山東 ららぽーと磐田 磐田駅	令和3年度	303,982.9	365	229,173	124,514,435	54,656,433	69,858,002
			令和4年度	298,326.6	365	224,909	119,625,983	53,639,425	68,986,559
			令和5年度	258,312.6	365	194,742	103,092,559	46,444,867	56,647,692
6	掛塚さなる台	浜松駅 掛塚 豊浜郵便局	令和3年度	59,631.2	365	59,756	24,425,535	11,844,952	12,580,583
			令和4年度	68,369.6	365	68,513	27,415,526	13,580,720	13,834,806
			令和5年度	52,592.0	365	52,702	20,989,467	10,446,708	10,542,760
7	掛塚さなる台	浜松駅 芳川 掛塚	令和3年度	111,338.4	365	180,376	45,605,322	31,494,813	14,110,509
			令和4年度	116,637.6	365	188,961	46,770,511	32,993,822	13,776,689
			令和5年度	124,248.3	365	201,291	49,587,497	35,146,697	14,440,800
合計			令和3年度	1,016,289.1	365	1,063,827	416,282,172	212,885,386	203,396,786
			令和4年度	958,936.3	366	996,764	384,523,866	200,359,367	187,164,500
			令和5年度	816,411.1	365	870,873	325,829,671	173,257,040	152,572,632

#### 【備考】

①R3年度(R02.10.01～R03.09.30)とR4年度(R03.10.01～R04.09.30)は実績値、R5年度(R04.10.01～R05.09.30)は見込値を記載しています。

②系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額の1/2を磐田市が補助しています。

## (2) 事業者市町単独補助系統申出路線(遠州鉄道株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	城之崎	磐田駅	令和2年度	28,372.8	365	16,088	12,059,859	1,533,331	10,526,528
		城之崎	令和3年度	25,593.6	365	27,924	10,109,472	2,827,909	7,281,563
		磐田営業所	令和4年度	25,593.6	365	27,924	10,109,472	2,827,909	7,281,563
2	城之崎	磐田駅	令和2年度	3,381.4	365	6,887	1,437,264	1,075,630	361,634
		城之崎・磐田営業所	令和3年度	3,497.4	365	7,502	1,381,473	1,227,458	154,015
		スズキ	令和4年度	3,497.4	365	7,502	1,381,473	1,227,458	154,015
3	城之崎	磐田駅	令和2年度	926.1	147	1,269	393,639	123,754	269,885
		東高校・城之崎	令和3年度	800.1	127	791	316,040	125,100	190,940
		磐田営業所	令和4年度	800.1	127	791	316,040	125,100	190,940
4	中ノ町磐田	磐田駅	令和2年度	37,362.7	365	40,612	15,881,016	4,732,547	11,148,469
		加茂川	令和3年度	28,315.5	365	35,494	11,184,623	4,221,141	6,963,482
		磐田営業所	令和4年度	28,315.5	365	35,494	11,184,623	4,221,141	6,963,482
5	中ノ町磐田	磐田営業所	令和2年度	4,229.2	218	7,191	1,797,621	1,178,101	619,520
		東高校	令和3年度	4,617.2	238	8,197	1,823,794	1,465,768	358,026
		浜松駅	令和4年度	4,617.2	238	8,197	1,823,794	1,465,768	358,026
6	磐田天竜	磐田駅	令和2年度	42,145.2	365	43,203	17,913,817	9,913,127	8,000,690
		加茂川	令和3年度	27,724.2	365	37,460	10,951,059	9,556,144	1,394,915
		ららぽーと磐田	令和4年度	27,724.2	365	37,460	10,951,059	9,556,144	1,394,915
7	磐田市立 病院福田	磐田駅	令和2年度	32,227.6	365	42,795	13,698,341	7,052,877	6,645,464
		本通	令和3年度	42,191.2	365	38,350	16,665,524	7,012,192	9,653,332
		磐田市立病院	令和4年度	42,191.2	365	38,350	16,665,524	7,012,192	9,653,332
8	磐田市立 病院福田	磐田駅	令和2年度	2,158.2	218	13,774	917,343	2,406,404	-
		北高校前	令和3年度	3,613.5	365	10,468	1,427,333	1,673,645	-
		磐田市立病院	令和4年度	3,613.5	365	10,468	1,427,333	1,673,645	-
9	磐田市立 病院福田	磐田駅	令和2年度	1,206.4	218	9,044	512,780	859,831	-
		加茂川	令和3年度	1,183.2	204	9,211	467,364	893,566	-
		北高校前	令和4年度	1,183.2	204	9,211	467,364	893,566	-
10	磐田市立 病院福田	北見町	令和2年度	732.6	198	9,288	311,392	1,010,802	-
		美登里町	令和3年度	754.8	204	8,437	298,146	943,016	-
		磐田北小	令和4年度	754.8	204	8,437	298,146	943,016	-
合計			令和2年度	152,742.2	282	190,151	64,923,072	29,886,404	37,572,190
			令和3年度	138,290.7	296	183,834	54,624,828	29,945,939	25,996,273
			令和4年度	138,290.7	296	183,834	54,624,828	29,945,939	25,996,273

## 【備考】

①R2年度(R02.04.01～R03.03.31)とR3年度(R03.04.01～R04.03.31)は実績値、R4年度(R04.04.01～R05.03.31)は見込値を記載しています。

②系統ごとに経常欠損額から他補助金を差し引いた残りの欠損額の1/2を磐田市が補助します。



## (2) 磐田市自主運行申出路線 (秋葉バスサービス株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	磐田線 (森山入口)	磐田駅 遠江総合高校・森山入口 遠州森町	令和2年度	31,508.4	242	17,949	9,296,868	4,402,052	4,894,816
			令和3年度	31,508.4	242	23,126	9,597,773	5,814,840	3,782,933
			令和4年度	31,638.6	243	24,773	10,298,364	6,202,161	4,096,203
2	磐田線 (森町病院)	磐田駅 遠江総合高校・森町病院 遠州森町	令和2年度	21,296.0	242	13,478	6,283,597	3,290,135	2,993,462
			令和3年度	21,298.3	242	7,956	6,487,675	2,035,414	4,452,261
			令和4年度	21,384.0	243	8,523	6,960,492	2,162,242	4,798,250
合計			令和2年度	52,804.4	242	31,427	15,580,465	7,692,187	7,888,278
			令和3年度	52,806.7	242	31,082	16,085,448	7,850,254	8,235,194
			令和4年度	53,022.6	242	33,296	17,258,856	8,364,403	8,894,453

## 【備考】

①R2年度(R02.04.01～R03.03.31)とR3年度(R03.04.01～R04.03.31)は実績値、R4年度(R04.04.01～R05.03.31)は見込値を記載しています。

②関係市町(袋井市、森町)との合算を記載しています。

③各系統ごとに経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けます。

## (3) 磐田市自主運行申出路線 (遠鉄タクシー株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	デマンド型 乗合タクシー (竜洋)	竜洋地区 豊田町駅・磐田駅周辺地区 磐田市立総合病院	令和2年度	17,463.0	292	3,110	6,932,450	1,321,700	5,610,750
			令和3年度	26,507.0	293	4,321	8,499,158	1,729,722	6,769,436
			令和4年度	33,282.0	298	5,724	11,994,480	2,424,000	9,570,480
2	デマンド型 乗合タクシー (福田)	福田地区 磐田駅周辺地区 磐田市立総合病院	令和2年度	12,281.0	288	2,198	5,120,270	998,100	4,122,170
			令和3年度	14,335.0	289	2,597	5,386,405	1,042,994	4,343,411
			令和4年度	14,874.0	296	3,012	6,614,540	1,219,000	5,395,540
3	デマンド型 乗合タクシー (豊岡)	豊岡地区 豊田町駅・磐田駅周辺地区 なぎの木会館	令和2年度	7,081.0	271	1,462	3,518,490	574,800	2,943,690
			令和3年度	8,641.0	284	1,724	3,440,224	560,449	2,879,775
			令和4年度	6,590.0	278	1,572	3,414,320	516,400	2,897,920
4	デマンド型 乗合タクシー (磐田北部)	磐田北部地区 磐田駅周辺地区 なぎの木会館	令和2年度	2,498.0	214	581	1,690,670	233,200	1,457,470
			令和3年度	5,525.0	259	1,012	2,469,575	409,177	2,060,398
			令和4年度	8,270.0	280	1,424	3,531,040	601,000	2,930,040
5	デマンド型 乗合タクシー (磐田東部)	磐田東部地区 磐田駅周辺地区 なぎの木会館	令和2年度	14,184.0	289	3,756	7,344,640	1,308,100	6,036,540
			令和3年度	23,669.0	293	5,863	9,884,140	1,822,631	8,061,509
			令和4年度	25,552.0	298	6,566	12,028,620	2,131,000	9,897,620
6	デマンド型 乗合タクシー (磐田南部)	磐田南部地区 豊田町駅・磐田駅周辺地区 磐田市立総合病院	令和2年度	14,148.0	291	3,277	6,510,510	1,299,700	5,210,810
			令和3年度	18,232.0	291	3,853	7,455,022	1,472,539	5,982,483
			令和4年度	19,678.0	298	4,452	8,931,320	1,798,600	7,132,720
7	デマンド型 乗合タクシー (豊田)	豊田地区 磐田駅周辺地区 磐田市立総合病院	令和2年度	21,126.0	293	6,004	9,853,250	2,089,500	7,763,750
			令和3年度	25,699.0	293	7,014	10,155,714	2,291,993	7,863,721
			令和4年度	26,826.0	298	7,540	12,325,380	2,598,600	9,726,780
8	デマンド型 乗合タクシー (磐田中央)	磐田中央地区 磐田駅周辺地区 磐田市立総合病院	令和2年度	25,651.0	293	8,613	13,873,360	2,920,800	10,952,560
			令和3年度	29,558.0	293	10,152	14,061,103	2,989,632	11,071,471
			令和4年度	32,884.0	298	12,052	17,784,380	3,635,000	14,149,380
合計			令和2年度	114,432.0	279	29,001	54,843,640	10,745,900	44,097,740
			令和3年度	152,166.0	287	36,536	61,351,341	12,319,137	49,032,204
			令和4年度	167,956.0	293	42,342	76,624,080	14,923,600	61,700,480

## 【備考】

①R2年度(R02.04.01～R03.03.31)とR3年度(R03.04.01～R04.03.31)は実績値、R4年度(R04.04.01～R05.03.31)は見込値を記載しています。

②福田・磐田中央の2路線は、経常欠損額の1/2の国庫補助を受けています。

③その他の路線は、経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けます。

(4) 磐田市自主運行申出路線 (浜松バス株式会社)

番号	系統名 (路線名)	起 点 経過地 終 点	年度	運行の状況			収支の状況		
				実車走行 キロ(km)	運行 日数 (日)	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	掛塚磐田駅線 (とつか)	掛塚蟹町	令和2年度	—	—	—	—	—	—
		とつか・豊田町駅	令和3年度	—	—	—	—	—	—
		磐田駅	令和4年度	37,797.0	293	10,374	13,097,911	2,737,100	10,360,811
2	掛塚磐田駅線 (千手堂)	掛塚蟹町	令和2年度	—	—	—	—	—	—
		千手堂	令和3年度	—	—	—	—	—	—
		磐田駅	令和4年度	24,524.1	293	8,090	8,554,942	1,784,450	6,770,492
3	掛塚磐田駅線 (北高)	掛塚蟹町	令和2年度	—	—	—	—	—	—
		千手堂・磐田駅	令和3年度	—	—	—	—	—	—
		磐田北高	令和4年度	3,545.3	293	4,965	7,846,947	1,638,600	6,208,347
合計			令和2年度	—	—	—	—	—	—
			令和3年度	—	—	—	—	—	—
			令和4年度	65,866.4	293	23,429	29,499,800	6,160,150	23,339,650

【備考】

- ①掛塚磐田駅線はR4年度(R04.04.01)から運行を開始しており、R4年度(R04.04.01～R05.03.31)は見込値を記載しています。  
 ②各系統ごとに経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けます。

# 【単独継続困難申出路線】

## 遠州鉄道株式会社 2022年4月現在 遠鉄バス 電車 路線図

**バス運行制度の説明**

太線 概ね平日1時間につき3〜5回運行  
 中線 概ね平日1時間につき1〜2回運行  
 凡例 平日のみ または 1日1〜2回運行

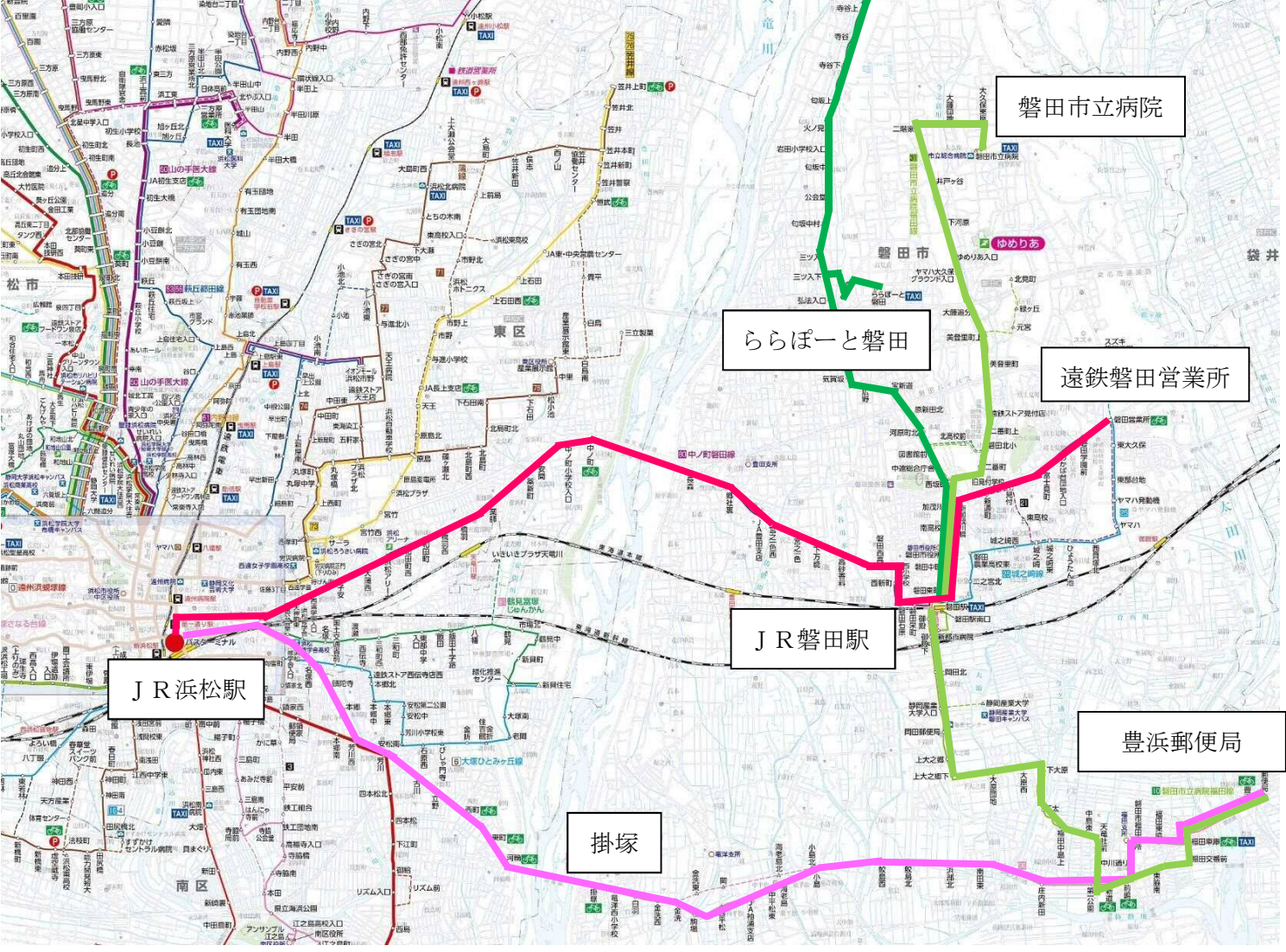
**バス停記号の説明**

● 普通バス停  
 ○ 道路の片側のみポールのあるバス停

サイクリングバスシステム  
 バイクライド  
 TAXI タクシー乗り場

まつフルーツパーク時之橋

No	運行系統名	起点	主な経由地	終点
1	磐田市立病院福田線	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局
2		磐田駅南口	福田車庫	豊浜郵便局
3	中ノ町磐田線	浜松駅	中ノ町	磐田駅
4	磐田天竜線	山東	新開	磐田駅
5		山東	ららぽーと磐田	磐田駅
6	掛塚さなる台線	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局
7		浜松駅	芳川	掛塚



# 【事業者市町単独補助系統申出路線】

## 遠州鉄道株式会社 2022年4月現在 遠鉄バス 電車 路線図

**バス運行制度の説明**  
 太線 概ね平日1時間につき3〜5回運行  
 中線 概ね平日1時間につき1〜2回運行  
 凡例 平日のみ または 1日1〜2回運行

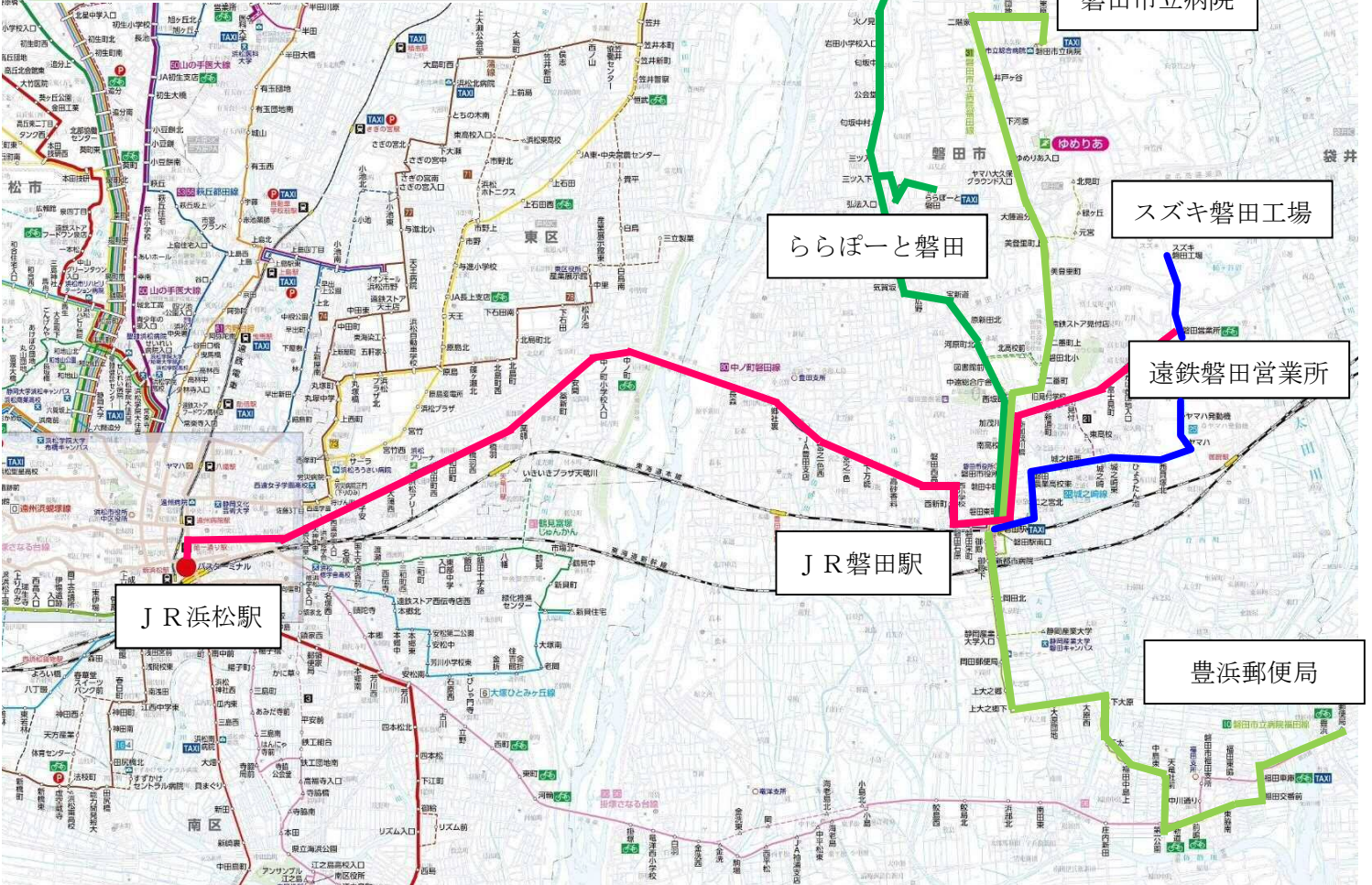
**バス停記号の説明**  
 ① 遠鉄バス停  
 ② 道路の片側のみポールのあるバス停

サイクルバスシステム  
 パーク＆ライド  
 タクシー乗り場

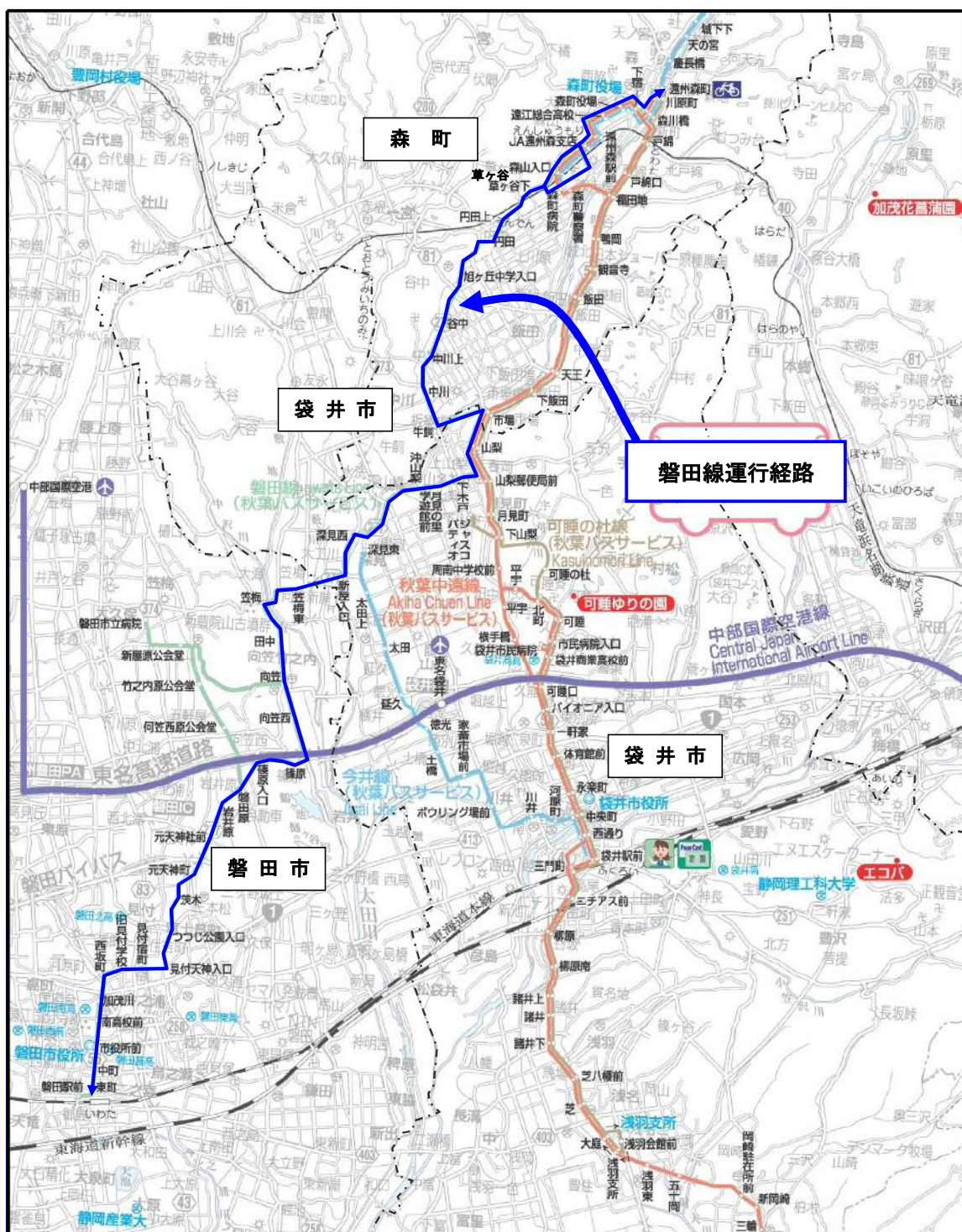
ままつフルーツパーク時之栖

### 磐田市単独継続困難申出路線

No	運行系統名	起点	主な経由地	終点
1	城之崎線	磐田駅	城之崎	磐田営業所
2		磐田駅	城之崎・磐田営業所	スズキ
3		磐田駅	東高校・城之崎	磐田営業所
4	中ノ町磐田線	磐田駅	加茂川	磐田営業所
5		磐田営業所	東高校	浜松駅
6	磐田天竜線	磐田駅	加茂川	ららぽーと磐田
7	磐田市立病院福田線	磐田駅	本通	磐田市立病院
8		磐田駅	北高校前	磐田市立病院
9		磐田駅	加茂川	北高校前
10		北見町	美登里町	磐田北小



## 「磐田線」路線図



### ■ 運行内容

#### (1) 運行系統 2系統

	起点	経由地	終点	キロ程	磐田市内 キロ程
1	遠州森町	森町病院	磐田駅	22.0 km	9.7 km
2	遠州森町	森山入口	磐田駅	21.7 km	9.7 km

#### (2) 運行日

平日運行（土曜日、日曜日及び祝日は運休）



# お助け号



「お助け号」って  
どんな乗り物？

市内を8つの地区に分けて  
運行している乗合タクシーです。  
🏠(自宅)⇄🏢(指定施設)の間を  
移動することができます。途中下車は  
できません。  
決められた運行時刻に利用することが  
できます。



使い方は？

利用者登録を事前にします。  
利用者登録完了の後、電話で利用  
する運行便を予約して使います。  
詳しい使い方については、次の  
ページをご確認ください。



誰が使えるの？

お住いの地区の路線に  
限りどなたでも使えます。  
ただし、磐田中央線は、  
「65歳以上」または、「障  
害者手帳等所持者とそ  
の介助者のみ」利用する  
ことができます。



## 乗降場所 表示



または

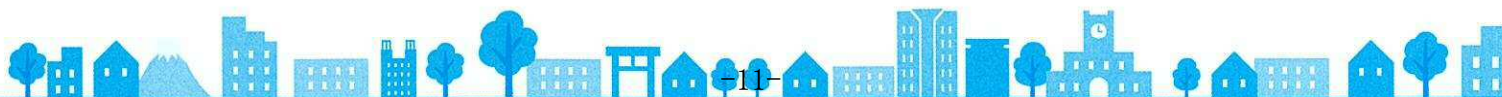
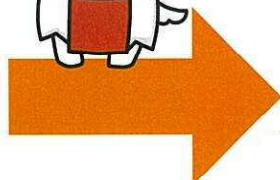


事前予約に基づ  
いて運行します。  
お急ぎの方は  
一般タクシーを  
ご利用ください。



運行日：月曜日～土曜日  
運休日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)  
運行時刻：最後のページにて確認してください。

詳しい使い方については  
次のページへ



# 掛塚磐田駅線マップ

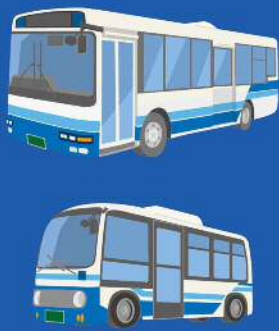
運行日 月曜日～土曜日

※ 日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運行しません

問合せ：浜松バス株式会社 ☎053-584-4000

<http://www.hamabus.co.jp/route/kaketsukaiwata>

※ 詳細は浜松バス(株)のホームページをご覧ください



**凡例**

とつか系統 —

千手堂系統 —

北高系統 (1日1便のみ) —

バス停

バス停名称 **磐田駅 IWATA-EKI**

鉄道 **磐田駅**

**とつか系統**

**掛塚行 Outbound line**

停留所	平日	土曜日
	1便 2便 3便 4便 5便	1便 2便 3便 4便 5便
磐田駅 IWATA-EKI	6:20 7:53 16:19 18:01 19:30	6:20 7:53 16:19 18:01 19:30
上野町 SAIGANJI	6:21 7:55 16:20 18:01 19:31	6:21 7:55 16:20 18:01 19:31
西野小 RYUO-NISHYO	6:22 7:57 16:21 18:02 19:32	6:22 7:57 16:21 18:02 19:32
磐田南高 IWATAMINAMI	6:24 7:59 16:23 18:04 19:34	6:24 7:59 16:23 18:04 19:34
西新町西 NISHISHINMACHI-NISHI	6:25 8:00 16:24 18:05 19:35	6:25 8:00 16:24 18:05 19:35
天竜 TENRYU	6:27 8:02 16:26 18:07 19:37	6:27 8:02 16:26 18:07 19:37
天竜支所 RYUO-SHISYO	6:27 8:02 16:26 18:07 19:37	6:27 8:02 16:26 18:07 19:37
笠原島 SASAHARAJIMA	6:28 8:03 16:27 18:08 19:38	6:28 8:03 16:27 18:08 19:38
高子島 KOGOSIMA	6:29 8:04 16:28 18:09 19:40	6:29 8:04 16:28 18:09 19:40
下本郷東 SHIMOHONGO-HIGASHI	6:29 8:04 16:28 18:09 19:40	6:29 8:04 16:28 18:09 19:40
下本郷中 SHIMOHONGO-NAKA	6:30 8:05 16:29 18:10 19:41	6:30 8:05 16:29 18:10 19:41
豊田駅前 TOYOYACHO-EKI	6:35 8:09 16:34 18:17 19:46	6:35 8:09 16:34 18:17 19:46
下本郷西 SHIMOHONGO-NISHI	6:36 8:10 16:35 18:18 19:47	6:36 8:10 16:35 18:18 19:47
赤池 AKAIKE	6:37 8:11 16:36 18:19 19:48	6:37 8:11 16:36 18:19 19:48
電洋支所北 RYUO-HENDENSYO-KITA	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49
電洋支所南 RYUO-HENDENSYO	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49
宮本 MIYAMOTO	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49	6:38 8:12 16:37 18:20 19:49
高木上 TAKAGIKAMI	6:39 8:13 16:38 18:21 19:50	6:39 8:13 16:38 18:21 19:50
高木 TAKAGI	6:40 8:14 16:39 18:22 19:51	6:40 8:14 16:39 18:22 19:51
とつか TOTSUKA	6:42 8:16 16:41 18:24 19:53	6:42 8:16 16:41 18:24 19:53
電洋支所北 RYUO-HENDENSYO-KITA	6:43 8:17 16:42 18:25 19:54	6:43 8:17 16:42 18:25 19:54
電洋支所南 RYUO-HENDENSYO	6:43 8:17 16:42 18:25 19:54	6:43 8:17 16:42 18:25 19:54
なぎの木会館 NAGINOKI-KAIKAN	6:45 8:19 16:44 18:27 19:56	6:45 8:19 16:44 18:27 19:56
あおば団地 AOBADANCHI	6:45 8:19 16:44 18:27 19:56	6:45 8:19 16:44 18:27 19:56
電洋支所 RYUO-SHISYO	6:47 8:20 16:46 18:29 19:57	6:47 8:20 16:46 18:29 19:57
金洗東 KANEARAI-HIGASHI	6:48 8:21 16:47 18:30 19:58	6:48 8:21 16:47 18:30 19:58
金洗西 KANEARAI-NISHI	6:49 8:22 16:48 18:31 19:59	6:49 8:22 16:48 18:31 19:59
白鳥 SHIROWA	6:49 8:23 16:49 18:32 20:00	6:49 8:23 16:49 18:32 20:00
電洋西小 RYUO-NISHISHO	6:50 8:23 16:49 18:32 20:00	6:50 8:23 16:49 18:32 20:00
掛塚 KAKETSUKA	6:53 8:27 16:53 18:34 20:04	6:53 8:27 16:53 18:34 20:04
磐町 KANIMACHI	6:56 8:31 16:57 18:38 20:08	6:56 8:31 16:57 18:38 20:08

**磐田駅行 Inbound line**

停留所	平日	土曜日
	1便 2便 3便 4便 5便	1便 2便 3便 4便 5便
磐町 KANIMACHI	7:06 8:52 15:58 17:15 19:11	7:06 8:52 15:58 17:15 19:11
掛塚 KAKETSUKA	7:11 8:57 16:03 17:20 19:16	7:11 8:57 16:03 17:20 19:16
電洋西小 RYUO-NISHISHO	7:11 8:57 16:03 17:20 19:16	7:11 8:57 16:03 17:20 19:16
白鳥 SHIROWA	7:12 8:58 16:04 17:21 19:17	7:12 8:58 16:04 17:21 19:17
金洗西 KANEARAI-NISHI	7:13 8:59 16:05 17:22 19:18	7:13 8:59 16:05 17:22 19:18
金洗東 KANEARAI-HIGASHI	7:14 9:00 16:06 17:23 19:19	7:14 9:00 16:06 17:23 19:19
天竜支所 RYUO-SHISYO	7:16 9:02 16:08 17:24 19:21	7:16 9:02 16:08 17:24 19:21
おおば団地 AOBADANCHI	7:16 9:02 16:08 17:24 19:21	7:16 9:02 16:08 17:24 19:21
なぎの木会館 NAGINOKI-KAIKAN	7:18 9:04 16:10 17:25 19:23	7:18 9:04 16:10 17:25 19:23
電洋支所北 RYUO-HENDENSYO-KITA	7:20 9:05 16:11 17:26 19:24	7:20 9:05 16:11 17:26 19:24
電洋支所南 RYUO-HENDENSYO	7:20 9:05 16:11 17:26 19:24	7:20 9:05 16:11 17:26 19:24
とつか TOTSUKA	7:21 9:06 16:12 17:27 19:25	7:21 9:06 16:12 17:27 19:25
高木 TAKAGI	7:22 9:07 16:13 17:28 19:26	7:22 9:07 16:13 17:28 19:26
高木上 TAKAGIKAMI	7:22 9:07 16:13 17:28 19:26	7:22 9:07 16:13 17:28 19:26
宮本 MIYAMOTO	7:23 9:08 16:14 17:29 19:27	7:23 9:08 16:14 17:29 19:27
電洋中島 RYUONAKAJIMA	7:23 9:08 16:14 17:29 19:27	7:23 9:08 16:14 17:29 19:27
赤池 AKAIKE	7:26 9:11 16:17 17:35 19:30	7:26 9:11 16:17 17:35 19:30
下本郷東 SHIMOHONGO-HIGASHI	7:27 9:12 16:18 17:36 19:31	7:27 9:12 16:18 17:36 19:31
下本郷中 SHIMOHONGO-NAKA	7:29 9:14 16:20 17:41 19:33	7:29 9:14 16:20 17:41 19:33
豊田駅前 TOYOYACHO-EKI	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34
下本郷西 SHIMOHONGO-NISHI	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34
下本郷東 SHIMOHONGO-HIGASHI	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34	7:30 9:15 16:21 17:42 19:34
高子島 KOGOSIMA	7:31 9:16 16:22 17:43 19:35	7:31 9:16 16:22 17:43 19:35
笠原島 SASAHARAJIMA	7:32 9:17 16:23 17:44 19:36	7:32 9:17 16:23 17:44 19:36
天竜支所 RYUO-SHISYO	7:33 9:19 16:25 17:46 19:38	7:33 9:19 16:25 17:46 19:38
天竜 TENRYU	7:33 9:19 16:25 17:46 19:38	7:33 9:19 16:25 17:46 19:38
西新町西 NISHISHINMACHI-NISHI	7:36 9:21 16:27 17:49 19:40	7:36 9:21 16:27 17:49 19:40
磐田南高 IWATAMINAMI	7:38 9:23 16:29 17:51 19:42	7:38 9:23 16:29 17:51 19:42
上野町 SAIGANJI	7:39 9:24 16:30 17:52 19:43	7:39 9:24 16:30 17:52 19:43
磐田駅 IWATA-EKI	7:47 9:30 16:36 17:57 19:49	7:47 9:30 16:36 17:57 19:49



**北高系統 (1日1便のみ)**

**千手堂系統** **北高系統**

**掛塚行 Outbound line**

停留所	平日	土曜日
	1便 2便 3便 4便 5便	1便 2便 3便 4便 5便
磐田駅 IWATA-EKI	6:40 8:28 16:40 18:10 19:56	6:40 8:28 16:40 18:10 19:56
磐町 KAKETSUKA	6:42 8:31 16:43 18:14 19:58	6:42 8:31 16:43 18:14 19:58
石原 SHIHARA	6:43 8:31 16:43 18:14 19:58	6:43 8:31 16:43 18:14 19:58
天竜 TENRYU	6:43 8:32 16:44 18:15 19:59	6:43 8:32 16:44 18:15 19:59
天竜支所 RYUO-SHISYO	6:45 8:34 16:46 18:17 20:01	6:45 8:34 16:46 18:17 20:01
笠原島 SASAHARAJIMA	6:46 8:35 16:47 18:18 20:02	6:46 8:35 16:47 18:18 20:02
豊田駅前 TOYOYACHO-EKI	6:46 8:36 16:48 18:19 20:03	6:46 8:36 16:48 18:19 20:03
千手堂 SENZUDO	6:46 8:36 16:48 18:21 20:05	6:46 8:36 16:48 18:21 20:05
万正寺入口 MANSHOJI-IRIGUCHI	6:48 8:37 16:49 18:22 20:06	6:48 8:37 16:49 18:22 20:06
神明 SHINMEI	6:51 8:40 16:53 18:25 20:06	6:51 8:40 16:53 18:25 20:06
小島中村 KOJIMA-NAKANURA	6:51 8:41 16:54 18:26 20:06	6:51 8:41 16:54 18:26 20:06
小島 KOJIMA	6:52 8:42 16:55 18:27 20:07	6:52 8:42 16:55 18:27 20:07
海老島 EBUSIMA	6:52 8:43 16:56 18:28 20:08	6:52 8:43 16:56 18:28 20:08
中平松東 NAKAHIRAMATSU-HIGASHI	6:53 8:43 16:56 18:28 20:09	6:53 8:43 16:56 18:28 20:09
JA柳井支所 JASOJIBURA	6:55 8:44 16:57 18:29 20:11	6:55 8:44 16:57 18:29 20:11
西平松 NISHIRAMATSU	6:56 8:45 16:58 18:30 20:12	6:56 8:45 16:58 18:30 20:12
新島 KOMARA	6:56 8:45 16:58 18:31 20:13	6:56 8:45 16:58 18:31 20:13
金洗 KANEARAI	6:58 8:46 17:00 18:34 20:14	6:58 8:46 17:00 18:34 20:14
金洗西 KANEARAI-NISHI	6:59 8:47 17:01 18:35 20:15	6:59 8:47 17:01 18:35 20:15
白鳥 SHIROWA	6:59 8:47 17:01 18:35 20:15	6:59 8:47 17:01 18:35 20:15
電洋西小 RYUO-NISHISHO	7:00 8:48 17:02 18:36 20:16	7:00 8:48 17:02 18:36 20:16
掛塚 KAKETSUKA	7:03 8:51 17:05 18:38 20:18	7:03 8:51 17:05 18:38 20:18
磐町 KANIMACHI	7:08 8:56 17:10 18:41 20:22	7:08 8:56 17:08 18:41 20:22

**磐田駅行 Inbound line**

停留所	平日	土曜日
	1便 2便 3便 4便 5便	1便 2便 3便 4便 5便
磐町 KANIMACHI	6:07 7:12 15:04 17:17 18:57	6:07 7:12 15:04 17:17 18:57
掛塚 KAKETSUKA	6:12 7:17 15:09 17:22 19:02	6:12 7:17 15:09 17:22 19:02
電洋西小 RYUO-NISHISHO	6:12 7:17 15:09 17:22 19:02	6:12 7:17 15:09 17:22 19:02
白鳥 SHIROWA	6:13 7:18 15:10 17:23 19:03	6:13 7:18 15:10 17:23 19:03
金洗西 KANEARAI-NISHI	6:13 7:18 15:10 17:23 19:03	6:13 7:18 15:10 17:23 19:03
金洗東 KANEARAI-HIGASHI	6:15 7:20 15:12 17:25 19:04	6:15 7:20 15:12 17:25 19:04
海老島 EBUSIMA	6:15 7:20 15:12 17:25 19:04	6:15 7:20 15:12 17:25 19:04
西平松 NISHIRAMATSU	6:16 7:21 15:22 17:27 19:05	6:16 7:21 15:22 17:27 19:05
JA柳井支所 JASOJIBURA	6:18 7:22 15:24 17:29 19:07	6:18 7:22 15:24 17:29 19:07
中平松東 NAKAHIRAMATSU-HIGASHI	6:18 7:23 15:25 17:30 19:08	6:18 7:23 15:25 17:30 19:08
海老島 EBUSIMA	6:18 7:23 15:25 17:30 19:07	6:18 7:23 15:25 17:30 19:07
小島 KOJIMA	6:20 7:26 15:28 17:32 19:09	6:20 7:26 15:28 17:32 19:09
小島中村 KOJIMA-NAKANURA	6:21 7:28 15:29 17:33 19:10	6:21 7:28 15:29 17:33 19:10
神明 SHINMEI	6:22 7:28 15:29 17:33 19:11	6:22 7:28 15:29 17:33 19:11
万正寺入口 MANSHOJI-IRIGUCHI	6:24 7:32 15:33 17:36 19:14	6:24 7:32 15:33 17:36 19:14
千手堂 SENZUDO	6:25 7:33 15:34 17:37 19:15	6:25 7:33 15:34 17:37 19:15
豊田駅前 TOYOYACHO-EKI	6:26 7:34 15:35 17:38 19:16	6:26 7:34 15:35 17:38 19:16
豊田南高 IWATAMINAMI	6:26 7:35 15:36 17:39 19:17	6:26 7:35 15:36 17:39 19:17
天竜支所 RYUO-SHISYO	6:28 7:36 15:38 17:41 19:18	6:28 7:36 15:38 17:41 19:18
天竜 TENRYU	6:30 7:38 15:40 17:43 19:20	6:30 7:38 15:40 17:43 19:20
石原 SHIHARA	6:31 7:40 15:42 17:45 19:21	6:31 7:40 15:42 17:45 19:21
磐町 KAKETSUKA	6:33 7:42 15:44 17:47 19:23	6:33 7:42 15:44 17:47 19:23
磐田駅 IWATA-EKI	6:33 7:42 15:44 17:47 19:23	6:33 7:42 15:44 17:47 19:23
東町 HIGASHIMACHI	- 7:50 - - - 7:50 - - -	- 7:50 - - - 7:50 - - -
中町 NAKAMACHI	- 7:50 - - - 7:50 - - -	- 7:50 - - - 7:50 - - -
豊田駅前 IWATASHIKAYUSYO	- 7:51 - - - 7:51 - - -	- 7:51 - - - 7:51 - - -
磐田南高 IWATAMINAMI	- 7:51 - - - 7:51 - - -	- 7:51 - - - 7:51 - - -
加茂川 KAWOGAWA	- 7:52 - - - 7:52 - - -	- 7:52 - - - 7:52 - - -
西坂町 NISHIZAKACHO	- 7:54 - - - 7:54 - - -	- 7:54 - - - 7:54 - - -
中津総合庁舎 CHUEN-SOGO-CHOCHA	- 7:55 - - - 7:55 - - -	- 7:55 - - - 7:55 - - -
図書館前 TOSHOKAN-MAE	- 7:56 - - - 7:56 - - -	- 7:56 - - - 7:56 - - -
磐田北高 IWATAKITAKO	- 7:59 - - - 7:59 - - -	- 7:59 - - - 7:59 - - -



磐田市福田地区及び磐田中央地区デマンド型乗合タクシーの自己評価について

「磐田市福田地区デマンド型乗合タクシー」及び「磐田中央地区デマンド型乗合タクシー」の地域公共交通確保維持改善事業に関する令和4年度（令和3年10月から令和4年9月分）の自己評価を別添のとおり定めるものとする。



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年12月27日

協議会名: 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①福田地区デマンド型乗合タクシー	福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行	新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことを考慮し、現状実績値を目標値とした。 引き続き、広報活動や利用促進に努める。	A 計画のとおり事業は適切に実施された。 〈実施事業〉 ・高齢者サロン等での説明 ・広報いわた及び市ホームページへの掲載	B ①福田地区デマンド型乗合タクシー 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 7.3人 交通結節点利用者数 246人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 9.3人 交通結節点利用者数 289人  ②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 27.6人 交通結節点利用者数 785人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 37.6人 交通結節点利用者数 555人  ※目標が達成できなかった理由 利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策として発令されたそろりスタート(R3.10.1～R3.10.14)及びまん延防止等重点措置(R4.1.27～R4.3.21)の影響に伴う区域外への外出控えにより磐田中央線の交通結節点の利用が減少した。	地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め、利用促進を図る。  磐田市地域公共交通計画の策定を進め、地域公共交通の維持・確保に努める。
②磐田中央地区デマンド型乗合タクシー	磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行				

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年12月27日

協議会名:	磐田市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の公共交通は、6つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、市内全域で運行しているデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。</p> <p>今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民、関係機関が役割を分担し、相互に連携・協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。</p>
-----------------------------	--

議案第3号 説明資料

中部様式

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要(全体)

# 磐田市地域公共交通会議

平成19年10月17日設置

フィーダー系統	令和3年3月1日	二次評価結果	
	令和3年6月28日	計画策定	
	令和3年10月1日～令和4年9月30日	実施期間	

直近の二次評価結果 (R3.3.1 中部運輸局)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>デマンド型乗合タクシーの周知啓発の取組として、高齢者サロンでの説明や、利用促進検討会の開催等を行い、高齢者等の利用促進に取り組んだことについて評価します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことを考慮し、現状実績値を目標値とする。 引き続き、広報活動や利用促進に努める。</p>	<p>地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。</p>
<p>持続可能な地域公共交通サービスを実現するための計画策定を早急に検討いただくようお願いします。 計画策定に当たっては、現行の公共交通サービスで地域ニーズに対応できているかどうかの検証が必要です。</p>	<p>地域公共交通の維持・確保を図るため、磐田市地域公共交通計画を策定する。</p>	<p>磐田市地域公共交通計画の策定を進め、地域公共交通の維持確保に努める。</p>

### 1 地域の特徴

磐田市は静岡県の西部に位置し、東は袋井市・森町、北・西は、浜松市とそれぞれ接し、南は遠州灘に面している。

補助対象地区である福田地区は市の南東部に位置し、南は遠州灘に面し、地区全域が低地となっている。また、磐田中央地区は市のほぼ中心部に位置し、磐田駅や市役所等の主要な公共施設が立地するまちの中心的地区である。

### 2 公共交通の現状及び目標

市内には2本の鉄道（JR東海道本線、天竜浜名湖鉄道）が通り、磐田駅・豊田町駅・御厨駅・敷地駅・豊岡駅・上野部駅の6つの鉄道駅がある。

民間路線バスは、近隣の浜松市・袋井市・森町と本市を結ぶ広域路線4路線が運行されており、磐田駅を中心に放射線状に路線網が形成されている。また、市では、デマンド型乗合タクシーを運行しており、バス路線など既存の公共交通への乗り継ぎを図りつつ、通院や買い物などの日常生活に必要な移動手段としての役割を果たしている。

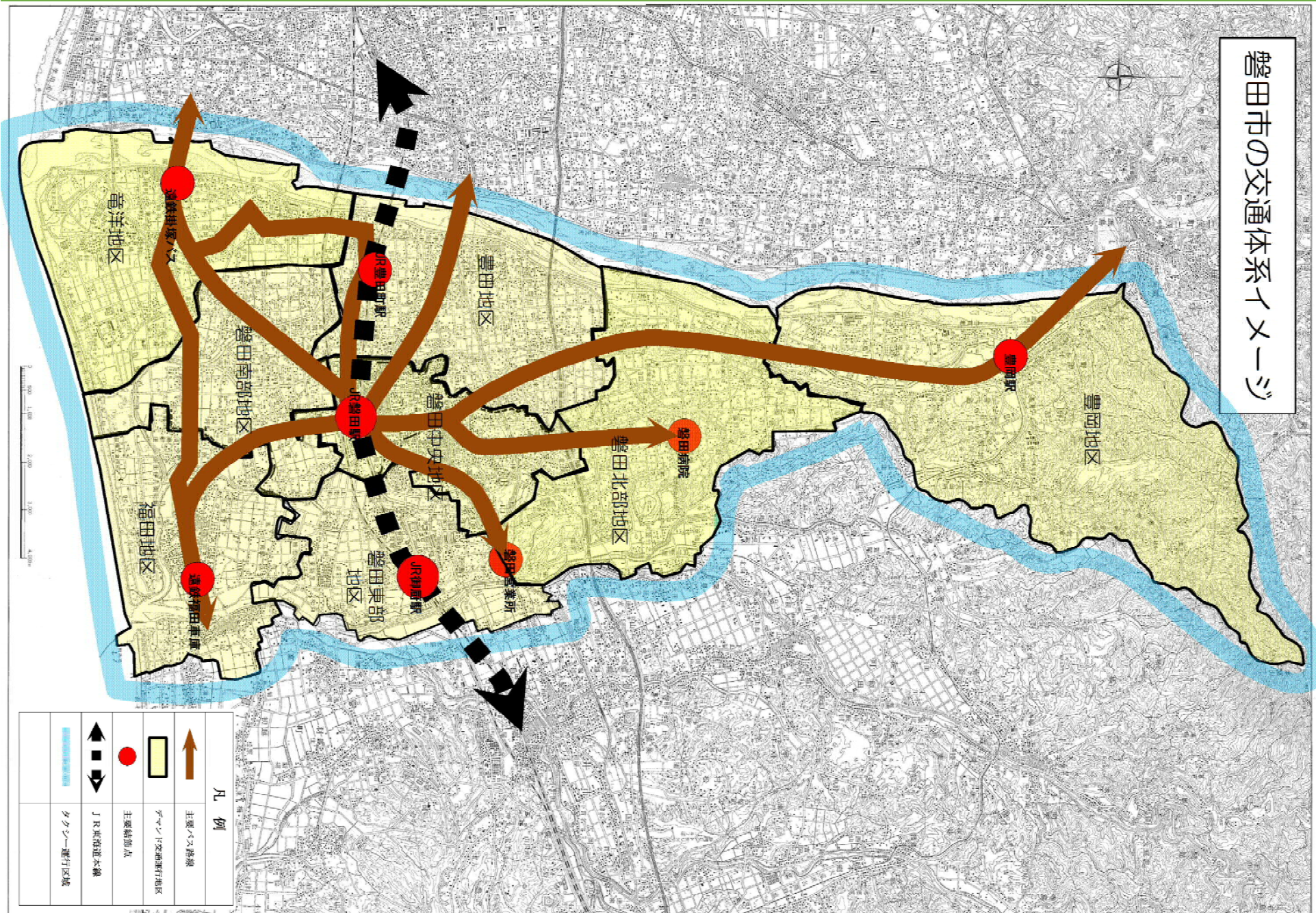
デマンド型乗合タクシーは、平成22年11月の導入以降、順次エリアを拡大し、福田線は平成24年10月、磐田中央線は平成28年1月から路線開設した。現在は市内全域を8路線にて運行している。

将来的な人口減少やさらなる高齢化が見込まれる中で、地域住民自らが公共交通の必要性について共通の認識を持ち、積極的に利用することで地域公共交通を支えるとともに、市や交通事業者による利用促進策の実施や、誰もが使いやすい環境の整備により、持続性のある交通サービスとして確保・維持することを目標としている。

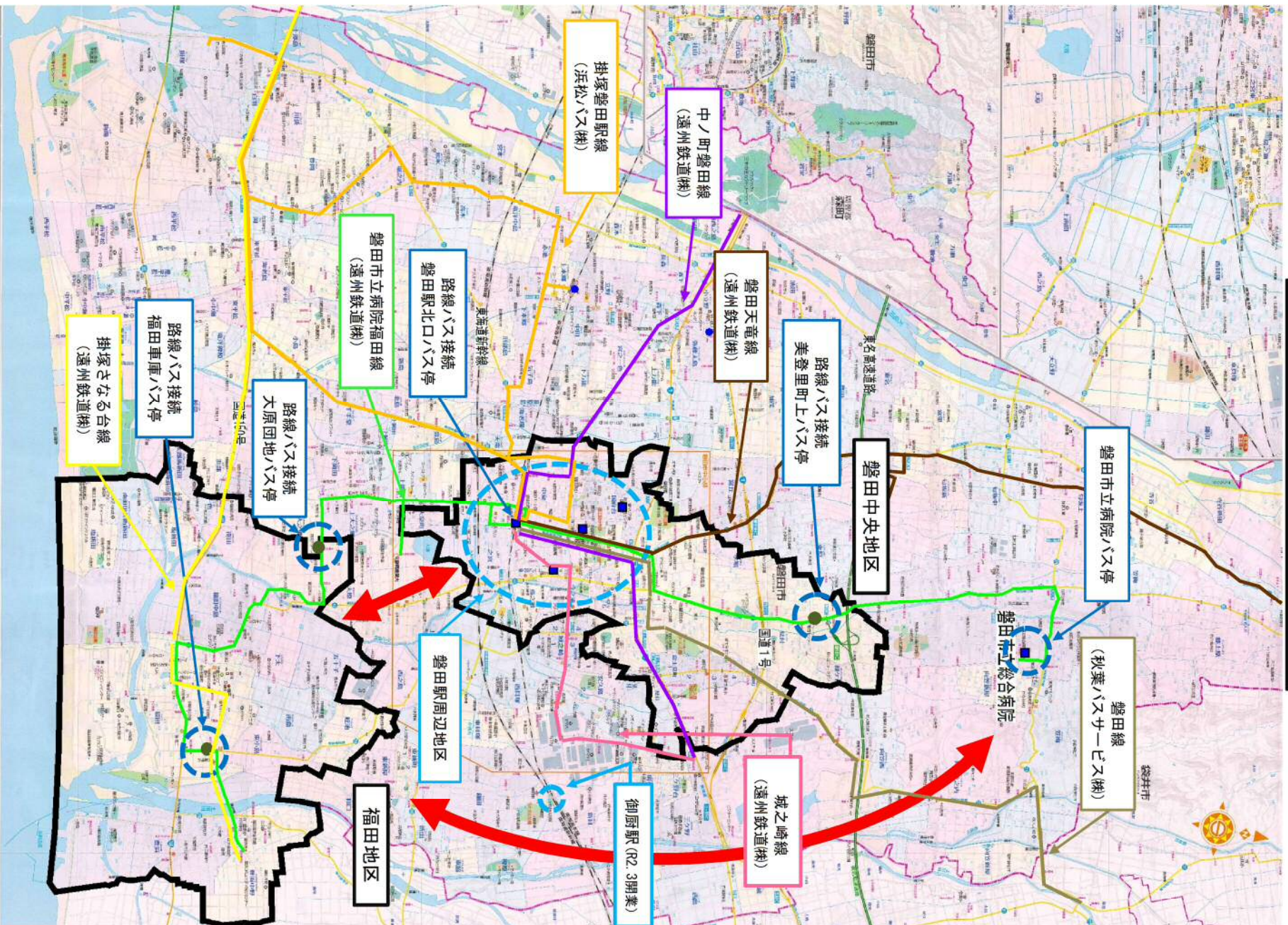
### 3 基礎データ（令和4年9月末現在）

人口：167,538人、高齢化率：29.0%、面積：163.45 km<sup>2</sup>

# 磐田市の交通体系イメージ



# ネットワーク計画概要図



#### ■ 当該年度実施した取組み

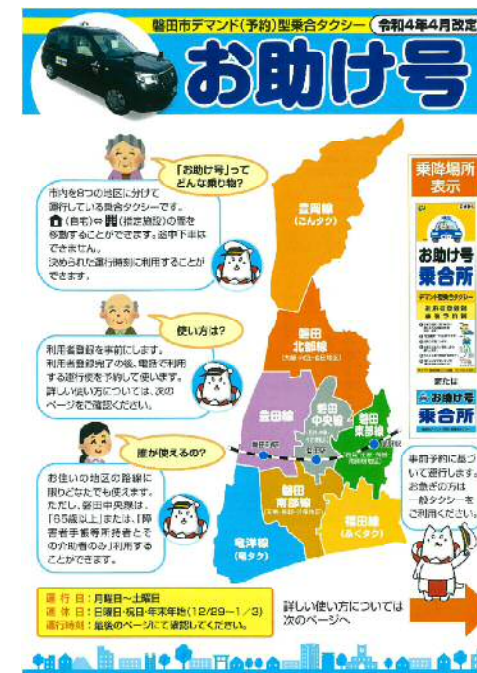
#### 1 啓発活動

- ・ 高齢者サロンでの制度周知
- ・ 磐田警察署の免許窓口での制度紹介
- ・ 地域と協力した制度周知と登録促進
- ・ 市ホームページや市広報紙への掲載
- ・ 作成した制度説明動画を市ホームページへ掲載
- ・ 高齢者に関係する機関と協力した制度周知と登録促進



#### 2 運行内容の見直し・利用促進方策等の検討

- ・ 磐田市地域公共交通計画の策定に伴うアンケート調査から利用実態を把握し、今後事業を維持していくために磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織し、「利用者負担額と公費負担額の見直し」や「午後の運行便への利用分散」等を検討する。
- ・ 運行事業者との情報提供を行う。





## 4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

### < 福田線 >

※目標値は前年比1.1の伸び率を設定

指 標	計画策定時の現状 (R1.10～R2.9)	目標値 (R3.6計画策定)	前年度実績 (R2.10～R3.9)	今年度実績 (R3.10～R4.9)
1日あたり利用者数	7.3人	7.3人	9.2人	9.3人
交通結節点利用者	246人	246人	158人	289人

- ・ 地域、警察署、福祉関係機関等で制度の周知をしたことにより登録者数が101人増加し、1日あたりの利用者数が目標値を2.0人上回った。
- ・ 制度周知のための啓発活動の実施により利用者数が増加したことに比例し、交通結節点の利用者数も増加した。

### < 磐田中央線 >

※目標値は前年比1.1の伸び率を設定

指 標	計画策定時の現状 (R1.10～R2.9)	目標値 (R3.6計画策定)	前年度実績 (R2.10～R3.9)	今年度実績 (R3.10～R4.9)
1日あたり利用者数	27.6人	27.6人	33.7人	37.6人
交通結節点利用者	785人	785人	475人	555人

- ・ 地域、警察署、福祉関係機関等で制度の周知をしたことにより登録者数が232人増加し、1日あたりの利用者数が目標値を10.0人上回った。
- ・ 啓発活動の実施により、利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策として発令された、そろりスタート (R3. 10. 1～R3. 10. 14) 及びまん延防止等重点措置 (R4. 1. 27～R4. 3. 21) の影響に伴う区域外への外出控えにより交通結節点の利用が減少した。

### 〈参考〉

『お助け号』利用状況（運行期間：令和3年10月～令和4年9月）

※上段網掛けは前年値

地区名	利用者数 (人/日)	交通結節点利用者数 (人)	乗合率 (人/車両台数)	全体利用者数 (人)
豊田地区	21.5	353	1.3	6,294
	25.5	420	1.4	7,490
磐田北部地区	2.2	176	1.0	654
	4.7	203	1.2	1,372
磐田東部地区	17.0	1,612	1.3	4,980
	22.5	1,819	1.4	6,601
磐田南部地区	12.4	276	1.3	3,643
	14.2	526	1.4	4,161
磐田中央地区	33.7	475	1.4	9,874
	37.6	555	1.5	11,045
竜洋地区	12.7	458	1.3	3,708
	17.6	896	1.4	5,160
福田地区	9.0	158	1.3	2,650
	9.3	289	1.3	2,731
豊岡地区	5.9	121	1.3	1,717
	5.4	80	1.3	1,578
合計	114.4	3,629	1.3	33,520
	136.5	4,788	1.4	40,138

### ■ 周知・啓発

制度内容の浸透により住民の認知度が高まってきているが、持続性のある交通サービスとして維持していくため、次の事業を実施して更なる利用促進を図る。

- 高齢者サロンなどでの制度周知
- 警察署と連携した制度周知
- 市ホームページや市広報誌への掲載
- 民生委員、地域包括支援センター、自治会連合会等を通じた制度周知
- 公共交通に関する講演会やシンポジウムなどの開催 など

### ■ ニーズの収集

利用者の声を広く収集するために、多方面からの意見の収集を図る。

- アンケート調査
- 運行事業者と協力し運行車両での意見収集 など

### ■ 地域との協議

運行内容や利用促進を図る事項等について、地域づくり協議会、自治会、老人クラブ、民生児童委員、福祉関係団体、運行事業者などと協議する。

- 住民主体の制度説明会の開催 など

### ■ 運行内容の検討

磐田市地域公共交通計画の策定に伴うアンケート調査から利用実態を把握し、今後事業を維持していくため、磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織し、利用者負担額と公費負担額の見直し、午後の運行便への利用分散等を検討する。

磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

デマンド型乗合タクシーの運行内容を下記のとおり変更するものとする。

記

1 指定施設の削除について

(1) 地区内施設

磐田東部地区の指定施設の「金田内科医院」を削除する。

(2) 実施時期

令和4年12月27日

2 指定施設の所在地変更について

(1) 施設名 袖浦郵便局 (移転前：磐田市海老島 661 番地 2)

(移転先：磐田市中平松 434 番地 2)

(2) 変更理由 移転のため

(3) 運賃 区域内移転のため運賃の変更なし (片道 400 円/人)

(4) 実施時期 令和4年12月27日

磐田市デマンド型乗合タクシー指定施設位置図（削除施設）

施設名 金田内科医院  
所在地 磐田市城之崎2丁目6-1  
削除理由 閉院のため

【位置図】



【写真】

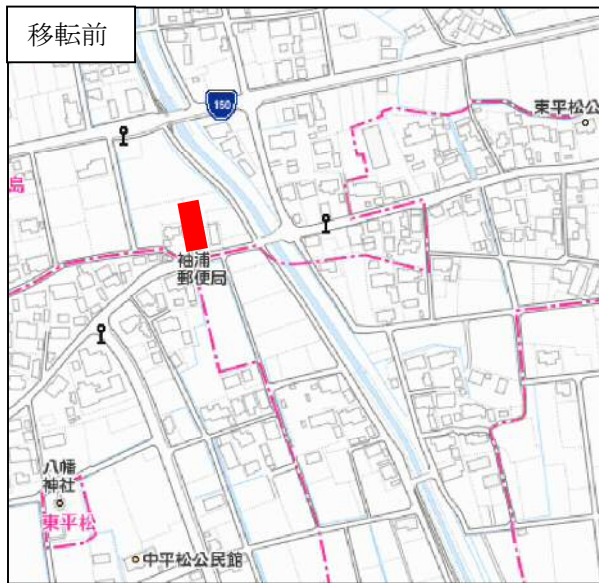


磐田市デマンド型乗合タクシー指定施設位置図（所在地変更施設）

施設名 袖浦郵便局（移転前：磐田市海老島 661 番地 2）  
（移転先：磐田市中平松 434 番地 2）

変更理由 店舗移転のため

【位置図】



【写真】



磐田市生活バス路線「掛塚磐田駅線」の運行時刻の改定について

令和5年4月1日より別紙「掛塚磐田駅線時刻表改定案」のとおり運行内容を改定する。

掛塚磐田駅線 時刻表改定案(とつか系統 掛塚行き)

2022.12.27 (案)

とつか系統 掛塚行き	1便				2便				3便				4便				5便			
	平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日	
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
磐田駅	6:20	6:19	6:20	6:19	7:53	7:50	7:53	7:50	16:19	16:15	16:19	16:15	18:00		18:00		19:30		19:30	
西願寺	6:21	6:21	6:21	6:21	7:55	7:52	7:54	7:52	16:20	16:16	16:20	16:16	18:01		18:01		19:31		19:31	
上野公園	6:22	6:22	6:22	6:22	7:57	7:54	7:55	7:53	16:21	16:17	16:21	16:17	18:02		18:02		19:32		19:32	
磐田西高	6:24	6:23	6:24	6:23	7:59	7:56	7:57	7:54	16:23	16:19	16:23	16:19	18:05		18:05		19:34		19:34	
西新町西	6:25	6:24	6:25	6:24	8:00	7:57	7:58	7:55	16:24	16:20	16:24	16:20	18:06		18:06		19:35		19:35	
天竜	6:27	6:26	6:27	6:26	8:02	7:59	8:00	7:57	16:26	16:22	16:26	16:22	18:08		18:08		19:37		19:37	
天竜西	6:27	6:26	6:27	6:26	8:02	8:00	8:01	7:58	16:26	16:22	16:27	16:22	18:08		18:08		19:38		19:38	
笹原島	6:28	6:27	6:28	6:27	8:03	8:02	8:02	8:02	16:27	16:23	16:28	16:23	18:09		18:09		19:39		19:39	
気子島	6:29	6:28	6:29	6:28	8:04	8:03	8:03	8:03	16:28	16:24	16:29	16:24	18:10		18:10		19:40		19:40	
下本郷東	6:29	6:30	6:29	6:30	8:04	8:03	8:03	8:03	16:28	16:24	16:29	16:24	18:11		18:11		19:40		19:40	
下本郷中	6:30	6:30	6:30	6:30	8:05	8:04	8:04	8:04	16:29	16:25	16:30	16:25	18:12		18:12		19:41		19:41	
豊田町駅	6:35	6:32	6:35	6:32	8:09	8:08	8:09	8:08	16:34	16:30	16:35	16:30	18:17		18:17		19:46		19:46	
下本郷西	6:36	6:33	6:36	6:33	8:10	8:09	8:10	8:09	16:35	16:31	16:36	16:31	18:18		18:18		19:47		19:47	
赤池	6:37	6:34	6:37	6:34	8:11	8:10	8:11	8:10	16:36	16:32	16:37	16:32	18:19		18:19		19:48		19:48	
竜洋中島	6:38	6:35	6:38	6:35	8:12	8:11	8:12	8:11	16:37	16:33	16:38	16:33	18:20		18:20		19:49		19:49	
宮本	6:38	6:35	6:38	6:35	8:12	8:11	8:12	8:11	16:37	16:33	16:38	16:33	18:20		18:20		19:49		19:49	
高木上	6:39	6:36	6:39	6:36	8:13	8:12	8:13	8:12	16:38	16:34	16:39	16:34	18:21		18:21		19:50		19:50	
高木	6:40	6:37	6:40	6:37	8:14	8:13	8:14	8:13	16:39	16:35	16:40	16:35	18:22		18:22		19:51		19:51	
とつか	6:42	6:39	6:42	6:39	8:15	8:14	8:15	8:14	16:41	16:37	16:41	16:37	18:24		18:24		19:52		19:52	
竜洋変電所北	6:43	6:40	6:43	6:40	8:16	8:15	8:16	8:15	16:42	16:38	16:42	16:38	18:25		18:25		19:53		19:53	
竜洋変電所	6:43	6:40	6:43	6:40	8:16	8:15	8:16	8:15	16:42	16:38	16:42	16:38	18:25		18:25		19:53		19:53	
なぎの木会館	6:45	6:42	6:45	6:42	8:18	8:17	8:18	8:17	16:43	16:39	16:44	16:39	18:26		18:26		19:55		19:55	
あおば団地	6:45	6:42	6:45	6:42	8:19	8:18	8:19	8:18	16:44	16:40	16:45	16:40	18:27		18:27		19:56		19:56	
竜洋支所	6:47	6:44	6:47	6:44	8:20	8:19	8:20	8:19	16:44	16:40	16:46	16:40	18:27		18:27		19:57	19:56	19:57	19:56
金洗東	6:48	6:45	6:48	6:45	8:21	8:20	8:21	8:20	16:46	16:42	16:47	16:42	18:29		18:29		19:58	19:58	19:58	19:58
金洗西	6:49	6:46	6:49	6:46	8:22	8:21	8:22	8:21	16:47	16:43	16:48	16:43	18:30		18:30		19:59	20:00	19:59	20:00
白羽	6:49	6:46	6:49	6:46	8:23	8:22	8:23	8:22	16:47	16:43	16:49	16:43	18:30		18:30		20:00	20:00	20:00	20:00
竜洋西小	6:50	6:47	6:50	6:47	8:23	8:22	8:23	8:22	16:48	16:44	16:49	16:44	18:31		18:31		20:00	20:01	20:00	20:01
掛塚	6:53	6:48	6:53	6:48	8:27	8:23	8:27	8:23	16:52	16:46	16:53	16:46	18:34	18:33	18:34	18:33	20:04	20:02	20:04	20:02
蟹町	6:56	6:50	6:56	6:50	8:31	8:26	8:31	8:26	16:57	16:49	16:57	16:49	18:41	18:36	18:38	18:36	20:08	20:04	20:08	20:04
所要時分	36	31	36	31	38	37	38	37	38	34	38	34	41	36	38	36	38	34	38	34

11分まで変更なし

11分まで変更なし

11分まで変更なし

11分まで変更なし



掛塚磐田駅線 時刻表改定案(とつか系統 磐田駅行き)

2022.12.27(案)

とつか系統 磐田駅行き	1便				2便				3便				4便				5便			
	平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日	
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
蟹町	7:06	7:00	7:06	7:00	8:52	8:49	8:52	8:49	15:58	16:00	15:58	16:00	17:15	17:22	17:15	17:22	19:11	19:15	19:11	19:15
掛塚	7:11	7:02	7:11	7:02	8:57	8:52	8:57	8:52	16:03		16:03		17:20	17:25	17:20	17:25	19:16	19:17	19:16	19:17
竜洋西小	7:11	7:02	7:11	7:02	8:57	8:52	8:57	8:52	16:03		16:03		17:20	17:25	17:20	17:25	19:16	19:17	19:16	19:17
白羽	7:12	7:03	7:12	7:03	8:58	8:53	8:58	8:53	16:04		16:04		17:21	17:26	17:21	17:26	19:17	19:18	19:17	19:18
金洗西	7:13	7:04	7:13	7:04	8:59	8:54	8:59	8:54	16:05		16:05		17:22	17:27	17:22	17:27	19:18	19:19	19:18	19:19
金洗東	7:14	7:05	7:14	7:05	9:00	8:55	9:00	8:55	16:06		16:06		17:22	17:27	17:23	17:27	19:19	19:18	19:19	19:18
竜洋支所	7:16	7:07	7:16	7:07	9:02	8:57	9:02	8:57	16:08		16:08		17:24	17:29	17:25	17:29	19:21	19:20	19:21	19:20
あおば団地	7:16	7:07	7:16	7:07	9:02	8:57	9:02	8:57	16:08		16:08		17:24	17:29	17:25	17:29	19:21	19:20	19:21	19:20
なぎの木会館	7:18	7:09	7:18	7:09	9:04	8:59	9:04	8:59	16:10		16:10		17:25	17:30	17:27	17:30	19:23	19:22	19:23	19:22
竜洋変電所	7:20	7:11	7:19	7:11	9:05	9:00	9:05	9:00	16:11		16:11		17:26	17:31	17:28	17:31	19:24	19:23	19:24	19:23
竜洋変電所北	7:20	7:11	7:19	7:11	9:05	9:00	9:05	9:00	16:11		16:11		17:26	17:31	17:28	17:31	19:24	19:23	19:24	19:23
とつか	7:21	7:13	7:20	7:13	9:06	9:01	9:06	9:01	16:12		16:12		17:27	17:32	17:29	17:32	19:25	19:24	19:25	19:24
高木	7:22	7:14	7:21	7:14	9:07	9:02	9:07	9:02	16:13		16:13		17:28	17:33	17:30	17:33	19:26	19:25	19:26	19:25
高木上	7:22	7:14	7:21	7:14	9:07	9:02	9:07	9:02	16:13	以下変更なし	16:13	以下変更なし	17:29	17:34	17:30	17:34	19:26	19:25	19:26	19:25
宮本	7:23	7:15	7:22	7:15	9:08	9:03	9:08	9:03	16:14		16:14		17:30	17:35	17:31	17:35	19:27	19:26	19:27	19:26
竜洋中島	7:23	7:15	7:22	7:15	9:08	9:03	9:08	9:03	16:14		16:14		17:31	17:36	17:31	17:36	19:27	19:26	19:27	19:26
赤池	7:26	7:17	7:25	7:17	9:11	9:05	9:11	9:05	16:17		16:17		17:35	17:40	17:34	17:40	19:30	19:29	19:30	19:29
下本郷西	7:27	7:17	7:26	7:17	9:12	9:05	9:12	9:05	16:18		16:18		17:36	17:41	17:35	17:41	19:31	19:30	19:31	19:30
豊田町駅	7:29	7:20	7:28	7:20	9:14	9:08	9:14	9:08	16:20		16:20		17:41	17:45	17:37	17:45	19:33	19:32	19:33	19:32
下本郷中	7:30	7:21	7:29	7:21	9:15	9:10	9:15	9:10	16:21		16:21		17:43	17:46	17:38	17:46	19:34	19:33	19:34	19:33
下本郷東	7:30	7:21	7:29	7:21	9:15	9:10	9:15	9:10	16:21		16:21		17:43	17:46	17:38	17:46	19:34	19:33	19:34	19:33
気子島	7:31	7:22	7:30	7:22	9:16	9:11	9:16	9:11	16:22		16:22		17:44	17:47	17:39	17:47	19:35	19:34	19:35	19:34
笹原島	7:32	7:24	7:33	7:24	9:19	9:14	9:19	9:14	16:25		16:25		17:45	17:49	17:42	17:49	19:38	19:39	19:38	19:39
天竜西	7:33	7:25	7:33	7:25	9:19	9:14	9:19	9:14	16:25		16:25		17:46	17:49	17:42	17:49	19:38	19:39	19:38	19:39
天竜	7:33	7:26	7:34	7:26	9:20	9:15	9:20	9:15	16:26		16:26		17:47	17:50	17:43	17:50	19:39	19:40	19:39	19:40
西新町西	7:36	7:30	7:35	7:27	9:21	9:16	9:21	9:16	16:27		16:27		17:49	17:52	17:44	17:52	19:40	19:41	19:40	19:41
磐田西高	7:38	7:32	7:37	7:29	9:23	9:18	9:23	9:18	16:29		16:29		17:51	17:54	17:46	17:54	19:42	19:43	19:42	19:43
上野公園	7:39	7:33	7:38	7:31	9:24	9:19	9:24	9:19	16:30		16:30		17:52	17:55	17:47	17:55	19:43	19:44	19:43	19:44
西願寺	7:40	7:34	7:39	7:32	9:25	9:20	9:25	9:20	16:31		16:31		17:53	17:56	17:48	17:56	19:44	19:45	19:44	19:45
磐田駅	7:47	7:45	7:44	7:36	9:30	9:25	9:30	9:25	16:36		16:36		17:57	17:58	17:53	18:00	19:49	19:50	19:49	19:50
所要時分	41	45	38	36	38	36	38	36	38	36	38	36	42	36	38	36	38	35	38	35

掛塚磐田駅線 時刻表改定案(千手堂・北高系統 掛塚行き)

2022.12.27 (案)

千手堂系統 掛塚行き	1便(中型)				2便(中型)				3便(中型)				4便(中型)				5便(中型)			
	平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日	
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
磐田駅	6:40		6:40		8:28	8:34	8:28	8:34	16:40		16:40		18:10		18:10		19:56		19:56	
柴町	6:42		6:42		8:31	8:37	8:31	8:37	16:43		16:43		18:14		18:14		19:58		19:58	
石原	6:42		6:42		8:31	8:37	8:31	8:37	16:43		16:43		18:14		18:14		19:58		19:58	
天竜	6:43		6:43		8:32	8:38	8:32	8:38	16:44		16:44		18:15		18:15		19:59		19:59	
天竜南	6:45		6:45		8:34	8:40	8:34	8:40	16:46		16:46		18:18		18:18		20:01		20:01	
豊島北	6:46		6:46		8:35	8:41	8:35	8:41	16:47		16:47		18:19		18:19		20:02		20:02	
豊島南	6:46		6:46		8:36	8:42	8:36	8:42	16:48		16:48		18:20		18:20		20:02		20:02	
千手堂	6:46		6:46		8:36	8:42	8:36	8:42	16:48		16:48		18:21		18:21		20:02		20:02	
万生寺入口	6:48		6:48		8:37	8:43	8:37	8:43	16:49		16:49		18:22		18:22		20:03		20:03	
神明	6:51		6:51		8:40	8:46	8:40	8:46	16:53		16:53		18:25		18:25		20:06		20:06	
小島中村	6:51		6:51		8:41	8:47	8:41	8:47	16:54	変更なし	16:54	変更なし	18:26	変更なし	18:26	変更なし	20:06	変更なし	20:06	変更なし
小島	6:52		6:52		8:42	8:48	8:42	8:48	16:55		16:55		18:27		18:27		20:08		20:08	
海老島	6:52		6:52		8:43	8:49	8:43	8:49	16:56		16:56		18:28		18:28		20:08		20:08	
中平松東	6:53		6:53		8:43	8:49	8:43	8:49	16:56		16:56		18:28		18:28		20:09		20:09	
JA袖浦支店	6:55		6:55		8:44	8:50	8:44	8:50	16:57		16:57		18:29		18:29		20:11		20:11	
西平松	6:56	11時まで変更なし↓	6:56	11時まで変更なし↓	8:45	8:51	8:45	8:51	16:57		16:57		18:30		18:30		20:12		20:12	
駒場	6:56		6:56		8:46	8:52	8:46	8:52	16:58		16:58		18:31		18:31		20:12		20:12	
金洗	6:58		6:58		8:46	8:52	8:46	8:52	17:00		17:00		18:34		18:34		20:14		20:14	
金洗西	6:59		6:59		8:47	8:53	8:47	8:53	17:01		17:01		18:35		18:35		20:15		20:15	
白羽	6:59		6:59		8:47	8:53	8:47	8:53	17:01		17:01		18:35		18:35		20:15		20:15	
竜洋西小	7:00		7:00		8:48	8:54	8:48	8:54	17:02		17:02		18:36		18:36		20:16		20:16	
掛塚	7:03	7:02	7:03	7:02	8:51	8:57	8:51	8:57	17:05		17:05		18:38		18:38		20:18		20:18	
蟹町	7:08	7:05	7:08	7:05	8:56	9:02	8:56	9:02	17:10		17:08		18:41		18:41		20:22		20:22	
所要時分	28	25	28	25	28	28	28	28	30		28		31		31		28		28	

掛塚磐田駅線 時刻表改定案(千手堂・北高系統 磐田駅行き)

2022.12.27 (案)

千手堂・北高系統 磐田駅行き	1便				2便(北高系統)				3便(小型)				4便(小型)				5便(小型)					
	平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日		平日		土曜日			
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新		
蟹町	6:07	6:07	6:07	6:07	7:12			7:12		15:44	15:44	15:44	15:44	17:17	17:17	17:17	17:17	18:57	18:59	18:57	18:59	
掛塚	6:12	6:09	6:12	6:09	7:17			7:17		15:49	15:46	15:49	15:46	17:22	17:20	17:22	17:19	19:02	19:02	19:02	19:02	
竜洋西小	6:12	6:09	6:12	6:09	7:17			7:17		15:49	15:46	15:49	15:46	17:22	17:20	17:22	17:19	19:02	19:02	19:02	19:02	
白羽	6:13	6:10	6:13	6:10	7:18			7:18		15:50	15:47	15:50	15:47	17:23	17:21	17:23	17:20	19:03	19:03	19:03	19:03	
金洗西	6:13	6:10	6:13	6:10	7:18			7:18		15:50	15:47	15:50	15:47	17:23	17:21	17:23	17:20	19:03	19:03	19:03	19:03	
金洗	6:15	6:12	6:15	6:12	7:20			7:19		15:51	15:48	15:51	15:48	17:25	17:23	17:25	17:22	19:04	19:04	19:04	19:04	
駒場	6:15	6:12	6:15	6:12	7:20			7:19		15:51	15:48	15:51	15:48	17:26	17:24	17:26	17:23	19:04	19:04	19:04	19:04	
西平松	6:16	6:13	6:16	6:13	7:21			7:20		15:52	15:49	15:52	15:49	17:27	17:25	17:27	17:24	19:05	19:05	19:05	19:05	
JA袖浦支店	6:18	6:15	6:18	6:15	7:22			7:21		15:53	15:50	15:53	15:50	17:29	17:27	17:29	17:26	19:06	19:06	19:06	19:06	
中平松東	6:18	6:15	6:18	6:15	7:23			7:22		15:54	15:51	15:54	15:51	17:29	17:27	17:29	17:26	19:07	19:07	19:07	19:07	
海老島	6:19	6:16	6:19	6:16	7:25			7:23		15:54	15:51	15:54	15:51	17:30	17:28	17:30	17:27	19:07	19:07	19:07	19:07	
小島	6:20	6:17	6:20	6:17	7:26			7:24		15:56	15:53	15:56	15:53	17:30	17:28	17:30	17:27	19:09	19:09	19:09	19:09	
小島中村	6:21	6:18	6:21	6:18	7:28			7:24		15:57	15:54	15:57	15:54	17:32	17:30	17:32	17:29	19:10	19:10	19:10	19:10	
神明	6:22	6:19	6:22	6:19	7:29			7:25		15:58	15:55	15:58	15:55	17:33	17:31	17:33	17:30	19:11	19:11	19:11	19:11	
万生寺入口	6:24	6:21	6:24	6:21	7:32			7:28		16:00	15:57	16:00	15:57	17:36	17:34	17:36	17:33	19:14	19:14	19:14	19:14	
千手堂	6:25	6:22	6:25	6:22	7:33			7:29		16:01	15:58	16:01	15:58	17:37	17:35	17:37	17:34	19:15	19:15	19:15	19:15	
豊島南	6:26	6:23	6:26	6:23	7:34			7:30		16:02	15:59	16:02	15:59	17:38	17:36	17:38	17:35	19:16	19:16	19:16	19:16	
豊島北	6:26	6:23	6:26	6:23	7:35			7:30		16:02	15:59	16:02	15:59	17:39	17:37	17:39	17:36	19:17	19:17	19:17	19:17	
天竜南	6:28	6:25	6:28	6:25	7:36			7:31		16:04	16:01	16:04	16:01	17:41	17:39	17:41	17:38	19:18	19:18	19:18	19:18	
天竜	6:30	6:27	6:30	6:27	7:38			7:33		16:05	16:02	16:05	16:02	17:43	17:41	17:43	17:40	19:20	19:20	19:20	19:20	
石原	6:31	6:28	6:31	6:28	7:40			7:34		16:06	16:03	16:06	16:03	17:44	17:42	17:44	17:41	19:21	19:21	19:21	19:21	
柴町	6:31	6:28	6:31	6:28	7:40			7:34		16:06	16:03	16:06	16:03	17:44	17:42	17:44	17:41	19:21	19:21	19:21	19:21	
磐田駅	6:33	6:30	6:33	6:30	7:49			7:49		16:12	16:09	16:12	16:09	17:55	17:53	17:50	17:47	19:25	19:25	19:25	19:25	
東町					7:50			7:50														
中町					7:50			7:50														
磐田市役所					7:51			7:51														
磐田南高					7:51			7:51														
加茂川					7:52			7:52														
西坂町					7:54			7:54														
中遠総合庁舎					7:55			7:55														
図書館前					7:56			7:56														
磐田北高					7:59	8:05		7:59														
所要時分	26	23	26	23	47	53	47	47	28	25	28	25	38	36	33	30	28	26	28	26		

変更なし

このままで変更なし

## 磐田市タクシー助成券（台風15号被災用）について

磐田市タクシー助成券（台風15号被災用）についての申請状況等を下記のとおり報告します。

## 記

## 1 事業の目的

令和4年台風15号により、自家用車等が被災した世帯の移動の負担軽減を図るため、申請があった世帯にタクシー助成券を交付します。

## 2 事業の内容

- (1) 対象者 自家用車等が被災し日常生活の移動に困窮している世帯  
※自家用車等とは、原動機付自転車、自動二輪車、軽自動車、普通自動車等のことです。
- (2) 交付額 1世帯あたり10,000円分（200円分タクシー助成券×50枚）
- (3) 申請方法 地域づくり応援課または各支所に備え付けてある申請書を提出する。  
・代理申請の場合は委任状が必要です。  
・委任状も窓口にあります。  
・申請後審査の上、タクシー助成券をお渡しします。
- (4) 条件等 台風15号の被災により自家用車等の被災証明書の申請をしてあること。
- (5) その他 被災証明書の申請は今からでも可能です。担当部局は市税課になります。

## 3 タクシー助成券に関する事項

- (1) 利用期間 令和4年10月25日（火）から令和5年3月31日（金）
- (2) 利用できるタクシー業者  
①遠鉄タクシー(株) ②磐田タクシー(株) ③(株)WEST ④デマンド型乗合タクシー
- (3) 注意事項 ① 他の割引との併用ができます。  
② 運賃を上回る回数券の利用はできません。  
③ 助成券を利用した際に、おつりはできません。  
④ 他人への譲渡等を禁止します。

## 4 利用状況 ※令和4年11月30日時点

- (1) 申請者数 49世帯  
【内訳】10月 7世帯 11月 42世帯
- (2) 助成券利用数 229枚  
【内訳】10月 38枚 11月 191枚
- (3) 助成金額 45,800円  
【内訳】10月 7,600円 11月 38,200円

報道関係各位

## 路線バス（乗合バス）事業の運賃改定申請について

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中区 社長：丸山晃司）は、本日11月11日付にて国土交通省宛に路線バス（乗合バス）事業の運賃上限変更認可申請を提出いたしました。

申請理由および申請概要は下記の通りです。

### 記

#### 1. 運賃改定申請の内容

##### (1) 申請理由

当社の乗合バス事業は、2015年10月に路線バスの運賃改定を実施（消費税率引き上げによるものを除く）し、車両の更新や視認性に優れた運賃表示器を導入する等、輸送の安全と利便性の向上に努めてまいりましたが、この間も輸送人員の減少の流れは止まらず、厳しい事業環境が続いておりました。

この間、当社では事業継続のために旅客動向に応じたダイヤ改正、不採算路線の縮小・廃止を行うとともに、拠点の統廃合や業務改善等で間接部門人員を節減し、経費の抑制に努めてまいりました。

しかしながら、昨今では新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式が定着し、利用人員は急速に減少したまま下げ止まっており、2019年度の輸送人員22,345千人が2021年度は16,700千人と、2019年度比74.7%まで減少しています。事業として大幅な赤字を計上しており、車両の更新等、輸送の安全を確保するための投資を行うことすら難しい状況に陥っております。加えて今後さらに進行する人口減少により一層不透明な状況に置かれております。

このように厳しい経営状況は今後も続くと予想される中、バス輸送の安全確保のための車両更新、深刻な運転士不足を解消するための要員確保に伴う人件費の増加、上昇する原油価格など、増大する運行経費への対応が必要です。

将来にわたり安全で利便性の高い公共交通サービスを維持していくためには、更なる経営努力に加えて、運賃の改定による収支改善が必要不可欠であると判断し、今回の申請に至りました。

(2) 運賃の認可制度について

路線バス事業の旅客運賃は各事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限認可制」となります。各事業者は認可された上限運賃の範囲内で届出により「実施運賃」（お客様から実際に収受する運賃）を設定することができます。申請した直後の現時点では認可前である為、実施運賃につきましては国土交通省の認可が下りた時点で改めてお知らせいたします。

(3) 申請概要

- ① 申請日 2022年11月11日
- ② 運賃改定実施予定日 2023年4月17日
- ③ 現行・上限運賃比較表

【上限運賃（※1）】

	現行 (消費税 10%)	今回申請	
		上限運賃	実施運賃
キロ当たり賃率	42.0 円	48.0 円	-
初乗運賃	130 円	150 円	150 円

◎上限運賃平均改定率 14.3%

【実施運賃案（※2）】

キロ程	現行	改定	差
0.1～1.4	120 円	150 円	30 円
1.5～1.6	130 円	150 円	20 円
1.7	140 円	160 円	20 円
1.8	150 円	170 円	20 円
1.9～4.3	160～250 円	180～270 円	20 円
4.4～8.3	260～400 円	290～430 円	30 円
8.4～19.0	410～700 円	450～740 円	40 円
19.1～	700 円 (上限)	750 円	50 円

◎実施運賃平均値上率 9.7%（当社試算）

- ※1 上限運賃：バス事業者の経営に必要な総括原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額。
- ※2 実施運賃：運賃の上限認可が得られた上で、上限の範囲内で実施する運賃額。実際にお客様から収受する運賃額。表中の実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。

【主要区間における実施運賃額の現行・改定運賃比較表】

停 名	大人片道 ( 浜松駅より )			1ヶ月定期券 ( 学校は通学全日※ )		
	現行	改定	アップ率	現行	改定	アップ率
市役所前	120 円	150 円	25.0%	5,110 円	6,210 円	21.5%
西遠学園	170 円	190 円	11.8%	6,120 円	6,840 円	11.8%
浜松北高	180 円	200 円	11.1%	6,480 円	7,200 円	11.1%
浜松商業高校	210 円	230 円	9.5%	7,560 円	8,280 円	9.5%
聖隷住吉	240 円	260 円	8.3%	9,940 円	10,760 円	8.2%
医療センター	260 円	290 円	11.5%	10,760 円	12,010 円	11.6%
イオン市野	320 円	350 円	9.4%	13,250 円	14,490 円	9.4%
イオン志都呂	400 円	430 円	7.5%	16,560 円	17,800 円	7.5%
浜工高前	420 円	460 円	9.5%	15,120 円	16,560 円	9.5%
医科大学	470 円	510 円	8.5%	19,460 円	21,110 円	8.5%
聖隷三方原	540 円	580 円	7.4%	22,360 円	24,010 円	7.4%
三ヶ日	700 円	750 円	7.1%	ワイドフリー金額と同じ		
ワイドフリー				26,760 円	28,340 円	5.9%
シルバーワイド				6,100 円	6,500 円	6.6%

※平日定期券はこの 5/7 の金額

【シルバーワイドフリー定期券】

高齢者の健康寿命が延伸し、70 歳現役社会への転換期であることから、購入可能年齢を 65 歳から 70 歳に変更いたします。なお、免許返納者につきましては現行通り 60 歳以上から購入可能といたします。

【企画乗車券】運賃据置といたします。

2. 収支状況及び輸送人員（認可申請書の内容）

		収支状況	輸送人員
実績年度（2019 年度）		△342 百万円	22 百万人
平年度（2023 年度・推計）	改定前	△841 百万円	20 百万人
	改定後	△360 百万円	20 百万人

※貸切バス・高速バス等は含まないため、決算値等の公表数値とは異なります。

※実績年度は新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年度とし、平年度は 2019 年度実績に基づき、感染症の影響等を除いた 2023 年度の推計値としています。

<参考> 自動車事業の決算数値

(百万円)

	2019年度	前年比	2020年度	前年比	2021年度	前年比	2019年度比
営業収益	9,073	95.1%	4,578	50.4%	5,013	109.4%	55.2%
営業利益	△2	—	△1,660	—	△798	—	—

※乗合バス事業・貸切バス事業、自動車整備業・関連サービス業の合算値となります。

3. これまでの経営改善および今後の取組み

当社では、これまでに経営改善として、ダイヤ改正、不採算路線の縮小・廃止を行うとともに、業務改善等で間接部門人員を節減し、経費の抑制に努めてまいりました。また、旅客サービスにおいては、新規・継続定期券のネット予約サービスの導入やMaaSアプリを導入する等、定期券・企画券のキャッシュレス決済サービスを拡充し、お客様の利便性向上に努めてまいりました。

コロナ禍においては、利用動向を踏まえた運行計画の見直しや、営業所の統廃合、ICT技術の活用により乗務員の点呼業務や勤怠管理の仕組みを再構築するなどの業務見直しを行い、輸送サービスの維持に取り組んでおります。

今後も、利便性向上や効率化に向けた運行計画の見直しや、さらなる業務改善に取り組むことで経営改善を図り、持続可能な経営を推進してまいります。

4. 今後のサービス向上の取組み

今後も輸送サービスを持続的に提供するため、バス車両の更新を継続的に行い、安全対策の強化に取り組んでまいります。また、2023年にはNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映、2024年には浜松市で「浜名湖花博20周年」の記念イベントが開催され、域外から多くの方が浜松市を訪れることが想定されます。域外の方はもとより域内の方にもご利用頂ける企画券「浜松&浜名湖まるっとパス」を、地域の他の交通事業者と協力して2022年10月5日より販売開始しております。またその他企画券の創設や、旅客案内サービスの拡充に努めて参ります。

5. お問い合わせ先

(1) 本件に関する報道関係の皆様

遠州鉄道株式会社 運輸事業部 TEL053-454-2215 (平日 9:00~18:00)

運輸事業部次長 萩原 高志

運輸総務課副課長 市原 孝浩

(2) お客様のお問い合わせ

遠州鉄道株式会社 運輸事業部 TEL053-454-2215 (平日 9:00~18:00)

(3) 遠鉄バスホームページ

<https://bus.entetsu.co.jp>



# 令和4年度 地域間幹線系統に関する事業評価

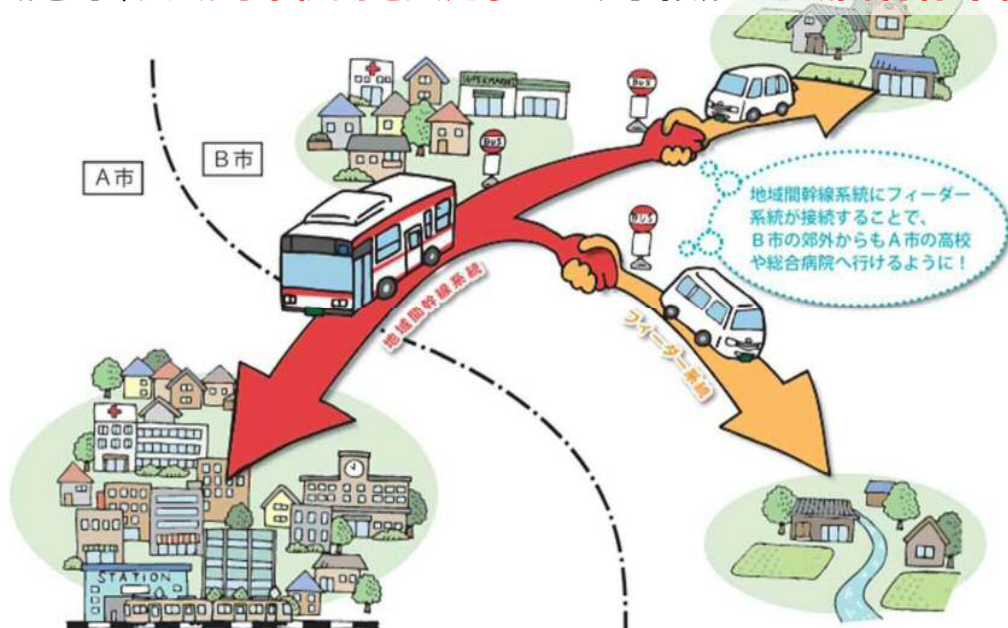
## 静岡県交通基盤部都市局地域交通課

富国有徳の理想郷 - しずおか  
ふじのくに



### 地域間幹線系統とは

日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、  
結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)  
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



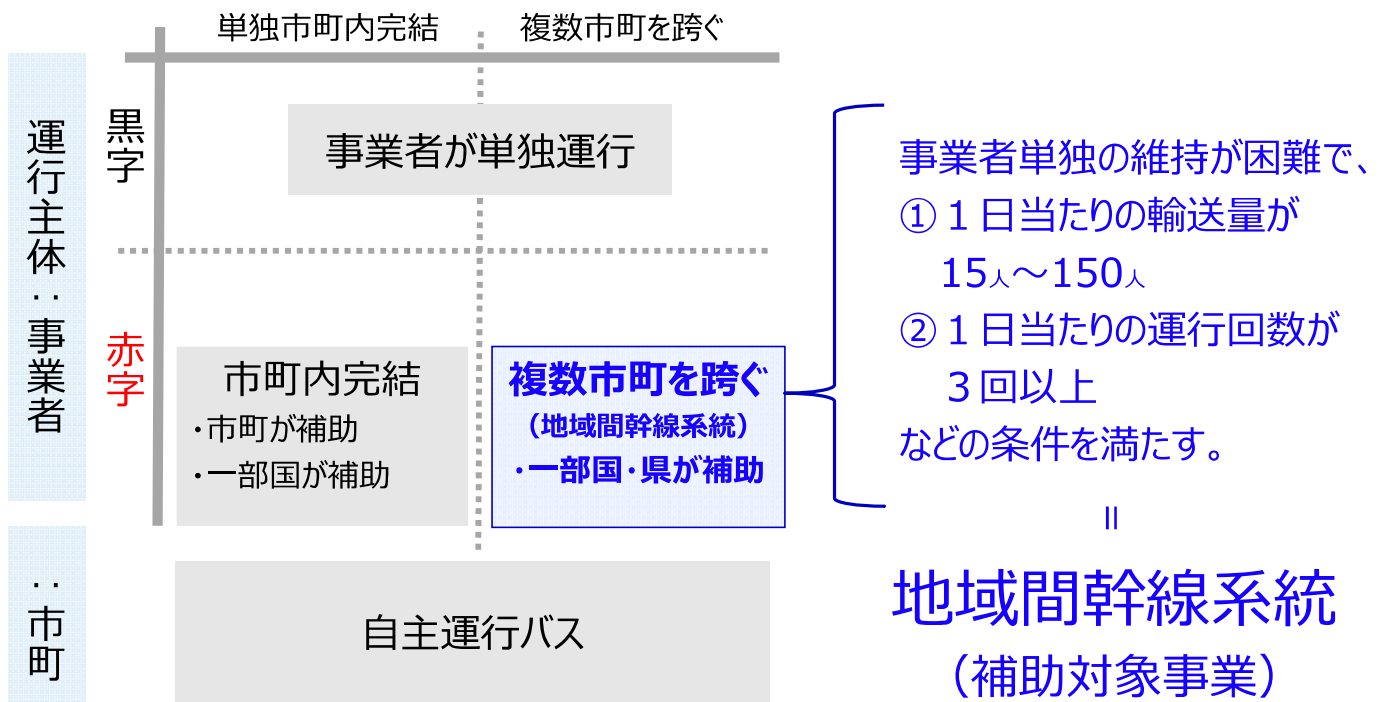
出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

富国有徳の理想郷 - しずおか  
ふじのくに



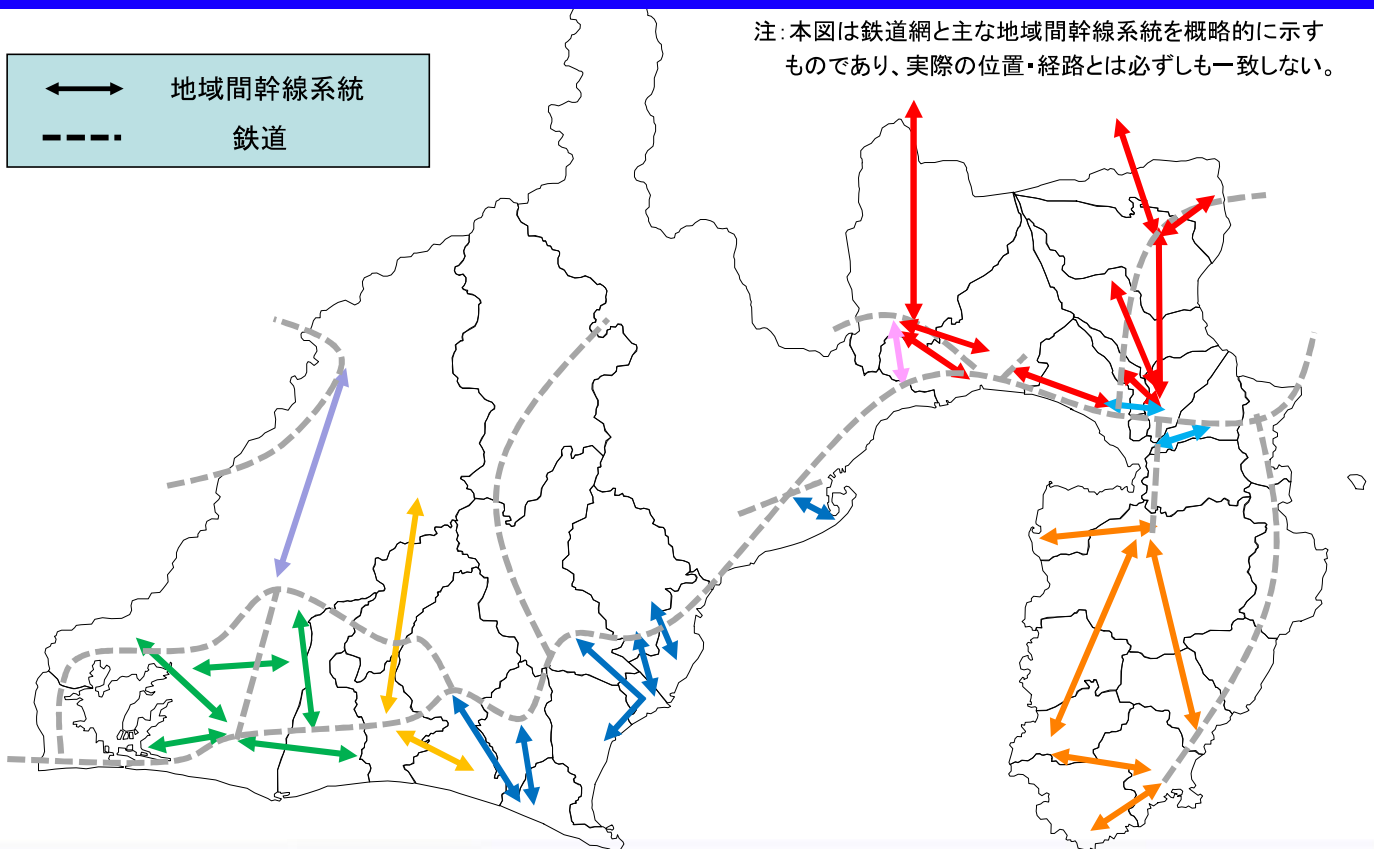
# 地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

## 収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



富国有徳の理想郷 - しずおか  
ふじのくに

## 県内の地域間幹線系統(概略図)



富国有徳の美しい“ふじのくに”  
静岡県

# 地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考) 事業評価実施の根拠

## 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

### 第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては静岡県生活交通確保対策協議会を指す。

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

4

## 静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
	合計	A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

5

# 令和4年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	系統数
山梨交通	0	1	0	1
秋葉バスサービス	4	0	0	4
遠州鉄道	8	12	2	22
しずてつジャストライン	3	8	0	11
富士急モビリティ	3	1	0	4
富士急バス	1	1	0	2
富士急静岡バス	4	0	0	4
富士急シティバス	3	4	0	7
伊豆箱根バス	2	1	0	3
東海バス	2	4	0	6
水窪タクシー	0	1	0	1
合計	30	33	2	65

富国有徳の理想郷 - しずおか  
ふじのくに

6

## 評価結果内訳(昨年度との比較)

昨年度に比べ、14系統の評価が向上 (平均点は5.2点増加)

事業者名	系統名	R3	R4	比較	事業者名	系統名	R3	R4	比較	事業者名	系統名	R3	R4	比較
1 山梨交通	富士急駅(イオン) 風山台-藤原病院	B	B	-	23	奥山線	B	A	○	45	富士急 曾比奈線	A	A	-
2 秋葉バスサービス	秋葉線	B	A	○	24	志都呂宇布見線	B	B	-	46	大湖線	A	A	-
3 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	-	25	志都呂宇布見線	B	B	-	47	大月線	A	A	-
4 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	B	A	○	26	浜名線	B	B	-	48	大月線	A	A	-
5 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	-	27	掛塚さなる台線	B	A	○	49	駿河平線	A	A	-
6 遠州鉄道	大久保線	C	C	-	28	三保草薙線	B	B	-	50	須山線	A	A	-
7 遠州鉄道	伊佐見線	C	B	○	29	五十海大住線	B	B	-	51	須山線	A	B	△
8 遠州鉄道	浜北医大三方原聖隷線	B	B	-	30	焼津岡部線	B	B	-	52	原線	B	B	-
9 遠州鉄道	伊平線	A	A	-	31	藤枝吉永線	A	A	-	53	桜堤線	A	B	△
10 遠州鉄道	磐田市立病院福田線	B	B	-	32	島田静波線	B	B	-	54	がんセンター線	-	B	/
11 遠州鉄道	中ノ町磐田線	B	B	-	33	島田静波線	B	A	○	55	がんセンター線	-	A	/
12 遠州鉄道	秋葉線	B	C	△	34	藤枝相良線	B	B	-	56	大場函南線	B	B	-
13 遠州鉄道	磐田天竜線	B	B	-	35	菊川浜岡線	B	B	-	57	沼津大岡三島線	-	A	/
14 遠州鉄道	磐田天竜線	B	B	-	36	掛川大東浜岡線	B	B	-	58	長岡伊立三津シーバスタグイス線	-	A	/
15 遠州鉄道	掛塚さなる台線	B	A	○	37	掛川大東浜岡線	B	A	○	59	石廊崎線	B	B	-
16 遠州鉄道	内野台線	B	A	○	38	掛川大東浜岡線	B	B	-	60	天城峠線	B	B	-
17 遠州鉄道	内野台線	B	B	-	39	御殿場線	B	A	○	61	戸田線	B	B	-
18 遠州鉄道	磐田市立病院福田線	B	B	-	40	駿河小山線	B	A	○	62	西海岸線	-	B	/
19 遠州鉄道	引佐線	A	A	-	41	十里木線	B	B	-	63	パサラ峠線	-	A	/
20 遠州鉄道	萩丘都田線	B	A	○	42	河口湖線	B	A	○	64	パサラ峠線	-	A	/
21 遠州鉄道	大塚ひとみヶ丘線	B	B	-	43	河口湖線	B	A	○	65	水窪タクシー 北遠本線	B	B	-
22 遠州鉄道	気賀三ヶ日線	A	A	-	44	新富士線	B	B	-					

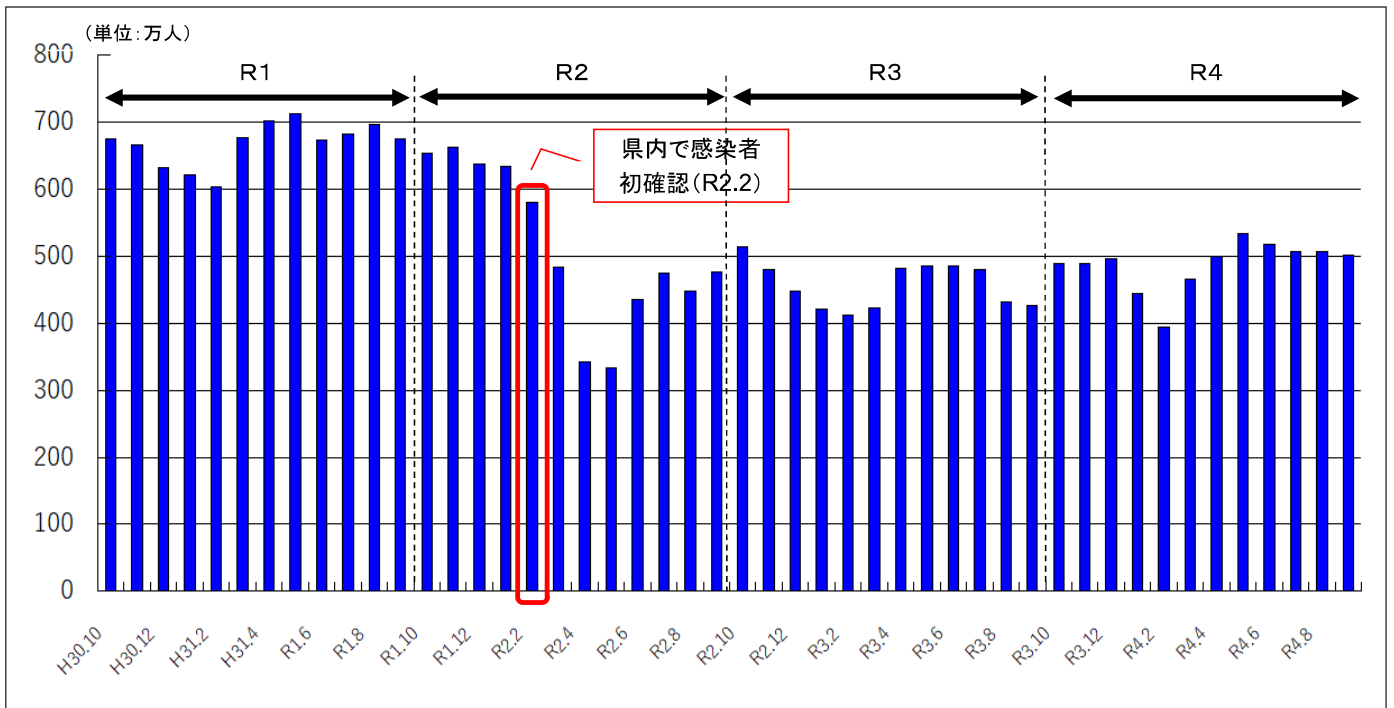
※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

富国有徳の理想郷 - しずおか  
ふじのくに

7

# 新型コロナウイルスの影響

## 県内の乗合バス利用者数の推移（H30.10～R4.9）



(静岡県地域交通課調査)

# 燃料価格など物価高騰の影響

## 県内の軽油小売価格の推移（R1.10～R4.9）



(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

## 事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両搭載燃料抑制による燃料使用量削減</li> <li>・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費抑制</li> </ul>
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステムの導入</li> <li>・キャッシュレス決済機器の導入</li> <li>・市町と連携したバスの乗り方教室の実施</li> </ul>
コロナ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車内の消毒、走行中の換気</li> <li>・車内抗菌処理</li> <li>・感染防止対策品の配布</li> </ul>

## 県内自治体による支援の例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用券の配布</li> <li>・バスロケーションシステム導入費用の補助</li> <li>・キャッシュレス決済機器導入費用の補助</li> </ul>
コロナ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止の衛生対策（車内消毒等）</li> <li>・感染防止対策品の配布</li> <li>・車内の密を防ぐ運行に対する費用の補助</li> </ul>
物価高騰対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両維持費への補助</li> <li>・燃料費高騰分の補助</li> </ul>

## 令和4年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

### 1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県生活交通確保対策協議会が定めた静岡県地域間幹線系統確保維持計画に位置づけられた補助対象系統について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

### 2 評価項目

	項目	内容
前提事項 (点数無)	主な運行目的	利用実態等を含めた当該系統の運行目的
	増収策	路線維持のための増収策
	費用削減策	路線維持のための費用削減策
評価事項	運行回数	計画運行回数に対する実績運行回数を評価(3点満点)
	収支率	実績値を評価(収支率55%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
	ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能な拠点数を評価(上限20点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(20%以上満点)
	キロ当たり経費	国上限単価と事業者単価を比較(国単価比-20%超満点)
	拠点等アクセス状況	バス停から半径500m以内の拠点施設を記載(評価点無)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (52~79点)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (26~51点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (0~25点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する

### 3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R2：B、R3：B）

- ・ 評価対象系統全65系統中、A評価：30系統、B評価：33系統、C評価：2系統
- ・ 平均点数が49.0点（R3比+5.2点）であることから、全体評価を『B』とした。
- ・ 各系統の評価結果は別添「令和4年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和4年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	評価項目① 運行回数 満点3点	評価項目② 収支率 満点18点	評価項目③ 乗車人員 満点6点	評価項目④ ネットワーク 満点20点	評価項目⑤ 広域トリップ 満点20点	評価項目⑥ キロ当たり経費 満点12点	点数 (A:52~79) (B:26~51) (C: ~25)	評価				事業者 平均	全体評価			
									A	B	C	計					
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	3	3	6	6	20	6	44		○		1	44.0	B  [全体評価の理由] ・全65系統中33系統がB評価である。 ・平均評価点数が49.0点である。			
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	3	0	6	11	20	12	52	○			4	54.0				
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	3	12	3	11	15	12	56	○								
	4 秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	3	12	3	6	20	12	56	○								
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	3	12	0	5	20	12	52	○								
6 大久保線	0	6	0	12	0	3	21			○							
遠州鉄道	7 伊佐見線	3	9	0	14	0	3	29		○		22	45.4				
	8 浜北医大三方原線	3	6	0	17	20	3	49		○							
	9 伊平線	0	18	0	20	20	3	61	○								
	10 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～豊浜郵便局)	3	12	0	7	20	3	45		○							
	11 中ノ町磐田線	0	18	6	9	10	3	46		○							
	12 秋葉線	0	0	0	7	15	3	25			○						
	13 磐田天竜線(山東～磐田駅)	0	15	0	8	20	3	46		○							
	14 磐田天竜線(ららぽーと経由)	0	12	0	8	20	3	43			○						
	15 掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	0	18	6	9	20	3	56	○								
	16 内野台線(内野台車庫)	0	18	6	10	20	3	57	○								
	17 内野台線(サンストリート浜北)	3	15	0	10	20	3	51		○							
	18 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	0	6	0	5	20	3	34		○							
	19 引佐線	0	18	0	20	20	3	61	○								
	20 萩丘都田線	3	18	3	10	15	3	52	○								
	21 大塚ひとみヶ丘線	0	18	0	13	0	3	34		○							
	22 気賀三ヶ日線	0	18	3	15	20	3	59	○								
	23 奥山線	3	18	0	14	20	3	58	○								
	24 志都呂宇布見線(浜松駅～山崎)	0	18	3	7	15	3	46		○							
	25 志都呂宇布見線(浜松駅～舞阪駅)	0	18	3	8	5	3	37		○							
	26 浜名線	0	18	3	8	0	3	32		○							
	27 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚)	3	18	6	8	20	3	58	○								
	しずてつジャストライン	28 三保草薙線	3	12	6	5	5	3	34		○					11	47.4
		29 五十海大住線	3	12	3	7	20	3	48		○						
		30 焼津岡部線	0	9	0	5	20	3	37		○						
		31 藤枝吉永線	3	18	6	8	20	3	58	○							
		32 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	3	9	0	9	20	3	44		○						
		33 島田静波線(島田市民病院～静波海岸入口)	3	12	6	13	20	3	57	○							
34 藤枝相良線		3	6	6	12	20	3	50		○							
35 菊川浜岡線		3	12	0	4	20	3	42		○							
36 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)		3	6	6	7	20	3	45		○							
37 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)		3	18	6	9	20	3	59	○								
38 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)		3	12	6	4	20	3	48		○							
富士急モビリティ	39 御殿場線	3	9	6	15	20	0	53	○			4	52.0				
	40 駿河小山線	3	15	3	11	20	0	52	○								
	41 十里木線	3	6	6	7	20	0	42		○							
	42 河口湖線	3	18	3	17	20	0	61	○								
富士急バス	43 河口湖線	3	15	0	17	20	0	55	○			2	52.0				
	44 新富士線	3	3	6	17	20	0	49		○							
富士急静岡バス	45 曽比奈線	3	18	6	8	20	6	61	○			4	63.0				
	46 大淵線	3	18	6	10	20	6	63	○								
	47 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	3	18	6	10	20	6	63	○								
富士急シティバス	48 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	3	18	6	12	20	6	65	○			7	48.5				
	49 駿河平線	0	18	6	11	20	0	55	○								
	50 須山線(三島駅～須山)	3	12	6	12	20	0	53	○								
	51 須山線(三島駅～下和田)	3	6	0	11	20	0	40		○							
	52 原線	0	18	6	10	5	0	39		○							
	53 桜堤線	0	18	6	7	20	0	51		○							
	54 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	3	18	0	6	20	0	47		○							
	55 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	3	18	6	8	20	0	55	○								
伊豆箱根バス	56 大場函南線	3	3	0	7	20	6	39		○		3	54.3				
	57 沼津大岡三島線	3	18	6	11	20	6	64	○								
	58 長岡伊豆三津シーパラダイス線	3	18	6	7	20	6	60	○								
東海バス	59 石廊崎線	3	3	0	7	20	3	36		○		6	49.5				
	60 天城峠線	3	6	0	15	20	3	47		○							
	61 戸田線	3	15	0	7	20	3	48		○							
	62 西海岸線	3	9	0	11	20	3	46		○							
	63 ハサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	3	12	6	13	20	3	57	○								
	64 ハサラ峠線(下田駅～宇久須)	3	18	6	13	20	3	63	○								
水窪タクシー	65 北遠本線	0	0	6	13	5	12	36		○	1	36.0					
計							平均	49.0	30	33	2	65					



事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～經由地～終点)

磐田市立病院福田線 (磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(3589)回 (9.8回/日)	(3588.5)回 (9.8回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	54.3%	47.5%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	141,278人	124,150人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(5)箇所	7	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	35.90%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	磐田南高 磐田北小 磐田市役所 磐田市福田支所 新都市病院 磐田市立病院 JR磐田駅	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				45	評価指標	B

A (52～79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26～51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C (～25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から磐田駅を經由し、磐田市立病院へと至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び通院の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 ③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。 また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 磐田駅</p> <p>【バス停】 西坂町・加茂川・新道・前嶋・福田車庫</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>磐田南高・磐田北小・磐田市役所・磐田市福田支所・新都市病院・磐田市立病院・JR磐田駅</p>

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～經由地～終点)

中ノ町磐田線 (浜松駅～中ノ町～磐田営業所)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(5443)回 (14.9回/日)	(5442.5)回 (14.9回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	63.6%	70.2%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	267,419人	295,272人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(5)箇所	9	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	12%	10	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	西遠学園 磐田西高 磐田南高 中ノ町小学校 磐田西小 磐田市役所 JR浜松駅 JR磐田駅	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				46	評価指標	B

A (52～79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26～51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C (～25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	浜松駅から旧豊田町、磐田駅を経由し、磐田市東部に至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学的手段としての他、JR駅への接続の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 ③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。 また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 浜松駅バスターミナル・磐田駅</p> <p>【バス停】 広小路・子安・磐田石原・加茂川・磐田営業所</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>西遠学園・磐田西高・磐田南高・中ノ町小学校・磐田西小・磐田市役所・JR浜松駅・JR磐田駅</p>

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～經由地～終点)

磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2412.5)回 (6.6回/日)	(2410.5)回 (6.6回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	58.1%	51.2%	15	~29% 0点 30~34% 3点 35~39% 6点 40~44% 9点 45~49% 12点 50~54% 15点 55%~ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	84,871人	74,792人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	78.00%	20	~4% 0点 5~9% 5点 10~14% 10点 15~19% 15点 20%~ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	天竜高校 磐田農業高校 磐田南高 磐田西小 磐田市役所 中遠総合庁舎 磐田市立中央図書館 天竜区役所 JR磐田駅 遠鉄西鹿島駅 天浜豊岡駅 天浜二俣駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価~▲5% 3点 単価▲6~▲10% 6点 単価▲11~▲15% 9点 単価▲16~▲20%超 12点	
合計				46	評価指標	B

A (52~79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
 B (26~51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている  
 C (~25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部と磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 ③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。 また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 二俣駅・磐田駅</p> <p>【バス停】 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館 天竜区役所・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅</p>

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

磐田天竜線 (山東～ららぽーと磐田～磐田駅)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(6061.0)回 (16.6回/日)	(6054.5)回 (16.5回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	51.0%	47.3%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	249,872人	231,744人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	34.70%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	天竜高校 磐田南高 磐田農業高校 磐田西小 磐田市役所 中遠総合庁舎 磐田市立中央図書館 天竜区役所 ららぽーと磐田 JR磐田駅 遠鉄西鹿島駅 天浜豊岡駅 天浜二俣駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				43	評価指標	B

A (52～79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26～51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C (～25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	旧天竜市中心部から大型商業施設を經由し磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 ③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。 また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 二俣駅・磐田駅</p> <p>【バス停】 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所 ららぽーと磐田・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅</p>



事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～經由地～終点)

掛塚さなる台線 (浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(1976)回 (5.4回/日)	(1973.5)回 (5.4回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	49.2%	55.9%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	62,881人	71,161人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(7)箇所	9	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	34.40%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	浜松修学舎 竜洋西小学校 磐田市福田支所 JR浜松駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				56	評価指標	A

A (52～79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26～51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C (～25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	旧福田町から旧竜洋町を經由し、浜松駅へと至る路線。沿線には1つの高校が存在。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。</p> <p>②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。</p> <p>③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。</p> <p>④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。</p> <p>⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配達でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。</p> <p>⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。</p> <p>②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。</p> <p>③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。</p> <p>④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。</p> <p>⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配達でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。</p> <p>⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。</p> <p>②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。</p> <p>③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。</p> <p>②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。</p> <p>(R2年10月)</p> <p>雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。</p> <p>天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。</p> <p>(R3年2月)</p> <p>ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。</p> <p>(R3年4月)</p> <p>浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。</p> <p>R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込)</p> <p>(R3年5月)</p> <p>浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。</p> <p>また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】</p> <p>浜松駅バスターミナル</p> <p>【バス停】</p> <p>東部協働センター・名塚西・芳川西・芳川・新道・前嶋・福田車庫</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>浜松修学舎・竜洋西小学校・磐田市福田支所・JR浜松駅</p>

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～經由地～終点)

磐田市立病院福田線 (磐田駅南口～豊浜郵便局)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2583.5) 回 (7.0回/日)	(2581) 回 (7.0回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	47.7%	38.7%	6	~29% 0点 30~34% 3点 35~39% 6点 40~44% 9点 45~49% 12点 50~54% 15点 55%~ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	44,382人	36,046人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1) 箇所 バス停(3) 箇所	5	拠点(駅・BT): 1箇所 2点 乗換可能なバス停: 1箇所 1点 上限 20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	61.80%	20	~4% 0点 5~9% 5点 10~14% 10点 15~19% 15点 20%~ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	静岡産業大学 新都市病院 磐田市福田支所 JR磐田駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価~▲5% 3点 単価▲6~▲10% 6点 単価▲11~▲15% 9点 単価▲16~▲20%超 12点	
合計				34	評価指標	B

A (52~79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26~51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C ( ~25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	J R磐田駅と旧福田町を結ぶ路線。J Rから比較的離れた地域から最寄りのJ R駅への接続をしており、代替の交通機関もないため、地域住民にとって必須の路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。</p> <p>②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。</p> <p>③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。</p> <p>④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。</p> <p>⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配達でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。</p> <p>⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。</p> <p>②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。</p> <p>③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。</p> <p>④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。</p> <p>⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配達でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。</p> <p>⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。</p> <p>②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。</p> <p>③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。</p> <p>②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。</p> <p>(R2年10月)</p> <p>雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。</p> <p>天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。</p> <p>(R3年2月)</p> <p>ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。</p> <p>(R3年4月)</p> <p>浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。</p> <p>R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込)</p> <p>(R3年5月)</p> <p>浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。</p> <p>また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 磐田駅南口</p> <p>【バス停】 新道・前嶋・福田車庫</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>静岡産業大学・新都市病院・磐田市福田支所・JR磐田駅</p>

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

掛塚さなる台線 (浜松駅～芳川～掛塚)

計画策定年度

令和3年度

運行期間

R3.10.1～R4.9.30

評価年度

令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(8454)回 (23.1回/日)	(8455)回 (23.1回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	70.2%	81.7%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	171,786人	200,054人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	21.80%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	JR浜松駅 アクトシティ 東部協働センター 浜松修学舎高校 芳川小学校		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	400.99円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				58	評価指標	A

A (52～79点) : 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている  
B (26～51点) : 地域間幹線系統として適した運行となっている  
C (～25点) : 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート（別紙）

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	浜松市中心部から掛塚街道沿いを東進し、旧竜洋町の掛塚までを結ぶ広域幹線。沿線には公共施設、学校があり、地域住民にとって欠かせない路線となっている。路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。</p> <p>【実績】</p> <p>①旅客動向の分析を行い、令和3年10月と令和4年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ（自動積み増し）の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。</p>
費用削減策	<p>●事業者としての取組 【計画】</p> <p>①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と磐山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所 (R4年10月：伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設見込) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 ③新型コロナウイルス感染症の影響によりバス需要が激減する中、グループ会社をはじめ他企業へ社員が出向することで人件費を抑制した。 また、乗務員交番作成を自動化することで、間接人件費の抑制を図った。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 浜松駅バスターミナル、掛塚（磐田市自主運行バス）</p> <p>【バス停】 アクトシティ、東部協働センター、芳川西、芳川</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>JR浜松駅、アクトシティ、東部協働センター、浜松修学舎高校、芳川小学校</p>

地域間幹線系統市町取組シート 様式3

市町名

磐田市

系統名	取組内容
全路線	遠州鉄道(株)に対し、バス路線維持費補助金を交付した。 ・補助対象（区間） 地域間幹線系統路線のうち、市内を運行する全区間 ・補助率 経常欠損額から国県補助金及び競合カット額を除いた額の1/2 ・補助額 28,526千円
全路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページから運行事業者のホームページへのリンクを設定した。</li> <li>・バス路線図の配置により、住民への周知を図った。</li> </ul>
全路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ通勤の日を設定し、職員に対してバスをはじめとした公共交通機関の利用を促進した。</li> </ul>

(\*)当該系統に対するMMなど利用促進に関する取組や金銭的負担等について具体的に記載